



THE NATIONAL
ART CENTER, TOKYO
国立新美術館

NACT REPORT
APRIL 2013-MARCH 2014
平成25年度 活動報告

平成25年度
国立新美術館 活動報告

NACT REPORT
April 2013 - March 2014
The National Art Center, Tokyo

平成25年度の活動を振り返って

平成19年1月に開館した国立新美術館は、開館7年目となる平成25年度に企画展（自主企画展、共催展）と公募展を合わせて約203万人の入場者を迎えた。国立新美術館はコレクションを持たないが、企画展と公募展で多彩な展覧会を開催し、国内最大級の展示スペースを有する。

また美術に関する情報や資料の収集・公開・提供を行い、美術を中心とする幅広い世代に向けた教育普及活動も行っている。

展覧会事業は、まず自主企画展として「カリフォルニア・デザイン 1930-1965 —モダン・リヴィングの起源—」を開催した。これは今では懐かしい「カリフォルニア・モダン」の全貌を紹介する展覧会で、その多くが今でも斬新な輝きを放つのに驚いた。20世紀デザイン史の重要なページをめくる気になった。次に開催した「イメージの力—国立民族学博物館コレクションにさぐる」は、大阪吹田の国立民族学博物館の擁する約34万点にも及ぶ世界各地の民族文化の資料の中から、美術館での展示として用いることのできるもの約600点を選び、展覧に供したものである。ヨーロッパやアメリカの美術館ではよく行われている展覧会だが、日本でこれだけの規模の展覧会は初めてである。人間が創り出すイメージの多様性とイメージが持つ力に圧倒される。また続いて行われた「中村一美展」は、現代日本を代表するアーティスト中村氏の前衛的なアブストラクト絵画を、初期から現在まで150点に及ぶ作品によって紹介した。巨大な作品群と迫力ある色彩によって魅了される。

共催展としては、「フランス国立クリュニー中世美術館所蔵『貴婦人と一角獣』展」を開催したが、このタピスリーは40年ぶり二度目のフランス国外でのお披露目である。一角獣はユニコーンとしてアニメやゲームでも愛好される存在であり、若い世代にはそうした面からの期待を持って見に来た人も多い。次に現代ドイツの写真芸術家アンドレアス・グルスキーの写真作品の展覧会「アンドレアス・グルスキー展」を行った。その迫力ある作品の数々が見る人を魅了した。また「アメリカン・ポップ・アート展」は、パワーズ夫妻のコレクションからポップ・アートを代表する巨匠たちの作品を集めた。ポップ・アート展開の道をたどる興味深い作品展である。さらにオランダのクレラー＝ミュラー美術館のコレクションを中心に「印象派を超えて—一点描の画家たち ゴッホ・スーラからモンドリアンまで」を開催した。いわゆる「分割主義」の誕生と伝播を示す作品展である。

公募展は69団体の作品展が行われて盛況である。ここにも現代日本の美の追求が幅広く見事に行われている。当美術館の誇るものである。

教育普及事業では、当館の建築設計を担当された黒川紀章氏の7回忌を記念して日本文化デザインフォーラムとの共催で「黒川紀章メモリアル INTER-DESIGN FORUM 2013『共生のアジアへ』」と題する講演とシンポジウムの会を3日間にわたって開催した。また「イメージの力」展に関連してワークショップとシンポジウムを行った。いずれも盛会であった。

情報資料収集・提供事業では、日本の展覧会カタログを中心に資料収集に努めているが、当美術館別館1階にアトライブラリー別館閲覧室を開室し、アーティスト・ファイル展資料、大口寄贈資料の一部、旧建造物関連資料などの各種コーナーを設けた。また脆弱資料等の予約サービス、非刊行物等特殊資料の特別資料閲覧サービスを開始した。

その他「イメージの力」展開幕イベントとして「みる・きく・あそぶ—イメージの力ウイークエンド」、館長の公開トーク「カフェ・アオキ」でもこの展覧会に合わせて美術評論家の中村英樹氏と国立国際美術館館長の山梨俊夫氏を招いて専門家による貴重なお話を伺った。「カフェ・アオキ」は計5回開催した。またロビー・コンサートもジャズコンサート1回とクラシックコンサートを2回行った。ロビー・コンサートも今や定着し、毎回大勢の観客を集めている。特設Facebookの公開、PR動画の作成など広報活動も可能な限り行っている。

国立新美術館は平成25年度の実績を踏まえ、充実した活動を行い、さらなる発展を期したい。なお本活動報告の編集は、総務課・学芸課から提供された資料を基に国立新美術館教育普及室の西野華子（前室長、平成26年3月末日付で退職）、吉澤菜摘、木内祐子、井上絵美子が行った。感謝する。

目次 Contents

1	平成25年度主要記事	Record of Events April 2013-March 2014	5
2	展覧会	Exhibitions	7
2-1	平成25年度展覧会一覧	List of Exhibitions April 2013-March 2014	8
2-2	平成24年度までの展覧会一覧	List of Past Exhibitions to March 2013	10
2-3	展覧会記録	Exhibition Details	15
3	美術団体等への展覧会会場提供	Provision of Exhibition Venues to Artist Associations	33
4	教育普及	Education and Public Programs	41
4-1	講演会等	Lectures, etc.	42
4-2	ワークショップ	Workshops	48
4-3	インターンシップ、ボランティア	Internships and Volunteering	49
4-4	その他の教育普及事業	Other Education and Public Programs	49
5	情報資料収集・提供	Collection and Provision of the Library and Information Services	51
5-1	美術関連資料の収集と公開	Collection and Provision of the Library Materials	52
5-2	JACプロジェクト	JAC Project	55
5-3	展覧会情報の収集と提供	Collection and Provision of the Information Services	55
6	広報・出版	Publicity and Publications	57
6-1	印刷物	Publications	58
6-2	ホームページ、各種ウェブサービス	Website, SNS	66
6-3	広報活動	Publicity Activities	67
7	調査・研究	Research April 2013-March 2014	71
8	その他の事業	Other Programs and Events	75
9	記録	Records	79
9-1	入場者数	Number of Visitors	80
9-2	予算	Budget	80
9-3	企業協賛	Corporate Support	80
9-4	来館者サービス	Visitor Services	81
9-5	国際交流	International Exchanges	82
9-6	展覧会出品リスト	List of Works	86
9-7	名簿	The NACT Advisory Board, The NACT Council and Staff List	122

主な事業

平成25(2013)年

- 4月24日 「フランス国立クリュニー中世美術館所蔵『貴婦人と一角獣』展」開催(～7月15日)
- 5月15日 国立新美術館顧問会(平成25年度第1回)開催
- 5月29日 国立新美術館評議員会(平成25年度第1回)開催
- 7月3日 「アンドレアス・グルスキー展」開催(～9月16日)
- 8月7日 「アメリカン・ポップ・アート展」開催(～10月21日)
- 10月4日 「印象派を超えて一点描の画家たち ゴッホ、スーラからモンドリアンまで クレラー＝ミュラー美術館所蔵作品を中心に」開催(～12月23日)
- 11月5日 国立新美術館評議員会(平成25年度第2回)開催
- 11月20日 国立新美術館顧問会(平成25年度第2回)開催
- 12月14日 「未来を担う美術家たち 16th DOMANI・明日展 文化庁芸術家在外研修の成果」開催(～1月26日)

平成26(2014)年

- 2月5日 「平成25年度[第17回]文化庁メディア芸術祭」開催(～2月16日)
- 2月19日 「イメージのカー国立民族学博物館コレクションにさぐる」開催(～6月9日)
- 3月19日 「中村一美展」開催(～5月19日)

トピックス

平成25(2013)年

- 5月6日 延べ展覧会入場者数1600万人を達成
- 5月15日 高円宮妃殿下「第35回日本新工芸展」御観覧
- 5月18日 「国際博物館の日」への協力
- 5月23日 青木館長がICOM(国際博物館会議)日本委員会委員長に就任
- 7月5日 「『具体』—ニッポンの前衛 18年の軌跡」展覧会カタログが「第47回造本装幀コンクール・日本印刷産業連合会会長賞」を受賞(主催:日本書籍出版協会、日本印刷産業連合会)
- 7月10日 高円宮妃殿下「第65回毎日書道展」御観覧
- 7月29日 「『具体』—ニッポンの前衛 18年の軌跡」映像広告が「交通広告グランプリ2013・デジタルメディア部門最優秀部門賞」を受賞(主催:株式会社ジェイアール東日本企画)
- 8月1日 アートライブラリー別館閲覧室(別館1階)開設
- 9月27日 高円宮妃殿下「第77回新制作展」御観覧
- 10月5日 延べ展覧会入場者数1700万人を達成
- 10月11日 「黒川紀章メモリアル INTER-DESIGN FORUM TOKYO 2013『共生のアジアへ』」開催(～10月13日)
- 11月15日 麻布消防署「予防部長表彰状」「署長感謝状」受賞
- 12月1日 キヤノン株式会社より教育普及事業に対する新規協賛
- 12月17日 青柳文化庁長官「未来を担う美術家たち 16th DOMANI・明日展 文化庁芸術家在外研修の成果」開会式御臨席

平成26(2014)年

- 1月22日 「地域で共に生きる障害児・障害者アート展」開催(～1月27日)(主催:港区、共催:国立新美術館)
- 2月13日 青柳文化庁長官「平成25年度[第17回]文化庁メディア芸術祭」御観覧
- 2月18日 1階ミュージアムショップ開設



10月13日 黒川紀章メモリアル INTER-DESIGN FORUM TOKYO 2013



1月22日～1月27日 地域で共に生きる障害児・障害者アート展

2

展覧会

Exhibitions

2-1 平成25年度展覧会一覧

List of Exhibitions April 2013 – March 2014

2-2 平成24年度までの展覧会一覧

List of Past Exhibitions to March 2013

2-3 展覧会記録

Exhibition Details

2-1 平成25年度展覧会一覧 List of Exhibitions April 2013 – March 2014

アーティスト・ファイル2013—現代の作家たち

Artist File 2013—The NACT Annual Show of Contemporary Art

会期：平成25(2013)年1月23日(水)～4月1日(月)
 日数：1日(全会期：60日)
 入場者数：785人(1日平均785人)(全会期：30,914人)
 入場：有料
 種別：自主企画展



カリフォルニア・デザイン 1930-1965 —モダン・リビングの起源—

California Design, 1930-1965: "Living in a Modern Way"

会期：平成25(2013)年3月20日(水・祝)～6月3日(月)
 日数：56日(全会期：67日)
 入場者数：49,490人(1日平均884人)(全会期：65,160人)
 入場：有料
 種別：自主企画展



フランス国立クリュニー中世美術館所蔵「貴婦人と一角獣」展

The Lady and the Unicorn from the Musée de Cluny, Paris, France

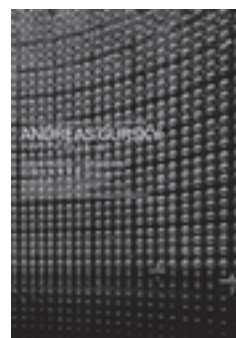
会期：平成25(2013)年4月24日(水)～7月15日(月・祝)
 日数：73日
 入場者数：213,512人(1日平均2,925人)
 入場：有料
 種別：共催展



アンドレアス・グルスキー展

ANDREAS GURSKY

会期：平成25(2013)年7月3日(水)～9月16日(月・祝)
 日数：66日
 入場者数：119,467人(1日平均1,810人)
 入場：有料
 種別：共催展



アメリカン・ポップ・アート展

American Pop Art: From the John and Kimiko Powers Collection

会期：平成25(2013)年8月7日(水)～10月21日(月)
 日数：66日
 入場者数：187,627人(1日平均2,843人)
 入場：有料
 種別：共催展



印象派を超えて一点描の画家たち ゴッホ、スーラからモンドリアンまで
クレラー＝ミュラー美術館所蔵作品を中心に

Divisionism from Van Gogh and Seurat to Mondrian

会期：平成25(2013)年10月4日(金)～12月23日(月・祝)
日数：70日
入場者数：180,769人(1日平均2,582人)
入場：有料
種別：共催展



未来を担う美術家たち 16th DOMANI・明日展 文化庁芸術家在外研修の成果
“16th DOMANI: The Art of Tomorrow” Exhibition, The Achievements of the Japanese
Government Overseas Study Program for Artists provided by the Agency for Cultural Affairs

会期：平成25(2013)年12月14日(土)～平成26(2014)年1月26日(日)
日数：26日
入場者数：15,050人(1日平均579人)
入場：有料
種別：共催展



平成25年度 [第17回] 文化庁メディア芸術祭
2013 [17th] Japan Media Arts Festival

会期：平成26(2014)年2月5日(水)～2月16日(日)
日数：11日
入場者数：38,938人(1日平均3,540人)
入場：無料
種別：共催展



イメージの力—国立民族学博物館コレクションにさぐる
The Power of Images: The National Museum of Ethnology Collection

会期：平成26(2014)年2月19日(水)～6月9日(月)
日数：36日(全会期：97日)
入場者数：14,711人(1日平均409人)
入場：有料
種別：自主企画展



中村一美展
NAKAMURA Kazumi

会期：平成26(2014)年3月19日(水)～5月19日(月)
日数：12日(全会期：55日)
入場者数：2,466人(1日平均206人)
入場：有料
種別：自主企画展



2-2 平成24年度までの展覧会一覧 List of Past Exhibitions to March 2013

国立新美術館開館記念展 20世紀美術探検—アーティストたちの三つの冒険物語—
Living in the Material World—‘Things’ in Art of the 20th Century and Beyond

会期：平成19(2007)年1月21日(日)～3月19日(月)

黒川紀章展—機械の時代から生命の時代へ
KISHO KUROKAWA: From the Age of the Machine to the Age of Life

会期：平成19(2007)年1月21日(日)～3月19日(月)

文化庁メディア芸術祭10周年企画展 日本の表現力
The Power of Expression, JAPAN

会期：平成19(2007)年1月21日(日)～2月4日(日)

エトランジェ
異邦人たちのパリ1900-2005 ポンピドー・センター所蔵作品展
Paris du monde entier: Artistes étrangers à Paris 1900-2005. Exposition organisée par le Centre Pompidou

会期：平成19(2007)年2月7日(水)～5月7日(月)

大回顧展 モネ 印象派の巨匠、その遺産
Claude Monet: L'art de Monet et sa postérité

会期：平成19(2007)年4月7日(土)～7月2日(月)

スキン+ボーンズ—1980年代以降の建築とファッション
Skin + Bones: Parallel Practices in Fashion and Architecture

会期：平成19(2007)年6月6日(水)～8月13日(月)

日展100年
The 100th Anniversary of NITTEN

会期：平成19(2007)年7月25日(水)～9月3日(月)

パーソナル フォト アーカイブス
安齊重男の“私・写・録”1970-2006
ANZAI: Personal Photo Archives 1970-2006

会期：平成19(2007)年9月5日(水)～10月22日(月)

アムステルダム国立美術館所蔵 フェルメール「牛乳を注ぐ女」とオランダ風俗画展
Milkmaid by Vermeer and Dutch Genre Painting—Masterworks from the Rijksmuseum Amsterdam

会期：平成19(2007)年9月26日(水)～12月17日(月)

文化庁芸術家在外研修制度40周年記念 『旅』展—異文化との出会い、そして対話—
The 40th Anniversary of the Japanese Government Overseas Study Program for Artists provided by the Agency for Cultural Affairs: Journey—Encounters and Dialogues with Foreign Cultures

会期：平成19(2007)年12月15日(土)～平成20(2008)年1月28日(月)

没後50年 横山大観—新たなる伝説へ
YOKOYAMA TAIKAN Fifty Years On—A legend in the making

会期：平成20(2008)年1月23日(水)～3月3日(月)

平成19年度[第11回]文化庁メディア芸術祭
2007 [11th] Japan Media Arts Festival

会期：平成20(2008)年2月6日(水)～2月17日(日)

アーティスト・ファイル2008—現代の作家たち
Artist File 2008—The NACT Annual Show of Contemporary Art

会期：平成20(2008)年3月5日(水)～5月6日(火・祝)

モディリアーニ展
Modigliani et le Primitivisme

会期：平成20(2008)年3月26日(水)～6月9日(月)

エミリー・ウングワレー展—アボリジニが生んだ天才画家
Utopia: the Genius of Emily Kame Kngwarreye

会期：平成20(2008)年5月28日(水)～7月28日(月)

ウィーン美術史美術館所蔵 静物画の秘密
European Still-Life Painting from the Kunsthistorisches Museum Wien

会期：平成20(2008)年7月2日(水)～9月15日(月・祝)

アヴァンギャルド・チャイナー〈中国当代美術〉二十年—
AVANT-GARDE CHINA: Twenty Years of Chinese Contemporary Art

会期：平成20(2008)年8月20日(水)～10月20日(月)

巨匠ピカソ 愛と創造の軌跡
PICASSO: Sa vie et sa création

会期：平成20(2008)年10月4日(土)～12月14日(日)

未来を担う美術家たち DOMANI・明日展2008 文化庁芸術家在外研修の成果
“DOMANI: The Art of Tomorrow 2008” Exhibition, The Achievements of the Japanese Government Overseas Study Program for Artists provided by the Agency for Cultural Affairs

会期：平成20(2008)年12月13日(土)～平成21(2009)年1月26日(月)

加山又造展
KAYAMA Matazo Retrospective 1927-2004

会期：平成21(2009)年1月21日(水)～3月2日(月)

平成20年度[第12回]文化庁メディア芸術祭
2008 [12th] Japan Media Arts Festival

会期：平成21(2009)年2月4日(水)～2月15日(日)

アーティスト・ファイル2009—現代の作家たち
Artist File 2009—The NACT Annual Show of Contemporary Art

会期：平成21(2009)年3月4日(水)～5月6日(水・祝)

ルーヴル美術館展 美の宮殿の子どもたち
L'enfant dans les collections du Musée du Louvre

会期：平成21(2009)年3月25日(水)～6月1日(月)

野村仁 変化する相—時・場・身体
NOMURA HITOSHI: PERCEPTIONS-CHANGES IN TIME AND FIELD

会期：平成21(2009)年5月27日(水)～7月27日(月)

ルネ・ラリック 華やぎのジュエリーから煌きのガラスへ
René Lalique: A Retrospective

会期：平成21(2009)年6月24日(水)～9月7日(月)

光 松本陽子／野口里佳
The Light: MATSUMOTO Yoko / NOGUCHI Rika

会期：平成21(2009)年8月19日(水)～10月19日(月)

THE ハプスブルク
Treasures of the Habsburg Monarchy—140th Jubilee of the Friendship Treaty between Austria – Hungary and Japan

会期：平成21(2009)年9月25日(金)～12月14日(月)

未来を担う美術家たち DOMANI・明日展2009 文化庁芸術家在外研修の成果

“DOMANI: The Art of Tomorrow 2009” Exhibition, The Achievements of the Japanese Government Overseas Study Program for Artists provided by the Agency for Cultural Affairs

会期：平成21(2009)年12月12日(土)～平成22(2010)年1月24日(日)

ルノワール—伝統と革新

Renoir: Tradition and Innovation

会期：平成22(2010)年1月20日(水)～4月5日(月)

平成21年度[第13回]文化庁メディア芸術祭

2009 [13th] Japan Media Arts Festival

会期：平成22(2010)年2月3日(水)～2月14日(日)

アーティスト・ファイル2010—現代の作家たち

Artist File 2010—The NACT Annual Show of Contemporary Art

会期：平成22(2010)年3月3日(水)～5月5日(水・祝)

ルーシー・リー展

Lucie Rie: A Retrospective

会期：平成22(2010)年4月28日(水)～6月21日(月)

オルセー美術館展2010「ポスト印象派」

Post-impressionisme 115 chefs-d’œuvre de la collection du Musée d’Orsay

会期：平成22(2010)年5月26日(水)～8月16日(月)

マン・レイ展

Man Ray: Unconcerned But Not Indifferent

会期：平成22(2010)年7月14日(水)～9月13日(月)

陰影礼讃—国立美術館コレクションによる

SHADOWS: Works from the National Museums of Art

会期：平成22(2010)年9月8日(水)～10月18日(月)

没後120年 ゴッホ展

Van Gogh: The adventure of becoming an artist

会期：平成22(2010)年10月1日(金)～12月20日(月)

未来を担う芸術家たち DOMANI・明日展2010 文化庁芸術家在外研修の成果

“DOMANI: The Art of Tomorrow 2010” Exhibition, The Achievements of the Japanese Government Overseas Study Program for Artists provided by the Agency for Cultural Affairs

会期：平成22(2010)年12月11日(土)～平成23(2011)年1月23日(日)

平成22年度[第14回]文化庁メディア芸術祭

2010 [14th] Japan Media Arts Festival

会期：平成23(2011)年2月2日(水)～2月13日(日)

シュルレアリスム展—パリ、ポンピドゥーセンター所蔵作品による—

Le Surréalisme: Exposition organisée par le Centre Pompidou à partir de sa collection

会期：平成23(2011)年2月9日(水)～5月15日(日)

※東日本大震災の影響により、会期及び開館日を変更。当初の会期は5月9日(月)まで。3月の臨時休館(計8日)に伴い、5月6日(金)、10日(火)は開館。

アーティスト・ファイル2011—現代の作家たち

Artist File 2011—The NACT Annual Show of Contemporary Art

会期：平成23(2011)年3月19日(土)～6月6日(月)

※東日本大震災の影響により、会期及び開館日を変更。当初の会期は3月16日(水)から。3月の臨時休館(計8日)に伴い、5月6日(金)、10日(火)は開館。

ワシントン・ナショナル・ギャラリー展 印象派・ポスト印象派 奇跡のコレクション
Impressionist and Post-Impressionist Masterpieces from the National Gallery of Art

会期：平成23(2011)年6月8日(水)～9月5日(月)

モダン・アート, アメリカン 一珠玉のフィリップス・コレクション—
To See as Artists See: American Art from the Phillips Collection

会期：平成23(2011)年9月28日(水)～12月12日(月)

未来を担う美術家たち DOMANI・明日展 文化庁芸術家在外研修の成果

“DOMANI: The Art of Tomorrow” Exhibition, The Achievements of the Japanese Government Overseas Study Program for Artists provided by the Agency for Cultural Affairs

会期：平成24(2012)年1月14日(土)～2月12日(日)

野田裕示 絵画のかたち／絵画の姿

NODA Hiroji 1981-2011

会期：平成24(2012)年1月18日(水)～4月2日(月)

平成23年度[第15回]文化庁メディア芸術祭

2011 [15th] Japan Media Arts Festival

会期：平成24(2012)年2月22日(水)～3月4日(日)

セザンヌ—パリとプロヴァンス

Cézanne. Paris-Provence

会期：平成24(2012)年3月28日(水)～6月11日(月)

大エルミタージュ美術館展 世紀の顔・西欧絵画の400年

400 Years of European Masterpieces from the State Hermitage Museum

会期：平成24(2012)年4月25日(水)～7月16日(月・祝)

「具体」—ニッポンの前衛 18年の軌跡

GUTAI: The Spirit of an Era

会期：平成24(2012)年7月4日(水)～9月10日(月)

与えられた形象—辰野登恵子／柴田敏雄

Given Forms—TATSUNO Toeko / SHIBATA Toshio

会期：平成24(2012)年8月8日(水)～10月22日(月)

リヒテンシュタイン 華麗なる侯爵家の秘宝

Masterworks from the Collections of the Prince of Liechtenstein

会期：平成24(2012)年10月3日(水)～12月23日(日・祝)

未来を担う美術家たち DOMANI・明日展2013 文化庁芸術家在外研修の成果

“DOMANI: The Art of Tomorrow 2013” Exhibition, The Achievements of the Japanese Government Overseas Study Program for Artists provided by the Agency for Cultural Affairs

会期：平成25(2013)年1月12日(土)～2月3日(日)

平成24年度[第16回]文化庁メディア芸術祭

2012 [16th] Japan Media Arts Festival

会期：平成25(2013)年2月13日(水)～2月24日(日)

2-3 展覧会記録 Exhibition Details

アーティスト・ファイル2013—現代の作家たち
Artist File 2013—The NACT Annual Show of Contemporary Art

会期：平成25(2013)年1月23日(水)～4月1日(月)
日数：1日(全会期：60日)
会場：国立新美術館 企画展示室2E
入場者数：785人(1日平均785人)(全会期：30,914人)
入場：有料
主催：国立新美術館

※本展の平成24年度開催記録及び出品リストは、『平成24年度 国立新美術館活動報告』に記載した。



カリフォルニア・デザイン 1930-1965 —モダン・リビングの起源—
California Design, 1930-1965: "Living in a Modern Way"

「カリフォルニア・デザイン 1930-1965 —モダン・リビングの起源—」展は、カリフォルニアにおける「ミッドセンチュリー・モダン」デザインをテーマにした大規模な展覧会である。20世紀初頭から多くの移民を受け入れてきたカリフォルニアは、第二次世界大戦後、世界の経済力を誇る大国アメリカの大衆文化の中心として飛躍的な発展を遂げた。急激な人口の増加によって、建築や生活空間のデザインの需要が生じたカリフォルニアでは、戦争に際して開発された新技術・新素材を有効活用した、大胆かつ実験的な独自のデザイン活動が展開された。カリフォルニアの温暖な気候や楽観主義的な風土、そしてアジア、メキシコに近いという立地から、開放性や鮮烈な色彩を特徴とする気楽で快適な「グッド・ライフ」デザインの典型が誕生した。やがてそれはアメリカ国内のみならず、ハリウッド映画などメディアを通して世界中に伝えられ、強い影響力を及ぼすに至る。

本展では、20世紀デザイン史において重要な役割を果たしたにもかかわらず、これまで十分に紹介されてこなかった「カリフォルニア・モダン」の全貌を、家具やファッション、陶芸、グラフィック、建築写真、映像など約250点の作品を通して検証するものであった。

California Design, 1930-1965: "Living in a Modern Way" is the first major exhibition devoted to mid-century modern design in California. A magnet for migration from the early 20th century on, California developed at a breathtaking pace after World War II. As the United States took its place as the world's dominant economic superpower, California emerged as the center of popular American culture. Responding to high demand for modern homes and furnishings driven by the state's booming population, architects and designers developed a bold and experimental style, skillfully incorporating new technologies and materials developed for wartime applications. California's mild, sunny climate, inveterate optimism, and geographical proximity to Mexico and East Asia all helped shape this distinctive design trend, with its emphasis on openness and vivid colors. Embodying the American ideal of the carefree and comfortable "good life," California design spread quickly to other parts of the United States and the rest of the world with the aid of Hollywood movies and the mass media, exerting a profound impact on modern design.

Despite its key role in the history of twentieth-century design, this trend has received relatively little attention in artistic circles until now. *California Design, 1930-1965* offered a fascinating overview of "California modern" through roughly 250 objects, including furniture, fashion, ceramics, graphic design, architectural photos, and films.

会期：平成25(2013)年3月20日(水・祝)～6月3日(月)
日数：56日(全会期)；67日
会場：国立新美術館 企画展示室1E
入場者数：49,490人(1日平均884人)(全会期)；65,160人
入場：有料
主催：国立新美術館、ロサンゼルス・カウンティ美術館
協力：日本航空、日本貨物航空株式会社

講演会等：

●講演会「カリフォルニア文化とデザイン」

日時：4月13日(土)14時～15時30分

講演：海野弘(美術評論家、作家)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：80人

●上映会+トーク「ふたりのイームズ：建築家チャールズと画家レイ」

日時：4月21日(日)14時～15時40分

出演：松下加奈(アップリンク)、本橋弥生(学芸課主任研究員)

会場：国立新美術館 講堂

協力：アップリンク

参加者数：150人

●「カリフォルニア・デザイン」×「デザインあ展」

講演会「夢が描けた時代のカリフォルニア・デザイン」

日時：5月11日(土)14時～15時30分

講演：佐藤卓(グラフィックデザイナー)

会場：国立新美術館 講堂

共催：21_21 DESIGN SIGHT

参加者数：165人



関連事業：

●「カリフォルニア・デザイン」×「デザインあ展」
「ハウス・オブ・カード」をつかったワークショップ
日時：4月27日（土）10時～18時
講師：岡崎智弘（アートディレクター、グラフィックデザイナー）、
寺山紀彦（studio note／デザイナー）
会場：21_21 DESIGN SIGHT
参加者数：2,250人

カタログ：『カリフォルニア・デザイン 1930-1965 —モダン・リヴィ
ングの起源—』
A4変型、384ページ、図版カラー 350点・白黒20点、6,000部

出品目録：A4判、経本折、日本語版35,000部、英語版3,000部

ポスター：B1判、1,100部
B3判、3,300部
B3変型（インターサイズ）、680部

チラシ：A4判、115,000部
先行配布：A4判、30,000部

「カリフォルニア・デザイン」展ポストカード：
ハガキサイズ（148×100mm）、図版カラー1点、20,000部

鑑賞ガイド：『ハロー!! カリフォルニア・デザイン』
A5変型、20ページ、表紙4種、図版カラー 24点、18,000部
（第1版）、10,000部（第2版）

関連記事：

Tokyo Designers Week（BS日テレ）／平成25（2013）年4月8日
Dlife+（BS258）／4月12日
SPA!／4月30日 & 5月7日号／坪内祐三
週刊ポスト／5月3日 & 10日号／坪内祐三
TV Bros.／5月11日号／山内マリコ
ファッション通信（BSジャパン）／5月11日
読売新聞／5月23日／生井英考
Casa BRUTUS／6月号
デザインノート／6月1日号
他 多数

※出品リスト：pp.86-95

※本展の平成24年度開催記録は『平成24年度 国立新美術館活動報告』
に記載した。



4月13日 講演会



5月11日 講演会

フランス国立クリュニー中世美術館所蔵「貴婦人と一角獣」展
The Lady and the Unicorn from the Musée de Cluny, Paris, France

1882年よりフランス国立クリュニー中世美術館に所蔵される6面の連作タピスリー《貴婦人と一角獣》は、フランスが誇る中世美術の傑作であるのみならず、西洋美術史上においてもきわめて重要な位置を占める作品である。本作品は、1973-74年にメトロポリタン美術館での展覧会に出品されたことを除けば、クリュニー美術館を離れたことはなかったが、展示室の改修工事をきっかけとして、この度の日本での展覧会が実現した。

本展は、《貴婦人と一角獣》を展示の中心に据えながら、同時代の関連作品、すなわち15-16世紀のフランスと南ネーデルラントのステンドグラス、宝飾・服飾品、陶器、彫刻、タピスリーなど36点を、「一角獣の図像学：想像の動物誌」、「衣服と装身具」、「楯型紋章と標章」、「1500年頃のタピスリー芸術」の4つのセクションのもとに展示した。さらに、「自然の表現：植物と動物」、「中世における五感と第六感」の2つのセクションにおける補足的なパネル展示や、プロジェクター6台を用いた高精細デジタルシアターを通して、《貴婦人と一角獣》の特質と魅力をさまざまな角度から検証した。

The cycle of six tapestries known as *The Lady and the Unicorn* is one of France's most celebrated medieval art treasures. It also occupies a position of iconic importance in the history of Western art. Housed in the Musée de Cluny in Paris since 1882, the tapestries have left France only once previously, as part of a 1973-74 exhibition at the Metropolitan Museum of Art in New York. In 2013, with a new installation under construction at the Musée de Cluny, *The Lady and the Unicorn* headed to Japan for another rare overseas showing.

In addition to the famed tapestries, the exhibition displayed 36 related artworks—from stained glass, costume, and jewelry to ceramics, sculpture, and tapestry—all produced in France and the Southern Netherlands in the 15th and 16th centuries. These items were organized into four sections, “Iconography of the Unicorn: Imaginary Zoography,” “Fashion and Jewelry,” “Arms and Emblems,” and “Tapestry Art circa 1500.” Enhanced by two panel exhibits on the themes of “The Representation of Nature: Flora and Fauna” and “The Five Senses and the Sixth Sense in the Middle Ages,” as well as a six-projector high-definition digital theater, the exhibition provided multiple avenues for a deeper appreciation of this extraordinary work of art.

会期：平成25（2013）年4月24日（水）～7月15日（月・祝）

日数：73日

会場：国立新美術館 企画展示室2E

入場者数：213,512人（1日平均2,925人）

入場：有料

主催：国立新美術館、フランス国立クリュニー中世美術館、NHK、NHKプロモーション、朝日新聞社

後援：外務省、フランス大使館

協賛：凸版印刷、日本興亜損害保険、三井物産

協力：エールフランス航空

巡回展：国立国際美術館

平成25（2013）年7月27日（土）～10月20日（日）

講演会等：

●記念講演会「クリュニー美術館と《貴婦人と一角獣》タピスリー」

日時：4月24日（水）14時～15時30分

講演：エリザベット・タビュレ＝ドゥラエ（本展監修者、フランス国立クリュニー中世美術館館長）

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：260人

●記念講演会「《貴婦人と一角獣》のタピスリーを読み解く」

日時：5月25日（土）14時～15時30分

講演：木俣元一（本展学術・翻訳監修者、名古屋大学大学院文学研究科教授）

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：280人



カタログ：『フランス国立クリュニー中世美術館所蔵「貴婦人と一角獣」展』

B4変型、200ページ、図版カラー327点・白黒33点、
10,000部（第1版）、30,000部（第2版）

出品目録：仕上りA4判、二つ折、150,000部

ポスター：B1判、500部
B2判、2,700部
B3判、16,000部

チラシ：仕上りA4判、二つ折、400,000部
先行配布：A4判、180,000部

ジュニアガイド：仕上りA5変型、蛇腹折、12ページ、図版カラー10点、
50,000部

関連記事：

毎日新聞（夕刊）／平成25（2013）年5月8日／高階秀爾

産経新聞／5月16日／黒沢綾子

日曜美術館（NHK Eテレ）／5月26日

日本経済新聞／6月12日／窪田直子

ひるまえほっと（NHK）／6月18日／南雄介（副館長兼学芸課長）

読売新聞／6月27日／井上晋治

他 多数

※出品リスト：pp.96-97



4月24日 講演会



5月25日 講演会

アンドレアス・グルスキー展
ANDREAS GURSKY

ドイツ出身の写真家、アンドレアス・グルスキーはこれまで世界各地を旅しながら、デジタル化が進んだ現代社会に相応しく、すべてが等価に広がる視覚世界を構築し、国際的に非常に高い評価を受けてきた。ニューヨーク近代美術館、テート、ポンピドゥセンター、バーゼル市立美術館など世界各地で大規模な個展を開いてきたが、これまで日本では個展によってその作品をまとめて紹介する機会はなかった。日本初の個展となる本展では、1980年代に制作された初期作品から最新作まで、作家本人が厳選した65作品を紹介しながら、グルスキーの作品世界の全貌に迫るものである。本展の大きな特徴として挙げられるのは、出品作品の選定に加え、会場構成もグルスキー自らが手がけたことである。通常の回顧展では、年代順に作品が並ぶことが多く、また同一シリーズの作品はまとめて展示されることが多いが、グルスキーはあえてそのような手法を避け、初期作品と最新作、サイズが異なるさまざまな作品を並置し、さらに同じテーマの作品を点在させる方法を選んだ。このような展示によって、個々の作品の魅力が一層際立ち、また、展示室全体を一つの作品のようにも見せることとなった。こうした会場構成は、長いキャリアを積んだ作家独自の経験から生まれたものであり、作家活動30年以上の歩みを紹介するグルスキーの個展に相応しい展示となった。

German photographer Andreas Gursky has received international accolades for his remarkable vision of contemporary society. Traveling widely throughout the world, Gursky has crystallized a distinctively “digital” vision of today’s world in photos that reduce individual objects and people to anonymous elements in a panoramic landscape. Gursky’s works have already been the subject of major solo exhibitions at such institutions as the Museum of Modern Art, the Tate, the Centre Pompidou, and the Kunstmuseum Basel, but this was the first opportunity for art lovers in Japan to view his photos assembled under one roof. For this Japanese retrospective, Gursky himself selected 65 photos revealing the full range of his artistic oeuvre and spanning his entire career, from the 1980s to recent years. Gursky was responsible not only for the selection of objects but also for the unique design of the current exhibition. Instead of showing his works in chronological order or grouped by series or theme, as in most retrospectives, Gursky chose to display recent works alongside early examples, juxtapose large-and small-format photos, and scatter works on similar subjects throughout the gallery. This unconventional approach highlighted the artistic qualities of the individual works even while turning the entire exhibition into a unified work of art. As a reflection of Gursky’s own experience over the course of a long artistic career, this layout provided the ideal vehicle for a retrospective exhibition of creative output spanning more than three decades.

会期：平成25(2013)年7月3日(水)～9月16日(月・祝)
日数：66日
会場：国立新美術館 企画展示室1E
入場者数：119,467人(1日平均1,810人)
入場：有料
主催：国立新美術館、読売新聞社、TBS、TOKYO FM
後援：ドイツ連邦共和国大使館、東京ドイツ文化センター、InterFM
協賛：大日本印刷
特別協力：ぴあ
協力：全日本空輸、Sprüth Magers Berlin London
監修：アンドレアス・グルスキー
巡回展：国立国際美術館
平成26(2014)年2月1日(土)～5月11日(日)



講演会等：
●講演会「グルスキー作品について考える―巨視的に、微視的に」
日時：7月14日(日)14時～15時30分
講演：増田玲(東京国立近代美術館主任研究員)
会場：国立新美術館 講堂
参加者数：245人

●ギャラリートーク
日時：7月19日(金)18時30分～19時
解説：長屋光枝(学芸課主任研究員)
会場：国立新美術館 企画展示室1E
参加者数：60人

●ギャラリートーク
日時：8月2日(金)18時30分～19時
解説：山田由佳子(学芸課研究員)
会場：国立新美術館 企画展示室1E
参加者数：60人



カタログ：『アンドレアス・グスキー』

A4変型横型、180ページ、図版カラー 65点、10,000部（第1版）、12,000部（第2版）

出品目録：仕上りA4判、二つ折、50,000部

ポスター：B0判、150部
B1判、500部
B2判、8,000部
B3判、3,000部

チラシ：A4判、400,000部

関連記事：

日本経済新聞／平成25（2013）年7月10日／窪田直子

毎日新聞／7月24日／岸桂子

アートコレクターズ／8月号／後藤繁雄

朝日新聞／8月21日／西岡一正

アサヒカメラ／9月号／ホンマタカン

美術手帖／9月号／遠藤みゆき

日本カメラ／9月号／飯沢耕太郎

他 多数

※出品リスト：pp.98-99



7月14日 講演会



7月19日 ギャラリートーク

アメリカン・ポップ・アート展

American Pop Art: From the John and Kimiko Powers Collection

本展は、ポップ・アートの世界有数のコレクションとして知られるジョン・アンド・キミコ・パワーズ・コレクション（アメリカ合衆国コロラド州）から206点の作品を集め、アメリカン・ポップ・アートを総合的に紹介する展覧会として開催された。パワーズ夫妻がパトロンおよびコレクターとしての活動を通して築き上げたコレクションは、本国アメリカでもその全貌が紹介されたことはなく、本展は同コレクションを世界で初めて展覧するものとなった。作品の調査、選定を通じてコレクションの全容を明らかにするとともに、国内ではこれまでに最も大規模なポップ・アート展を実現した。

展覧会は、作家ごとに分けられた8章で構成され、ロバート・ラウシェンバーグやジャスパー・ジョーンズ、クレス・オルデンバーグ、アンディ・ウォーホル、ロイ・リキテンスタインら、ポップ・アートの主要作家の特徴を捉えやすいように、個々の作家の作品を各章でまとめた形で展示した。また、5章では同コレクションの特徴ともいえるべき、作家とコレクターの親密な関係を示す小作品をまとめて展示した。ウォーホルの最も重要な作品の一つである《200個のキャンベル・スープ缶》など、アメリカン・ポップ・アートの巨匠たちの代表作の数々が含まれていた点も大きな特色であった。

This unprecedented exhibition showcased a representative sampling of American pop art in the form of 206 works from the highly regarded John and Kimiko Powers Collection, based in Colorado. As avid collectors and patrons of the arts, the husband-wife team of John and Kimiko Powers amassed one of the world's most extensive and comprehensive collections of pop art. Yet the 2013 NACT exhibition was the collection's first full-scale showing anywhere in the world. In cataloging and selecting artworks in preparation for Japan's biggest pop art exhibition to date, the curators shed new light on the scope and content of this important collection.

The exhibition's 200-plus works were organized into eight sections, seven of them centered on the movement's luminaries—Andy Warhol, Roy Lichtenstein, Claes Oldenburg, James Rosenquist, Tom Wesselmann, Robert Rauschenberg and Jasper Johns—so as to highlight their distinct achievements. Section 5 consisted of smaller works illustrating the close interaction between collector and artist that defines this collection. The exhibition featured many of pop art's most enduring icons, including Warhol's seminal *200 Campbell's Soup Cans*.

会期：平成25（2013）年8月7日（水）～10月21日（月）

日数：66日

会場：国立新美術館 企画展示室2E

入場者数：187,627人（1日平均2,843人）

入場：有料

主催：国立新美術館、TBS、読売新聞社

助成：アメリカ大使館

協力：日本貨物航空、日本通運、ユナイテッド航空、キャンベルジャパン、BS-TBS、J-WAVE

講演会等：

●記念講演会「アーティストたちの会話」

日時：8月24日（土）14時～15時30分

対談：キミコ・パワーズ、林綾野（キュレーター、アートライター）

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：241人

●記念講演会「アメリカン・ポップ・アートとその時代」

日時：9月14日（土）14時～15時30分

講演：南雄介（副館長兼学芸課長）

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：178人



カタログ：『アメリカン・ポップ・アート展』

B4変型、232ページ、図版カラー319点・白黒29点、15,000部

出品目録：仕上りA4判、巻三つ折、日本語版200,000部、英語版56,000部

ポスター：B1判（5種）、計1,050部

B2判（2種）、各3,500部、計7,000部

B3判（3種）、計13,900部

西武鉄道用ポスター：B1判、400部
B3判、15,000部

チラシ：A4判、600,000部

仕上りA4判、二つ折、150,000部

鑑賞ガイド：A4判、両面2色刷り1枚、150,000部

関連記事：

産経新聞／平成25（2013）年8月11日／渋沢和彦

読売新聞／8月26日／半田行宏

The Japan Times／8月29日／J. M. Hammond

家庭画報／8月号

サライ／8月号

ぶらぶら美術・博物館（BS日テレ）／8月27日

日曜美術館（アートシーン）（NHK Eテレ）／9月8日

他 多数

※出品リスト：pp.100-105



8月24日 講演会



9月14日 講演会

印象派を超えて一点描の画家たち ゴッホ、スーラからモンドリアンまで クレラー＝ミュラー美術館所蔵作品を中心に
Divisionism from Van Gogh and Seurat to Mondrian

本展覧会は、19世紀末のフランス人画家、ジョルジュ・スーラが開拓した「分割主義」という技法の誕生と伝播に焦点を当てている。スーラは、印象派の筆触分割に感化される一方で、印象派の画家たちが目指した光の表現を科学的に探究した。彼が生み出した、純粋色の小さな点で画面を均一に埋め尽くすという驚くべき技法は、新印象主義や点描主義という用語で呼ばれることが多い。一方、スーラとその弟子シニャックが好んだ「分割主義」という言葉は、外界のさまざまな事物の色を、三原色を中心とした限られた色調に還元して描くという原理を、もっとも的確に表した用語である。これに着目した本展覧会は、スーラが影響されたモネやピサロから始まり、フランスやベルギー、オランダで分割主義を受容し、独自に展開した画家たちの作品を、一堂に展覧するものである。展示においては、スーラに加えて、表現主義的な感情表現に分割主義を敷衍したファン＝ゴッホと、分割主義を経て、黒の水平線と垂直線に赤、青、黄を組み合わせ、宇宙的な調和に満ちた抽象絵画へと辿りついたモンドリアンを中心にして、フランスからオランダへと伝播した分割主義の系譜をたどる。展覧会は、オランダのクレラー＝ミュラー美術館から来日した74点をはじめとして、国内の主要機関からも18点の優品を借用して実現した。

The subject of this exhibition was the rise and spread of Divisionism, a technique spearheaded by the French painter Georges Seurat near the end of the nineteenth century. Seurat was heavily influenced by the Impressionists and their use of short “divided brushstrokes” to capture optical effects in nature, but he chose to pursue a more rigorously scientific approach to light and color. Out of this impulse emerged the remarkable technique of covering the entire canvas with small, uniform dots of pure color. Seurat’s technique is most often associated with the terms Neo-Impressionism and Pointillism, but it is Divisionism—the word adopted by Seurat’s student Paul Signac—that best conveys the movement’s focus on breaking down the endlessly varied hues of the external world into their basic components, with an emphasis on the three primary colors. This exhibition brought together paintings by artists associated with various phases and aspects of Divisionism, beginning with the work of Impressionists like Claude Monet and Camille Pissarro, who had a formative influence on Seurat. From there it traces Divisionism’s evolution in the hands of the French, Belgian, and Dutch painters who embraced the technique and transformed it in their own unique manner. In the process, it explored important offshoots that emerged as the technique spread from France to the Netherlands, with particular attention to Vincent Van Gogh, who adapted Divisionism to his own highly charged expressionism, and Piet Mondrian, whose style evolved from Neo-Impressionist Divisionism into an abstract idiom that used simple black grid lines and solid blocks of red, blue, and yellow to achieve an aesthetic of “universal harmony.” The exhibition was made possible by the loan of 74 paintings from the Kröller-Müller Museum in the Netherlands, supplemented by 18 outstanding works from major Japanese museums.

会期：平成25(2013)年10月4日(金)～12月23日(月・祝)

日数：70日

会場：国立新美術館 企画展示室1E

入場者数：180,769人(1日平均2,582人)

入場：有料

主催：国立新美術館、東京新聞、NHK、NHKプロモーション

共催：クレラー＝ミュラー美術館

後援：オランダ王国大使館

協賛：損保ジャパン

協力：KLMオランダ航空

巡回展：広島県立美術館

平成26(2014)年1月2日(木)～2月16日(日)

愛知県美術館

平成26(2014)年2月25日(火)～4月6日(日)



※本展は、一部作品について政府による美術品補償制度の適用を受けた。

講演会等：

●記念講演会「点描の発明 ジョルジュ・スーラとその後の展開」

日時：10月14日(月・祝)14時～15時30分

講演：坂上桂子(早稲田大学文学学術院教授)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：170人

●解説会

日時：10月20日(日)14時～14時45分

講師：長屋光枝(学芸課主任研究員)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：125人



●解説会

日時：11月7日(木) 14時～14時45分

講師：米田尚輝(学芸課研究員)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：92人

カタログ：『印象派を超えて一点描の画家たち ゴッホ、スーラから
モンドリアンまで クレラー＝ミュラー美術館所蔵作品を
中心に』

A4変型、216ページ、表紙2種、図版カラー 103点・白黒2点、
15,000部(第1版)

出品目録：仕上りA4判、二つ折、150,000部

ポスター：B0判、80部

B1判、910部

B2判、2,600部

B3判、3,700部

チラシ：A4判、490,000部

先行配布：A4判、270,000部

京成電鉄タイアップチラシ：A4判、40,000部

ジュニアガイド：仕上りA5判、四つ折、図版カラー3点、65,000部

関連記事：

アートマインド／平成25(2013)年9月1日／ばんのなおこ

an・an／10月9日／長屋光枝(学芸課主任研究員)

Atelier Nova(J-WAVE)／10月12日

東京新聞／11月2日／日比野克彦

東京新聞(夕刊)／11月6日／加藤有希子

日曜美術館(NHK Eテレ)／11月17日

In Red／12月6日／原田マハ

日経おとなのOFF／12月6日／森村泰昌

他 多数

※出品リスト：pp.106-108



10月14日 講演会

未来を担う美術家たち 16th DOMANI・明日展 文化庁芸術家在外研修の成果

“16th DOMANI: The Art of Tomorrow” Exhibition, The Achievements of the Japanese Government Overseas Study Program for Artists provided by the Agency for Cultural Affairs

文化庁は、将来の我が国の芸術界を支える芸術家を支援するため、新進の芸術家を海外に派遣し、その専門とする分野について研修の機会を提供する、「芸術家在外研修」を昭和42年度から実施している。

これまで「DOMANI・明日展」は、この制度で海外派遣された作家の成果発表の場として、過去15回開催され、さまざまなジャンルから選出された活躍中の作家たちの作品発表により、その時々日本の美術の有り様を提示してきた。

16回目となる今展では、初めて「建築」という未紹介のジャンルを取り込み、43人の建築家が発表することで、さらなるアートの多様性と力を紹介した。それに伴い、初めての試みとして「未来の家」という緩やかなテーマを設け、8人のアーティストがそれぞれの手法で作品を展開するとともに、43人の建築家が展示を行い、ひとつの賑やかな市場のようなスペースを創り出した。

Since 1967 the Agency for Cultural Affairs has supported the future development of the arts in Japan through the Overseas Study Program for Artists, which provides promising young Japanese artists with opportunities to train overseas in their chosen disciplines. The annual DOMANI exhibition, held since the late 1990s, showcases a selection of works in various media and genres by artists who have participated in the program. In the process, it provides a vibrant snapshot of emerging trends in Japanese art.

This year, the 16th DOMANI exhibition broke new ground by incorporating architecture for the first time, in an unprecedented celebration of the diversity and power of art. In an exhibition space reminiscent of a large, bustling marketplace, 43 architects displayed projects loosely bound by the theme “future home”—another first for the DOMANI—alongside works by eight artists active in other genres and media.

会期：平成25（2013）年12月14日（土）～平成26（2014）年1月26日（日）

日数：26日

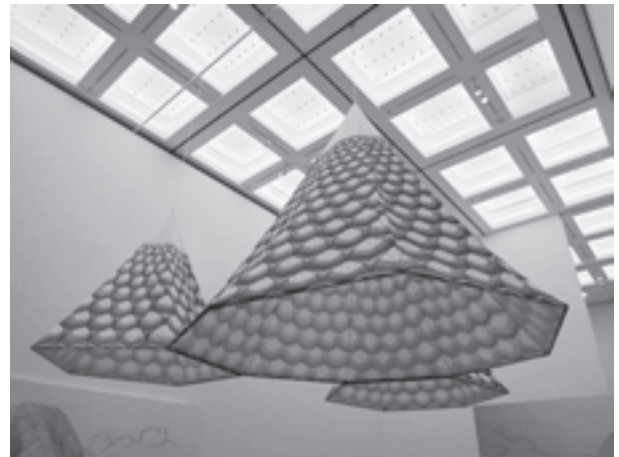
会場：国立新美術館 企画展示室2E

入場者数：15,050人（1日平均579人）

入場：有料

主催：文化庁、国立新美術館、読売新聞社、アート・ベンチャー・オフィス ショウ

協力：MRC・デュボン株式会社、株式会社大林組、株式会社岡村製作所、有限会社 オフィス・エーワン、鹿島建設株式会社、カトーレック株式会社、株式会社 三恵、清水建設株式会社、瞬報社写真印刷株式会社、株式会社 損害保険ジャパン、大成建設株式会社、株式会社竹中工務店、株式会社 東京スタジオ、株式会社堀川秀夫造形建築研究所、ヨシモトポール株式会社



講演会等：

●ギャラリートーク／美術

日時：12月14日（土）11時～

講演：大野由美子、小笠原美環、徳丸鏡子

会場：国立新美術館 企画展示室2E

参加者数：50人

●座談会「海外研修あれこれ」

日時：12月14日（土）14時～

講演：徳丸鏡子（陶芸）、小笠原美環（絵画）、田中宏明（建築）、細海拓也（建築）

会場：国立新美術館 研修室A,B

参加者数：30人

●ギャラリートーク／美術

日時：12月15日（日）11時～

講演：榊原澄人、吉本直子、土橋素子

会場：国立新美術館 企画展示室2E

参加者数：50人

●ギャラリートーク／建築

日時：12月15日（日）14時～

講演：伊藤廉、堀川秀夫、大津若果、郡裕美、山田良

会場：国立新美術館 企画展示室2E

参加者数：40人



●ギャラリートーク／建築

日時：12月16日(月)14時～

講演：丸子淳、松島史朗、田辺雄之

会場：国立新美術館 企画展示室2E

参加者数：20人

●ギャラリートーク／建築

日時：12月21日(土)14時～

講演：西森陸雄、霜田亮祐、長田直之、白井宏昌

会場：国立新美術館 企画展示室2E

参加者数：30人

●ギャラリートーク／建築

日時：12月22日(日)11時～

講演：大野暁彦、平瀬有人

会場：国立新美術館 企画展示室2E

参加者数：20人

●建築家シンポジウム

日時：12月22日(日)14時～

パネリスト：栗生明、小川晋一、古谷誠章、林寛治、松田達

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：60人

●ギャラリートーク／建築

日時：12月23日(月・祝)11時～

講演：土井一秀、古谷誠章、吉村靖孝

会場：国立新美術館 企画展示室2E

参加者数：20人

●座談会「アートと建築家の可能性」

日時：平成26(2014)年1月11日(土)14時～

出演：川上りえ(彫刻)、大栗恵(写真)、松田達(建築)、松川昌平(建築)

会場：国立新美術館 研修室A,B

参加者数：50人

●ギャラリートーク／美術

日時：1月12日(日)11時～

講演：川上りえ、大栗恵

会場：国立新美術館 企画展示室2E

参加者数：50人

●ギャラリートーク／建築

日時：1月13日(月・祝)14時～

講演：細海拓也、石井大五、林寛治

会場：国立新美術館 企画展示室2E

参加者数：30人

●ギャラリートーク／建築

日時：1月15日(水)14時～

講演：小川晋一、大松俊紀

会場：国立新美術館 企画展示室2E

参加者数：20人

●ギャラリートーク／建築

日時：1月18日(土)14時～

講演：戸室太一、今永利和、松川昌平

会場：国立新美術館 企画展示室2E

参加者数：20人

●ギャラリートーク／建築

日時：1月19日(日)14時～

講演：藤井由理、山口尚之、松田達

会場：国立新美術館 企画展示室2E

参加者数：40人

関連事業：

●建築家DAY

日時：12月23日(月・祝)14時～

出演：栗生明、小川晋一、古谷誠章、林寛治、松田達、他13人

会場：国立新美術館 企画展示室2E

参加者数：50人

●ダンスパフォーマンス

日時：1月24日(金)12時～、15時～、19時～

出演：Alice Hinde(ダンサー)

会場：国立新美術館 企画展示室2E

参加者数：120人(全3回)

カタログ：『未来を担う美術家たち 16th DOMANI・明日展 文化庁芸術家在外研修の成果』

A4変型、172ページ、図版カラー100点、2,500部

出品目録：仕上りA4判、二つ折、20,000部

ポスター：B1判、300部

B2判、1,700部

B3判、500部

チラシ：A4判、100,000部

関連記事：

Casa BRUTUS／平成25(2013)年12月10日

BEAT PLANET (J-WAVE)／12月16日

住宅特集／平成26(2014)年1月19日

芸術新潮／2月5日

建築技術／2月17日

他 多数

※出品リスト：pp.109-110



12月23日 建築家DAY

平成25年度 [第17回] 文化庁メディア芸術祭
2013 [17th] Japan Media Arts Festival

文化庁メディア芸術祭はアート、エンターテインメント、アニメーション、マンガの4部門において優れた作品を顕彰するとともに、受賞作品の鑑賞機会を提供するメディア芸術の総合フェスティバルである。平成9年度(1997年)の開催以来、高い芸術性と創造性をもつ優れたメディア芸術作品を顕彰し、受賞作品の展示・上映や、シンポジウム等の関連イベントを実施する受賞作品展を開催している。

平成25年度 [第17回] 文化庁メディア芸術祭受賞作品展では、アート、エンターテインメント、アニメーション、マンガの4部門で国内外4,347作品の応募から選ばれた受賞作品や審査委員会推薦作品、功労賞受賞者の功績等を紹介。各部門の審査委員による厳正な審査で選ばれた作品群と、さまざまなイベントを通じて、メディア芸術の“いま”を映し出した。

The Japan Media Arts Festival is a wide-ranging celebration of the media arts that honors and exhibits the year's most notable achievements in four divisions: art, entertainment, animation, and manga. Held annually since 1997, the festival centers on the designation of works of outstanding artistic merit and creativity in the media arts and the display and screening of the prize-winning works, along with symposiums and other related events.

The 2013 [17th] Japan Media Arts Festival exhibit featured award winners selected from 4,347 Japanese and international entries in the divisions of art, entertainment, animation, and manga, together with “jury selections” (entries receiving honorable mention) and works by recipients of the Special Achievement Award. Between the rich array of award-winning works selected through rigorous jury screening in each division and the impressive lineup of events, the festival provided a vivid picture of the media arts scene today.

会期：平成26(2014)年2月5日(水)～2月16日(日)

日数：11日

会場：国立新美術館 企画展示室1E

入場者数：38,938人(1日平均3,540人)

※サテライト会場：東京ミッドタウン [ガレリア地下1階アトリウム、コートヤード、タワー 5階デザインハブ(インターナショナル・デザイン・リエゾンセンター)]、シネマト六本木 [1階エントランス、3階シネマトホール]、スーパー・デラックス
入場者数：13,982人

入場：無料

主催：文化庁メディア芸術祭実行委員会

講演会等：(会場：国立新美術館 講堂)

●受賞者プレゼンテーション

・アート部門「アートがもたらす世界の捉え方01～アートから世界を知覚化する」

日時：2月5日(水) 14時～16時

出演：Carsten NICOLAI (大賞『crt mgn』)、三原聡一郎 (優秀賞『
』を超える為の余白』)、高谷史郎 (審査委員/アーティスト)

モデレーター：岡部あおみ (審査委員/美術評論家)

参加者数：88人

・アート部門「アートがもたらす世界の捉え方02～ビッグ・データのゆくえ」

日時：2月6日(木) 13時～15時

出演：Benedikt GROSS / Joey LEE (優秀賞『The Big Atlas of LA Pools』)、La Societe Anonyme (新人賞『The SKOR Codex』)

出演：松井茂 (選考委員/詩人/東京藝術大学芸術情報センター助教)

参加者数：83人

・アート部門「アートがもたらす世界の捉え方03～ネットワークが繋ぐ真実」

日時：2月6日(木) 15時30分～17時30分

出演：James BRIDLE (優秀賞『Dronestagram』)、Amor MUNOZ (新人賞『Maquila Region 4』)、小町谷圭 (選考委員/メディアアーティスト/札幌大谷大学講師)

出演：植松由佳 (審査委員/国立国際美術館主任研究員)

参加者数：65人

・アート部門「アートがもたらす世界の捉え方04～テクノロジー再考」

日時：2月14日(金) 13時30分～15時30分

出演：LAU Hochi (新人賞『Learn to be a Machine | Distant Object #1』)、安野太郎 (審査委員会推薦作品『ゾンビ音楽』)、

出演：工藤健志 (選考委員/青森県立美術館学芸員)



モデレーター：三輪眞弘 (審査委員/作曲家/情報科学芸術大学院大学(IAMAS)教授)

参加者数：34人

・エンターテインメント部門「福島ゲームジャム in 文化庁メディア芸術祭 成果発表会」

日時：2月9日(日) 10時30分～12時30分

出演：中林寿文 (審査委員会推薦作品『東北ITコンセプト 福島ゲームジャム』運営事務局 代表)、新清士 (IGDA日本 名誉理事) 他

出演：飯田和敏 (審査委員/ゲーム作家/デジタルハリウッド大学教授)、岩谷徹 (審査委員/ゲームクリエイター/東京工芸大学教授)

参加者数：49人

・エンターテインメント部門「いまゲームで表現できること～ルールとキャラクターから」

日時：2月15日(土) 11時～12時30分

出演：なんも (柳原隆幸) (新人賞『TorqueL prototype 2013.03 @ E3』)、池田佑基/鈴田健 (審査委員会推薦作品『rain』)

出演：飯田和敏、岩谷徹

参加者数：21人

・エンターテインメント部門「データの記録、感動の共有」

日時：2月15日(土) 15時～17時

出演：菅野薫/澤井妙治/真鍋大度/関根光才 (大賞『Sound of Honda / Ayrton Senna 1989』)、犬飼博士/安藤僚子 (優秀賞『スポーツタイムマシン』)

出演：飯田和敏、久保田晃弘 (審査委員/アーティスト/多摩美術大学教授)

参加者数：117人

●シンポジウム

・文化庁海外メディア芸術祭等参加事業「作品を海外で見せること～アルスエレクトロニカとトランスメディアールにて」

日時：2月8日(土)13時～14時30分

[第1部]アルスエレクトロニカ企画展「A New Platform for New Memories」

出演：小川絵美子(アルスエレクトロニカ・プレアルス担当)、森田菜絵(企画担当ディレクター)

[第2部]トランスメディアール企画展「exodus from formal internet」

出演：伊藤ガビン(企画担当ディレクター)、萩原俊矢(IDPW/第16回エンターテインメント部門新人賞)

参加者数：64人

・「映像の本質～松本俊夫による作品群からメディアの現在まで」
日時：2月8日(土)15時～17時30分

出演：松本俊夫(映画監督/映像作家/映画理論家)、阪本裕文(メディアアート史研究家/稚内北星学園大学講師)他

モデレーター：宇川直宏(エンターテインメント部門審査委員/現代美術家/京都造形芸術大学教授/DOMMUNE主宰)

参加者数：92人

・「エンジニアリング ナム・ジュン・バイク」

日時：2月9日(日)15時～17時

出演：石橋素(エンジニア/アーティスト)、馬定延(メディアアート研究)

モデレーター：松井茂

参加者数：72人

・「アニメーションと音の世界」

日時：2月14日(金)17時30分～19時

出演：柏原満(功労賞/音響効果)

モデレーター：杉井ギサブロー(アニメーション部門審査委員/アニメーション映画監督)

・「想像力の共有地<コモンズ>」

[第1部]「日本のエンターテインメントーフィクションの神話/ゲーム的創造力」

日時：2月16日(日)10時30分～12時30分

出演：津田大介(ジャーナリスト、メディア・アクティビスト)、イシジロウ(ゲームディレクター/レベルファイブ所属)

モデレーター：さやわか(物語評論家)

参加者数：82人

[第2部]「ジャパン・コンテンツとしてのコンテンツポラリー・アートをジャパニーズ・ネオ・ポップ・リヴィジテッド」

日時：2月16日(日)13時～15時

出演：中原浩大(現代美術家/京都市立芸術大学教授)、ヤノベケンジ(現代美術家/京都造形芸術大学教授)、村上隆(現代美術家/有限会社カイカイキキ代表)

モデレーター：楠見清(美術評論家/編集者/首都大学東京准教授)

参加者数：212人

[第3部]「文化は(共有地)を見いだせるか?—「メディア芸術祭」という場所を考える—」

日時：2月16日(日)15時30分～17時30分

出演：吉岡洋(美学/京都大学教授)、大澤真幸(THINKING[O]主宰)

参加者数：109人

関連事業：(会場：国立新美術館 企画展示室1E)

●ガイドツアー

日時：2月5日(水)、6日(木)、7日(金)、10日(月)、13日(木)、14日(金) 11時～12時

参加者数：65人(全6回)

●ワークショップ

・視覚障害者をつくる美術鑑賞ワークショップ

日時：2月8日(土)10時～12時、14日(金)13時～15時、17時～19時

参加者数：29人(全3回)

・聴覚障害者をつくる美術鑑賞ワークショップ

日時：2月7日(金)10時～14時30分

講師：菅野薫、澤井妙治

参加者数：36人

・「刺繍で作る電子回路」ワークショップ

日時：2月13日(木)13時～13時45分

講師：Amor MUNOZ

参加者数：6人

●デモンストレーション

・エンターテインメント部門審査委員会推薦作品『スケルトニクス』デモンストレーション

日時：2月8日(土)、15日(土)13時～13時30分、15時～15時30分

出演：白久レイエス樹/阿嘉倫大/中野桂樹

・アニメーション部門 新人賞『ようこそぼくです選』デモンストレーション

日時：2月15日(土)、16日(日)14時～14時30分、16時～16時30分

出演：姫田真武

関連事業：(会場：国立新美術館 研修室)

●ワークショップ

・「劇メーションをつくろう」

日時：2月7日(金)15時～16時30分

講師：宇治茶/安斎レオ(エンターテインメント部門部門優秀賞『燃える仏像人間』)

参加者数：10人

・「福島ゲームジャム in 文化庁メディア芸術祭 制作ワークショップ」

日時：2月8日(土)10時～17時30分

講師：中林寿文、新清士 他

スーパーバイザー：飯田和敏、岩谷徹

参加者数：31人

・「ゲームが分からない人のためのワークショップ」

日時：2月15日(土)14時～16時

講師：なんも(柳原隆幸)、池田佑基、鈴木健

モデレーター：岩谷徹

参加者数：18人

・「プログラム初級講座—メディア芸術をはじめよう」

日時：2月16日(日)13時～15時

講師：久保田晃弘、田所淳(クリエイティブ・コーダー/多摩美術大学講師)

ゲスト：石渡昌太(エンターテインメント部門審査委員会推薦作品『RAPIRO』)

参加者数：17人

●作品上映

会期：2月5日(水)～11日(火・祝)、13日(木)～16日(日)

参加者数：1,831人

カタログ：『平成25年度[第17回]文化庁メディア芸術祭受賞作品集』A5判、376ページ、図版カラー326点、5,000部

ポスター：B2判、1,650部

B1判、450部

開催プログラム：仕上りA4判、四つ折、75,000部

出展リスト：仕上りA5判、四つ折、90,000部

関連記事：

ART iT/平成25(2013)年12月9日

美術手帖/平成26(2014)年1月号

毎日新聞/2月4日

BEAT PLANET (J-WAVE)/2月6日

朝日新聞/2月12日

読売新聞/2月14日

news every(日本テレビ)/2月18日

ジャパコンTV(BSフジ)/3月28日

ブレーン/3月号

他 多数

※出品リスト：pp.111-113

イメージの力—国立民族学博物館コレクションにさぐる The Power of Images: The National Museum of Ethnology Collection

本展は、国立新美術館が、34万点にも及ぶ世界各地の資料を擁する国立民族学博物館と共同して企画した展覧会である。イメージは、絵画や彫刻となって現前する一方、人間の記憶に生き続けることができる観念的な存在でもある。古来、人は自らが生み出したイメージに祈りを捧げ、これと戯れ、これと操作することで、生きることとの折り合いをつけてきた。本展覧会は、人間がイメージに何を求め、そこから何を得て精神的なよりどころとしてきたかを問うている。

展示は、世界各地の儀礼で用いられる仮面を集めたプロローグ「視線のありか」から始まる。そして、神や神話などの視覚化を探る第1章「みえないもののイメージ」、色や光、高さを強調したイメージを集めた第2章「イメージの力学」、かたちを生み出すことの根源的な喜びに着目した第3章「イメージとたわむれる」、交通や通信の発達によるイメージの交流を扱う第4章「イメージの翻訳」、そして最後に、美術館という場の機能を見つめ直すエピローグ「見出されたイメージ」へと展開していく。いずれのセクションにおいても、さまざまな地域や時代の造形物が混在しており、イメージに対する人類の普遍的な志向を検証している。

The National Art Center, Tokyo, organized this exhibition in collaboration with the National Museum of Ethnology in Osaka, which houses some 340,000 artifacts from cultures all around the world. Images that appear before our eyes in the form of such material objects as paintings and sculptures also exist on an intangible, conceptual level, and live on as such in human memory. From time immemorial, human beings have created, worshipped, played with, and manipulated images in their effort to understand and come to terms with their world. What did people seek in these images? What did they find? What psychological need did those images fill? These are the basic questions explored in this exhibition.

The exhibition was organized as follows. In “Prologue: The Experience of the Gaze,” it began with a selection of ceremonial masks from around the world. “Section 1: Images of the Invisible” dealt with the visual depiction of divine and mythological subjects. “Section 2: The Dynamics of Images” examined the impact of such basic visual elements as color, light, and height. “Section 3: Playing with Images” highlighted the pleasure and joy human beings derive from the creation of images, while “Section 4: The Translation of Images,” focused on the spread, transformation, and cross-pollination of images as a result of advances in transportation and communication. Finally, in “Epilogue: Found Images,” the exhibition probed the role of museums in the preservation and display of images. By assembling objects from disparate regions and eras in each section, the exhibition helped illuminate some of the constants and variables in the universal human impulse to create images.

会期：平成26（2014）年2月19日（水）～6月9日（月）
日数：36日（全会期：97日）
会場：国立新美術館 企画展示室2E
入場者数：14,711人（1日平均409人）
入場：有料
主催：国立新美術館、国立民族学博物館
共催：日本文化人類学会
後援：NHKプロモーション
協力：国立情報学研究所、千里文化財団

講演会等：

●シンポジウム「新たなイメージ論に向けて」

日時：2月22日（土）14時～17時

パネリスト：水沢勉（神奈川県立近代美術館館長）、水野千依（京都造形芸術大学教授）、長屋光枝（学芸課主任研究員）

モデレーター：青木保（館長）

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：45人



関連事業：

●開幕記念イベント「みる・きく・あそぶ イメージのカウティークエンド」

開催日：3月8日(土)、9日(日)

・ワークショップ「折りジナルフェイスをつくろう！」

日時：3月8日(土)11時～12時、13時30分～14時30分、16時～17時

講師：COCHAE 軸原ヨウスケ、武田美貴(デザイン・ユニット)

会場：国立新美術館 1階ロビー

参加者数：133人(全3回)

・アラブ古典音楽のコンサート

日時：3月8日(土)12時～13時、15時～16時

出演：ル・クラブ・バシュラフ

会場：国立新美術館 1階ロビー

参加者数：246人(全2回)

・親指ピアノと世界各地の民族楽器のコンサート

日時：3月9日(日)11時～12時、13時～14時

出演：HIROYUKI、なかむらPAPAこういち、ミウラ1号、cHiHiRo、島田博樹

会場：国立新美術館 1階ロビー

参加人数：473人(全2回)

・カフェアオキ 第14回「美術の力とはどこにあるのか～『イメージの力』展をめぐって～」

日時：3月9日(日)15時～16時30分

出演：青木保(館長)、中村英樹(美術評論家、名古屋造形大学名誉教授)、山梨俊夫(国立国際美術館長)

会場：国立新美術館 講堂

参加人数：115人

●関連ワークショップ「わたし みんな めぐる イメージー世界のもの向き合おう」

日時：3月15日(土)、16日(日)11時～16時30分

講師：吉田憲司(国立民族学博物館教授)、山中由里子(国立民族学博物館准教授)、齋藤玲子(国立民族学博物館助教)、上羽陽子(国立民族学博物館准教授)、長屋光枝(学芸課主任研究員)、山田由佳子(学芸課研究員)

会場：国立新美術館 研修室A、B、企画展示室2E

対象：15日 一般(中学生以上)

16日 小学校4年生～6年生

参加人数：22人(3月15日)、8人(3月16日)

カタログ：『イメージの力ー国立民族学博物館コレクションにさぐる』
A4変型、272ページ、図版カラー208点・白黒202点、7,000部

出品目録：仕上りA4判、経本折、8ページ、42,000部

ポスター：B1判、1,100部

B3判、3,640部

B3変型(インターサイズ)、1,170部

チラシ：A4判、145,000部

鑑賞ガイド：『アートのとびらVol.8』

A5判、16ページ、図版カラー8点、30,000部



2月22日 シンポジウム

関連記事：

新美術新聞／平成26(2014)年2月21日／長屋光枝(学芸課主任研究員)

日本経済新聞／2月22日

東京新聞(夕刊)／3月7日／中村英樹

朝日新聞(夕刊)／3月11日／大村治郎

朝日新聞(夕刊)／3月26日／大西若人

ぶらぶら美術・博物館(BS日テレ)／3月28日

日曜美術館(アートシーン)(NHK Eテレ)／3月30日

美術手帖／4月号

他 多数

※出品リスト：pp.114-121

※本展の平成26年度開催記録は『平成26年度 国立新美術館活動報告』に記載する。

中村一美展
NAKAMURA Kazumi

会期：平成26（2014）年3月19日（水）～5月19日（月）
日数：12日（全会期；55日）
会場：国立新美術館 企画展示室1E
入場者数：2,466人（1日平均206人）
入場：有料
主催：国立新美術館

カタログ：『中村一美展』
A4変型、240ページ、図版カラー179点・白黒9点、4,000部
差し込み；A4判変型、二つ折、図版カラー12点

出品目録：仕上りA4判、蛇腹折、8ページ、34,000部

ポスター：B1判、1,000部
B3判、3,200部
B3変型（インターサイズ）、1,170部

チラシ：A4判、115,000部

関連記事：
日本経済新聞／平成26（2014）年3月26日／窪田直子
読売新聞／3月29日／井上晋治

※本展の平成26年度開催記録及び出品リストは、『平成26年度 国立新美術館活動報告』に記載する。



3

美術団体等への展覧会会場提供

Provision of Exhibition Venues to
Artist Associations

全国的な活動を行っている美術団体等が実施する公募展等への展覧会会場の提供を行った。平成25年度は、69団体に展覧会会場を提供し、第1会期から第25会期まで(平成25年4月2日～平成26年3月31日)の公募展等の入場者数は合計1,205,249人であり、平成25年4月から平成26年3月までの入場者数は合計1,208,227人であった。

また、前年度の経験を踏まえ、施設・備品の管理運営の改善に取り組んだ。

The National Art Center, Tokyo provides exhibition space to artist associations from around the country for public exhibitions and other events. In fiscal 2013, 69 such exhibition were held at NACT, attracting a total of 1,205,249 visitors from Session 1 to Session 25 (April 2, 2013 to March 31, 2014). 1,208,227 people visited between April, 2013 and March, 2014. Building on our experiences from the previous fiscal year, we worked to improve the management of the equipment and facilities provided.

平成25年度会場使用団体一覧

団体名：一般社団法人 創元会

展覧会名：第72回 創元展

会期/日数：4月3日(水)～4月15日(月)/12日

展示室：1A, 1B, 1C, 1D

入場者数：24,490人



団体名：現代日本書家協会

展覧会名：第29回 全国公募書道展

会期/日数：4月17日(水)～4月29日(月・祝)/12日

展示室：3A

入場者数：2,381人



団体名：一般社団法人 示現会

展覧会名：第66回 示現会展

会期/日数：4月3日(水)～4月15日(月)/12日

展示室：2A, 2B, 2C, 2D

入場者数：22,881人



団体名：国画会

展覧会名：第87回 国展

会期/日数：5月1日(水)～5月13日(月)/12日

展示室：1A, 1B, 1C, 1D, 2A, 2B, 2C, 2D, 3A, 3B, 野外展示場A, B, C, D

入場者数：80,087人



団体名：水彩連盟

展覧会名：第72回 水彩連盟展

会期/日数：4月3日(水)～4月15日(月)/12日

展示室：3A, 3B

入場者数：16,424人



団体名：公益社団法人 日本新工芸家連盟

展覧会名：第35回 日本新工芸展

会期/日数：5月15日(水)～5月26日(日)/11日

展示室：3A, 3B

入場者数：6,452人



団体名：一般社団法人 光風会

展覧会名：第99回 光風会展

会期/日数：4月17日(水)～4月29日(月・祝)/12日

展示室：1A, 1B, 1C, 1D

入場者数：23,984人



団体名：一般社団法人 太平洋美術会

展覧会名：第109回 太平洋展

会期/日数：5月15日(水)～5月27日(月)/12日

展示室：1A, 1B, 1C, 1D

入場者数：21,412人



団体名：一般社団法人 春陽会

展覧会名：第90回記念 春陽展

会期/日数：4月17日(水)～4月29日(月・祝)/12日

展示室：2A, 2B, 2C, 2D, 3B

入場者数：25,413人



団体名：三軌会

展覧会名：65回記念 三軌展

会期/日数：5月15日(水)～5月27日(月)/12日

展示室：2A, 2B, 2C, 2D

入場者数：16,231人



団体名：現代美術家協会
展覧会名：第69回 現展
会期/日数：5月29日(水)～6月10日(月)／12日
展示室：1A, 1B, 1C
入場者数：10,123人



団体名：書象会
展覧会名：第52回 書象展
会期/日数：6月13日(水)～6月23日(日)／10日
展示室：2C, 2D
入場者数：8,240人



団体名：第一美術協会
展覧会名：第84回 第一美術展
会期/日数：5月29日(水)～6月10日(月)／12日
展示室：1D, 2C, 2D
入場者数：17,219人



団体名：日本水墨院
展覧会名：公募第28回 日本水墨院展
会期/日数：6月26日(水)～7月7日(日)／11日
展示室：1B
入場者数：20,353人



団体名：一般社団法人 日洋会
展覧会名：第27回 日洋展
会期/日数：5月29日(水)～6月10日(月)／12日
展示室：2A, 2B, 3A, 3B
入場者数：22,425人



団体名：高校生国際美術展実行委員会
展覧会名：第14回 高校生国際美術展
会期/日数：6月26日(水)～7月7日(日)／11日
展示室：2A
入場者数：6,117人



団体名：日本自由画壇
展覧会名：第39回 日本自由画壇展
会期/日数：6月12日(水)～6月24日(月)／12日
展示室：2A, 2B
入場者数：18,627人



団体名：日本教育書道藝術院
展覧会名：第33回 日本教育書道藝術院同人書作展
会期/日数：6月26日(水)～7月7日(日)／11日
展示室：2C, 2D
入場者数：5,730人



団体名：一般社団法人 国際墨画会
展覧会名：第13回 国際公募国際墨画会展
会期/日数：6月12日(水)～6月24日(月)／12日
展示室：3A
入場者数：10,162人



団体名：公益財団法人 陶芸文化振興財団
展覧会名：全国公募2013 陶芸財団展
会期/日数：6月26日(水)～7月7日(日)／11日
展示室：3B
入場者数：6,497人



団体名：たぶろう美術協会
展覧会名：第48回 たぶろう展
会期/日数：6月12日(水)～6月24日(月)／12日
展示室：3B
入場者数：6,836人



団体名：アート未来
展覧会名：2013・18th 国際公募 アート未来展
会期/日数：6月26日(水)～7月8日(月)／12日
展示室：1A, 野外展示場A
入場者数：11,111人



団体名：公益財団法人 全国書美術振興会
展覧会名：第41回 「日本の書展」 東京展
会期/日数：6月13日(木)～6月23日(日)／10日
展示室：1A, 1B, 1C, 1D
入場者数：9,751人



団体名：蒼騎会
展覧会名：第53回 蒼騎展
会期/日数：6月26日(水)～7月8日(月)／12日
展示室：1C, 1D
入場者数：13,226人



団体名：日本表象美術協会
展覧会名：第40回 日象展
会期／日数：6月26日(水)～7月8日(月)／12日
展示室：2B
入場者数：6,464人



団体名：公益社団法人 二科会
展覧会名：第98回 二科展
会期／日数：9月4日(水)～9月16日(月・祝)／12日
展示室：1A, 1B, 1C, 1D, 2A, 2B, 2C, 2D, 3A, 3B,
野外展示場A, B, C, D
入場者数：86,888人



団体名：貞香会
展覧会名：第48回 貞香書展
会期／日数：6月26日(水)～7月8日(月)／12日
展示室：3A
入場者数：4,026人



団体名：新制作協会
展覧会名：第77回 新制作展
会期／日数：9月18日(水)～9月30日(月)／12日
展示室：1A, 1B, 2A, 2B, 3A, 3B, 野外展示場A, B
入場者数：46,371人



団体名：一般財団法人 毎日書道会・毎日新聞社
展覧会名：第65回 毎日書道展
会期／日数：7月10日(水)～8月4日(日)／23日
展示室：1A, 1B, 1C, 1D, 2A, 2B, 2C, 2D, 3A, 3B
入場者数：45,900人



団体名：行動美術協会
展覧会名：第68回 行動展
会期／日数：9月18日(水)～9月30日(月)／12日
展示室：1C, 1D, 2C, 2D, 野外展示場C, D
入場者数：22,486人



団体名：JIAS日本国際美術家協会
展覧会名：第14回 日本・フランス現代美術世界展
会期／日数：8月7日(水)～8月18日(日)／11日
展示室：3A
入場者数：5,720人



団体名：自由美術協会
展覧会名：第77回 自由美術展
会期／日数：10月2日(水)～10月14日(月・祝)／
12日
展示室：1A, 1B, 2A, 2B, 野外展示場A, B
入場者数：15,677人



団体名：全国水墨画協会
展覧会名：第20回 全国水墨画展
会期／日数：8月7日(水)～8月19日(月)／12日
展示室：3B
入場者数：4,606人



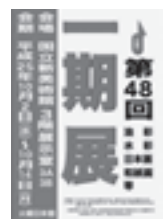
団体名：一陽会
展覧会名：第59回 一陽展
会期／日数：10月2日(水)～10月14日(月・祝)／
12日
展示室：1C, 1D, 2C, 2D, 野外展示場C, D
入場者数：17,813人



団体名：公益財団法人 国際文化カレッジ
展覧会名：日美展(第18回総合水墨画展・第14回
日美絵画展)
会期／日数：8月8日(木)～8月17日(土)／9日
展示室：1A, 1B, 1C, 1D, 2A, 2B, 2C, 2D
入場者数：22,326人



団体名：一期会
展覧会名：第48回 一期展
会期／日数：10月2日(水)～10月14日(月・祝)／
12日
展示室：3A, 3B
入場者数：11,608人



団体名：読売書法会・読売新聞社
展覧会名：第30回 読売書法展 東京展
会期／日数：8月23日(金)～9月1日(日)／9日
展示室：1A, 1B, 1C, 1D, 2A, 2B, 2C, 2D, 3A, 3B
入場者数：25,386人



団体名：独立美術協会
展覧会名：第81回 独立展
会期／日数：10月16日(水)～10月28日(月)／12日
展示室：1A, 1B, 2A, 2B, 3A
入場者数：24,887人



団体名：一般社団法人 二紀会
展覧会名：第67回 二紀展
会期/日数：10月16日(水)～10月28日(月) / 12日
展示室：1C, 1D, 2C, 2D, 3B, 野外展示場C, D
入場者数：33,260人



団体名：白峰社
展覧会名：第31回 白峰社書展
会期/日数：12月11日(水)～12月23日(月・祝) / 12日
展示室：3A, 3B
入場者数：3,508人



団体名：瓦・造形会
展覧会名：第18回 瓦・造形展
会期/日数：10月17日(木)～10月28日(月) / 11日
展示室：野外展示場A, B
入場者数：1,115人



団体名：株式会社 全日本書芸文化院
展覧会名：第42回 全書芸展
会期/日数：12月12日(木)～12月23日(月・祝) / 11日
展示室：2B, 2C, 2D
入場者数：5,773人



団体名：公益社団法人 日展
展覧会名：第45回 日展
会期/日数：11月1日(金)～12月8日(日) / 33日
展示室：1A, 1B, 1C, 1D, 2A, 2B, 2C, 2D, 2E, 3A, 3B
入場者数：152,715人



団体名：公益財団法人 独立書人団
展覧会名：第62回 独立書展
会期/日数：1月8日(水)～1月20日(月) / 12日
展示室：1A, 1B, 1C, 1D, 2A, 2B, 2C, 2D, 3A, 3B
入場者数：22,971人



団体名：一般社団法人 雪舟国際美術協会
展覧会名：第20回 雪舟国際美術協会展
会期/日数：12月11日(水)～12月22日(日) / 11日
展示室：1C, 1D
入場者数：9,441人



団体名：特定非営利活動法人 平泉会
展覧会名：第26回 平泉展 ～楽しい手作り～
会期/日数：1月22日(水)～2月3日(月) / 12日
展示室：1A
入場者数：10,002人



団体名：土日会
展覧会名：第38回 土日会展
会期/日数：12月11日(水)～12月23日(月・祝) / 12日
展示室：1A
入場者数：6,947人



団体名：国際書画連盟
展覧会名：第36回 国際書画展
会期/日数：1月22日(水)～2月3日(月) / 12日
展示室：1B, 1C, 1D
入場者数：6,207人



団体名：シェル美術賞事務局・昭和シェル石油株式会社
展覧会名：シェル美術賞展2013
会期/日数：12月11日(水)～12月23日(月・祝) / 12日
展示室：1B
入場者数：6,815人



団体名：亜細亜太平洋水墨画会
展覧会名：アジア創造美術展
会期/日数：1月22日(水)～2月3日(月) / 12日
展示室：2A
入場者数：3,863人



団体名：特定非営利活動法人 国際架橋書会
展覧会名：第26回 国際架橋書展
会期/日数：12月11日(水)～12月23日(月・祝) / 12日
展示室：2A
入場者数：8,402人



団体名：産経国際書会
展覧会名：第30回記念 産経国際書展 新春展
会期/日数：1月22日(水)～2月3日(月) / 12日
展示室：2B, 2C, 2D
入場者数：6,774人



団体名：一般社団法人Heart Art Communication
展覧会名：Heart Art in TOKYO 2014 第17回エ
イズチャリティー美術展
会期/日数：1月23日(木)～2月3日(月)／11日
展示室：3A, 3B
入場者数：3,699人



団体名：日本書作院
展覧会名：第54回 日本書作院展
会期/日数：2月6日(木)～2月17日(月)／11日
展示室：2B, 2C, 2D
入場者数：13,206人



団体名：New Artist Unit
展覧会名：第12回 NAU21世紀美術連立展
会期/日数：2月5日(水)～2月17日(月)／12日
展示室：1A
入場者数：1,150人



団体名：一般社団法人 新構造社
展覧会名：新構造 東京展
会期/日数：2月19日(水)～3月3日(月)／12日
展示室：3A
入場者数：5,529人



団体名：新槐樹社
展覧会名：第58回 新槐樹社展
会期/日数：2月5日(水)～2月17日(月)／12日
展示室：1C, 1D
入場者数：7,005人



団体名：現日会
展覧会名：第54回 現日春季書展
会期/日数：2月19日(水)～3月3日(月)／12日
展示室：3B
入場者数：2,225人



団体名：あきつ会
展覧会名：第39回 あきつ会書道展
会期/日数：2月5日(水)～2月17日(月)／12日
展示室：2A
入場者数：3,269人



団体名：東京五美術大学(女子美術大学・東京造
形大学・日本大学芸術学部・武蔵野美術
大学・多摩美術大学)
展覧会名：平成25年度第37回 東京五美術大学連
合卒業・修了制作展
会期/日数：2月20日(木)～3月2日(日)／10日
展示室：1A, 1B, 1C, 1D, 2A, 2B, 2C, 2D, 野外展
示場A, B, C
入場者数：52,329人



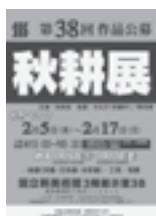
団体名：美術団体 等迦会
展覧会名：第46回 等迦展
会期/日数：2月5日(水)～2月17日(月)／12日
展示室：3A
入場者数：4,625人



団体名：全国水墨画美術協会
展覧会名：第43回 全日本水墨画秀作展
会期/日数：3月5日(水)～3月16日(日)／11日
展示室：3A, 3B
入場者数：3,805人



団体名：秋耕会
展覧会名：第38回 秋耕展
会期/日数：2月5日(水)～2月17日(月)／12日
展示室：3B
入場者数：8,522人



団体名：汎美術協会
展覧会名：2014 汎美展
会期/日数：3月5日(水)～3月17日(月)／12日
展示室：1A
入場者数：6,582人



団体名：全日本アートサロン絵画大賞展実行委員会
展覧会名：第23回 全日本アートサロン絵画大賞展
会期/日数：2月6日(木)～2月17日(月)／11日
展示室：1B
入場者数：2,272人



団体名：公益社団法人 創玄書道会
展覧会名：第50回 創玄展
会期/日数：3月6日(木)～3月16日(日)／10日
展示室：1B, 1C, 1D, 2A, 2B, 2C, 2D
入場者数：17,860人



団体名：日本美術会
展覧会名：第67回 日本アンデパンダン展
会期／日数：3月19日（水）～3月31日（月）／12日
展示室：1A, 1B, 1C, 1D
入場者数：19,300人



団体名：白日会
展覧会名：白日会創立九十周年記念展
会期／日数：3月19日（水）～3月31日（月）／12日
展示室：2A, 2B, 2C, 2D
入場者数：18,269人



団体名：公益社団法人 日本南画院
展覧会名：公募第54回 日本南画院展
会期／日数：3月19日（水）～3月31日（月）／12日
展示室：3A, 3B
入場者数：11,479人



入場者数合計：1,205,249人

公募展開催に関わる取り組み

- 平成25年度展示室等使用団体実績
使用団体：69団体
- 平成27年度展示室等使用団体の決定
決定時期：6月
決定団体：69団体
- 平成28年度展示室等使用団体の使用申請受付
受付期間：2月1日（土）～2月28日（金）
- 平成28年度野外展示場使用団体の募集
募集期間：2月1日（土）～2月28日（金）
- 使用団体等への支援
ホームページに、開催中の公募団体等の展覧会のポスター画像を掲載し、使用団体等の展覧会広報の支援を行った。
『国立新美術館ニュース』に使用団体等からの寄稿を掲載し、団体の活動を紹介した。
- 展覧会観覧者への情報提供
公募展開催案内チラシを作成・配布するとともに、ホームページに公募展情報を掲載した。
『公募展開催案内』vol.30～vol.34（年5回発行）、A4判、全33,000部
- 企画展との相互割引の導入
自主企画展及び共催展において、開催中の公募展の観覧券持参者に対する割引観覧を行った。また、開催中の自主企画展及び共催展の観覧券持参者に対し、公募展の割引または無料観覧の協力を依頼し、相互割引の充実に努めるとともに、館内での周知を行った。

教育普及事業に対する公募団体等との連携

●「第87回国展」関連事業

「第7回国展トークイン—作家の目 作者の心—」

主催：国画会、国立新美術館

後援：文部科学省、東京都教育委員会

開催日：5月5日（日）

会場：国立新美術館 第87回国展会場

参加者数：228人



5月5日 国展

●「第45回日展」関連事業

主催：公益社団法人日展、国立新美術館

・講演会

開催日：11月2日（土）、11月3日（日）、11月4日（月・振休）、11月9日（土）、
11月16日（土）

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：895人（全5回）

・映像による作品解説

開催日：11月2日（土）、11月3日（日）、11月4日（月・振休）、11月9日（土）、
11月16日（土）、11月23日（土・祝）、11月30日（土）、12月1日（日）

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：1,330人（全10回）

・シンポジウム「日本の美 今を観る」

開催日：11月11日（月）[日展の日]

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：280人

・親子鑑賞教室

開催日：11月10日（日）、11月17日（日）、11月24日（日）

会場：国立新美術館 講堂、研修室

参加者数：100組255人（全6回）

・らくらく鑑賞会

開催日：11月6日（水）、11月18日（月）、11月25日（月）、12月2日（月）

会場：国立新美術館 第45回日展会場、研修室

参加者数：28人（全4回）

・ミニ解説会

開催日：第45回日展会期中の平日（11月1日、11日を除く）

会場：国立新美術館 第45回日展会場

参加者数：935人（18日間合計）



11月25日 日展

4

教育普及

Education and Public Programs

4-1 講演会等

Lectures, etc.

4-2 ワークショップ

Workshops

4-3 インターンシップ、ボランティア

Internships and Volunteering

4-4 その他の教育普及事業

Other Education and Public Programs

来館者の鑑賞の充実とサポートを目的に、展覧会に合わせて講演会やアーティスト・トークなどを開催したほか、無料の鑑賞ガイドブックを作成、配布した。また、美術に触れ、親しむ機会を広く提供するために、子どもから大人まで幅広い層を対象としたワークショップや講演会などのイベントを実施した。さらに、インターンや学生ボランティアの受け入れを継続的に行い、美術館活動への理解の促進や人材育成を図った。

To help people get the most out of their visit, we held lectures, artist talks, other events to coincide with our exhibitions, and distributed a series of free guidebooks. We also organized events such as workshops and lectures to encourage appreciation of art among the wider public, including a number of education program for children and adults. We continued to accept interns and student volunteers as part of our efforts to increase the understanding of the NACT's activities and develop human resources.

4-1 講演会等 Lectures, etc.

国立新美術館による企画 展覧会関連

「カリフォルニア・デザイン 1930-1965 —モダン・リビングの起源—」

●講演会「カリフォルニア文化とデザイン」

日時：平成25(2013)年4月13日(土)14時～15時30分

講演：海野弘(美術評論家、作家)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：80人

●上映会+トーク「ふたりのイームズ：建築家チャールズと画家レイ」

日時：4月21日(日)14時～15時40分

出演：松下加奈(アプリンク)、本橋弥生(学芸課主任研究員)

会場：国立新美術館 講堂

協力：アプリンク

参加者数：150人

●「カリフォルニア・デザイン」×「デザインあ展」

講演会「夢が描けた時代のカリフォルニア・デザイン」

日時：5月11日(土)14時～15時30分

講演：佐藤卓(グラフィックデザイナー)

会場：国立新美術館 講堂

共催：21_21 DESIGN SIGHT

参加者数：165人

「フランス国立クリュニー中世美術館所蔵『貴婦人と一角獣』展」

●記念講演会「クリュニー美術館と『貴婦人と一角獣』タピスリー」

日時：4月24日(水)14時～15時30分

講演：エリザベット・タピュレ=ドゥラエ(本展監修者、フランス国立クリュニー中世美術館館長)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：260人

●記念講演会「『貴婦人と一角獣』のタピスリーを読み解く」

日時：5月25日(土)14時～15時30分

講演：木俣元一(本展学術・翻訳監修者、名古屋大学大学院文学研究科教授)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：280人

「アンドレアス・グルスキー展」

●講演会「グルスキー作品について考える—巨視的に、微視的に」

日時：7月14日(日) 14時～15時30分

講演：増田玲(東京国立近代美術館主任研究員)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：245人

●ギャラリートーク

日時：7月19日(金) 18時30分～19時

解説：長屋光枝(学芸課主任研究員)

会場：国立新美術館 企画展示室1E

参加者数：60人

●ギャラリートーク

日時：8月2日(金) 18時30分～19時

解説：山田由佳子(学芸課研究員)

会場：国立新美術館 企画展示室1E

参加者数：60人



8月2日 ギャラリートーク

「アメリカン・ポップ・アート展」

●記念講演会「アーティストたちとの会話」

日時：8月24日(土) 14時～15時30分

対談：キミコ・パワーズ、林綾野(キュレーター、アートライター)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：241人

●記念講演会「アメリカン・ポップ・アートとその時代」

日時：9月14日(土) 14時～15時30分

講演：南雄介(副館長兼学芸課長)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：178人

「印象派を超えて一点描の画家たち ゴッホ・スーラからモンドリアンまで クレラー＝ミュラー美術館所蔵作品を中心に」

●記念講演会「点描の発明 ジョルジュ・スーラとその後の展開」

日時：10月14日(月・祝) 14時～15時30分

講演：坂上桂子(早稲田大学文学学術院教授)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：170人

●解説会

日時：10月20日(日) 14時～14時45分

講師：長屋光枝(学芸課主任研究員)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：125人

●解説会

日時：11月7日(木) 14時～14時45分

講師：米田尚輝(学芸課研究員)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：92人

「イメージの力—国立民族学博物館コレクションにさぐる」

●シンポジウム「新たなイメージ論に向けて」

日時：平成26(2014)年2月22日(土) 14時～17時

パネリスト：水沢勉(神奈川県立近代美術館館長)、水野千依(京都造形芸術大学教授)、長屋光枝(学芸課主任研究員)

モデレーター：青木保(館長)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：45人

国立新美術館による企画 その他

●「カフェアオキ」

・第10回「現代アメリカ文化が切り拓く新しい世界～カリフォルニア文化・デザインが投げかけるもの」

日時：平成25(2013)年5月17日(金)15時～16時30分

出演：大山平一郎(指揮者、ヴィオラ奏者)、能登路雅子(東京大学名誉教授)、青木保(館長)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：68人

・第11回「《中世》とは何だろうか？～西洋と日本の中世：『貴婦人と一角獣展』をきっかけに～」

日時：6月8日(土)15時～16時30分

出演：樺山紘一(印刷博物館館長)、山本聡美(共立女子大学文芸学部教授)、青木保(館長)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：151人

・第12回「美術と美術館のために～国立3美術館・学芸員が語る～」

日時：7月21日(日)15時～16時30分

出演：藏屋美香(東京国立近代美術館美術課長)、陳岡めぐみ(国立西洋美術館主任研究員)、南雄介(副館長兼学芸課長)、青木保(館長)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：69人

・第13回「アメリカン・ポップカルチャーをもっと知りたい！～アメリカ新聞漫画の世界を中心に～」

日時：10月18日(金)17時～18時15分

出演：柴田元幸(東京大学文学部教授)、青木保(館長)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：102人

・第14回「美術の力とはどこにあるのか～『イメージの力』展をめぐる～」

日時：平成26(2014)年3月9日(日)15時～16時30分

出演：中村英樹(美術評論家、名古屋造形大学名誉教授)、山梨俊夫(国立国際美術館長)、青木保(館長)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：115人

●AT@NACT

・AT@NACT feat. イントゥ・アニメーション

日時：平成25(2013)年7月19日(金)、8月2日(金)19時～20時

・AT@NACT feat. ICAF(インターカレッジ・アニメーション・フェスティバル)

日時：9月20日(金)18時20分～20時

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：65人(全3回)

●TOKYO ANIMA! 2013 秋

日時：10月26日(土)、27日(日)

会場：国立新美術館 講堂

主催：TOKYO ANIMA! 実行委員会、国立新美術館

出品作家：若井麻奈美、水江未来、キムハケン、和田淳、池亜佐美、ししやまざき、姫田真武、大西景太、クリハラタカシ、鎌谷聡次郎、ぬQ、Omodaka×ひらのりょう、最後の手段、久野遥子、中内友紀恵、坂井治、杉殿育恵、川口恵里、大橋史、平林勇、有吉達宏、飯田萌、坂元友介、前田結歌、山田遼志、土屋萌児、村本咲、水尻自子

参加者数：945人(2日間合計)



5月17日 カフェアオキ

共催企画等

●「第87回国展」関連イベント

「第7回国展トークイン—作家の目 作者の心—」

日時：平成25(2013)年5月5日(日)

会場：国立新美術館 第87回国展会場

主催：国画会、国立新美術館

後援：文部科学省、東京都教育委員会

参加者数：228人

●イントゥ・アニメーション6

日時：8月16日(金)～8月19日(月)

会場：国立新美術館 講堂、研修室

主催：日本アニメーション協会(JAA)

特別協力：国立新美術館

参加者数：2,746人(4日間合計)

●ICAF(インターカレッジ・アニメーション・フェスティバル)2013

日時：9月26日(木)～9月29日(日)

会場：国立新美術館 講堂、研修室

主催：インター・カレッジ・アニメーション・フェスティバル実行委員会

共催：日本アニメーション協会(JAA)、日本アニメーション学会(JSAS)

特別協賛：京楽ピクチャーズ株式会社

協賛：オートデスク株式会社、株式会社Too、株式会社ボーンデジタル他

特別協力：国立新美術館、学校法人北海道安達学園、金沢市、金沢21世紀美術館、愛知芸術文化センター

協力：PISAF(プチョン国際学生アニメーション・フェスティバル)組織委員会、オフィスH、日本映像学会・映像表現研究会 他

幹事校：女子美術大学、多摩美術大学、東京芸術大学、東京工芸大学、東京造形大学、武蔵野美術大学

参加校：阿佐ヶ谷美術専門学校、アート・アニメーションのちいさな学校、大阪芸術大学、沖縄県立芸術大学、金沢芸術工芸大学、京都精華大学、神戸芸術工科大学、札幌市立大学、専門学校札幌マンガ・アニメ学院、玉川大学、東北芸術工科大学、長岡造形大学、日本大学芸術学部、北海道教育大学

参加者数：1,634人(4日間合計)

●黒川紀章メモリアル INTER-DESIGN FORUM TOKYO 2013

「共生のアジアへ」Towards Symbiosis of Asia

日時：10月11日(金)、12日(土)、13日(日)

会場：国立新美術館 講堂他

主催：一般社団法人 日本文化デザインフォーラム、国立新美術館

協賛：株式会社 博報堂、株式会社 AOI Pro.、株式会社丹青社、大日本印刷株式会社、株式会社テー・オー・ダブリュー、株式会社ティー・ワイ・オー、株式会社東北新社、凸版印刷株式会社、株式会社乃村工芸社、感動創造研究所

参加者数：737人(3日間合計。ただし、コンサート参加者数を除く。)

テーマ1「アジアの世紀」

日時：10月11日(金)13時～17時40分

総司会：マリ・クリスティーン(異文化コミュニケーター)

・オープニングトーク「共生のアジアへ」

青木保(館長)、水野誠一(日本文化デザインフォーラム理事長)

・T&P(Talk & Presentation)「アジア1」

ナビゲーター：山田真美(作家)

(1)「宗教のアジア」中沢新一(人類学者)

(2)「アジアのアート」長谷川祐子(東京都現代美術館チーフキュレーター)

(3)「アジアの美意識」黒川雅之(建築家)

(4)「アジアの建築」遠藤秀平(建築家)

(5)「アジアの音楽」千住明(作曲家)



- ・ゲストレクチャー「共生のアジアへ Towards Symbiosis of Asia」
金光裕 (建築家／台湾)
- ・T&P「アジア2」
ナビゲーター：中島信也 (CM演出家)
(6)「アジアのファッション」藤巻幸大 (ブランディング・プロデューサー)
(7)「アジアとハビネス」ペマ・ギャルボ (桐蔭横浜大学・大学院教授)
(8)「アジアと教育」秋尾晃正 (一般財団法人 民際センター理事長)
(9)「アジアの経済」波頭亮 (経営コンサルタント)
- ・黒川紀章メモリアルコンサート
日時：10月11日 (金) 18時～19時
会場：国立新美術館 1階ロビー
出演：戸田弥生 (ヴァイオリン)、江島有希子 (ヴァイオリン)、大山平一郎 (ヴィオラ)、辻本玲 (チェロ)
参加者数：248人



10月12日 黒川紀章メモリアル INTER-DESIGN FORUM TOKYO 2013

テーマ2「思想と建築」

日時：10月12日 (土) 13時～17時30分

総合司会：蜷川有紀 (画家・女優)

- ・キートーク「メタボリズムネクサス」
八束はじめ (建築家)
- ・T&P「思想と建築1」
ナビゲーター：榎本了亮 (クリエイティブディレクター)
(1)「黒川紀章とレクイエム」三枝成彰 (作曲家)
(2)「メディアと建築」南後由和 (社会学者)
(3)「原子構造モデル」鈴木エドワード (建築家)
- ・スペシャルトーク「黒川紀章と丹下健三」
豊川斎赫 (建築史家)
- ・T&P「思想と建築2」
ナビゲーター：河原敏文 (CGディレクター)
(4)「メタボリズム以後」楨文彦 (建築家)
(5)「メタボリズムと共生の思想」團紀彦 (建築家)
(6)「建築を流れる時間」宮本佳明 (建築家)
(7)「思想と建築」竹山聖 (建築家)
- ・茶会「花数奇」
日時：10月12日 (土) 15時～17時
会場：国立新美術館 講堂前
亭主：大谷宗裕 (裏千家)

テーマ3「アートと美術館」

日時：10月13日 (日) 13時～17時45分

総合司会：團紀彦 (建築家)

- ・キーノートレクチャー「美術館の未来」
アーロン・ベツキー (シンシナティ美術館館長)
- ・T&P「アートと社会」
ナビゲーター：日比野克彦 (アーティスト)
(1)「地域とアートワークショップ」日比野克彦 (アーティスト)
(2)「メディアアートと美術館」宮島達男 (現代美術家)
(3)「NPOと展開するアートプロジェクト」森司 (東京アートポイント計画ディレクター)
(4)「サウンド オブ 生け花」土佐尚子 (京都大学教授)、中津良平 (シンガポール国立大学教授)
(5)「国立新美術館の設立」青木保 (館長)、寺坂公雄 (公益社団法人日展理事長)
- ・シンポジウム「建築と美術館の未来」
キーノートトーク
妹島和世 (建築家)
シンポジウム
モデレーター：青木保 (館長)
パネラー：浅田彰 (京都造形芸術大学教授)、妹島和世 (建築家)、南雄介 (副館長兼学芸課長)
- ・総括
黒川雅之 (日本文化デザインフォーラム代表幹事)

●「第45回日展」関連イベント

主催：公益社団法人日展、国立新美術館

・講演会

開催日：11月2日(土)、11月3日(日)、11月4日(月・振休)、11月9日(土)、
11月16日(土)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：895人(全5回)

・映像による作品解説

開催日：11月2日(土)、11月3日(日)、11月4日(月・振休)、11月9日(土)、
11月16日(土)、11月23日(土・祝)、11月30日(土)、12月1日(日)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：1,330人(全10回)

・シンポジウム「日本の美 今を観る」

開催日：11月11日(月)[日展の日]

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：280人

・親子鑑賞教室

開催日：11月10日(日)、11月17日(日)、11月24日(日)

会場：国立新美術館 講堂、研修室

参加者数：100組255人(全6回)

・らくらく鑑賞会

開催日：11月6日(水)、11月18日(月)、11月25日(月)、12月2日(月)

会場：国立新美術館 第45回日展会場、研修室

参加者数：28人(全4回)

・ミニ解説会

開催日：第45回日展会期中の平日(11月1日、11日を除く)

会場：国立新美術館 第45回日展会場

参加者数：935人(18日間合計)

4-2 ワークショップ Workshops

●「カリフォルニア・デザイン」×「デザインあ展」

「ハウス・オブ・カード」をつかったワークショップ

主催：21_21 DESIGN SIGHT、国立新美術館

日時：平成25(2013)年4月27日(土)10時～18時

講師：岡崎智弘(アートディレクター、グラフィックデザイナー)、
寺山紀彦(studio note/デザイナー)

会場：21_21 DESIGN SIGHT

対象：「デザインあ展」来場者

参加者数：2,250人



8月25日

●アーティスト・ワークショップ「『写真』以前/暗黒を作り出そう」

日時：7月28日(日)11時～14時、8月4日(日)13時～16時

講師：ホンマタカシ(写真家)

会場：国立新美術館 別館3階多目的ルーム

対象：一般(高校生以上)

参加者数：16人



11月24日

●アーティスト・ワークショップ「あなたのユーモアをイラストにしよう！」

日時：8月25日(日)13時～16時30分

講師：JUN OSON(イラストレーター)

会場：国立新美術館 別館3階多目的ルーム他

対象：一般(小学3年生以上)

参加者数：16人

●アーティスト・ワークショップ「はじめてのアート—つかって遊ぶ、劇ごっこ—」

日時：11月24日(日)14時～16時

講師：大森靖枝(劇団風の子東京・演出家)

会場：国立新美術館 別館3階多目的ルーム

対象：未就学児(2～6歳)親子

参加人数：13組34人



3月8日

●「イメージのカー—国立民族学博物館コレクションにさぐる」

“みる・きく・あそぶ イメージの力 ウィークエンド” ワークショップ

「折りジナルフェイスをつくろう！」

日時：平成26(2014)年3月8日(土)11時～12時、13時30分～14時30分、
16時～17時

講師：COCHAE 軸原ヨウスケ、武田美貴(デザイン・ユニット)

会場：国立新美術館 1階ロビー

対象：子どもから大人まで

参加者数：133人(全3回)

●「イメージのカー—国立民族学博物館コレクションにさぐる」

関連ワークショップ

「わたし みんな めぐる イメージ—世界のものと向き合おう—」

主催：国立新美術館、国立民族学博物館

日時：3月15日(土)、16日(日)11時～16時30分

講師：吉田憲司(国立民族学博物館教授)、山中由里子(国立民族学博物館准教授)、齋藤玲子(国立民族学博物館助教)、上羽陽子(国立民族学博物館准教授)、長屋光枝(学芸課主任研究員)、山田由佳子(学芸課研究員)

会場：国立新美術館 研修室A,B、企画展示室2E

対象：15日 一般(中学生以上)

16日 小学校4年生～6年生

参加人数：22人(3月15日)、8人(3月16日)

4-3 インターンシップ、ボランティア Internships and Volunteering

●インターンシップ

美術館事業に関心のある若手研究者や大学院生に実践的な研究や活動の場を提供し、人材育成を図るためのインターンシップを引き続き行った。平成25年度は展覧会事業、教育普及事業、資料収集事業、広報事業の4部門で9人を受け入れた。

飯岡麻那実／小田藍生／久保田有寿／佐藤弥生／矢作沙也佳／
立花由美子／樋口菜呂奈／中嶋文香／ユン ジミン

●サポート・スタッフ

美術館の活動に関心を持つ学生にボランティアによる活動支援を呼び掛け、実務体験の機会を提供するサポート・スタッフ制度を引き続き実施した。

平成25年度サポート・スタッフ 80人

青木美嶺／池田三紗／今瀬裕可里／岩井紗季／岩佐数音／
上田佳余子／梅田志桜里／大竹洋平／大谷茉莉花／大林由季／
尾澤理美／鬼沢菜穂美／海東祐子／梶美奈子／加藤里沙／
金地つかさ／亀田亜香音／亀山あずさ／川口真実／川島静華／
川村晃子／菊池夏乃子／岸本真生子／櫛谷夏帆／熊野未有／
小泉なつみ／高野晋／小林華代子／小林大悟／今野真理子／
坂寄瑛子／佐久間達也／櫻井零也／佐々木悠希子／佐竹涉／
佐藤詩織／鮫島一美／澤藤朝子／塩浜妃奈子／志田康宏／篠原優／
柴田愛／秦裕華／杉山昂平／杉山和／鈴木貴大／清田真衣子／
高橋友里恵／高橋りほ／竹内千里／竹本芽依／田中真唯／田中礼／
田中友梨／知久眞也／張宏政／中村奈菜美／中村真衣子／
西川真理子／野本雄基／濱野夏海／林玲／原田健太郎／比嘉知世／
平澤咲／古山恵理／星野佳奈／松永つぐみ／水谷真隆／宮崎隆弘／
室谷奈菜／森崎由衣／矢野佑輔／山根堯／山内裕夏／山本敦己／
吉田菜由／李雨婷／カ山奈生子／若杉友美



4-4 その他の教育普及事業

Other Education and Public Programs

●「フランス国立クリュニー中世美術館所蔵『貴婦人と一角獣』展」ジュニアガイド

平成25(2013)年4月24日発行、仕上りA5変型(148×200mm)、蛇腹折、
12ページ、図版カラー10点、50,000部
制作：NHK、国立新美術館
編集・制作：(株)広隆社
デザイン：(株)アド・エム

●「アメリカン・ポップ・アート展」鑑賞ガイド

来場者の展覧会鑑賞の充実を図るため、「アメリカン・ポップ・アート展」に合わせて、中学生以上を対象とした鑑賞ガイドを作成し、展覧会会場において無料で配布した。

平成25(2013)年8月7日発行、A4判、両面2色刷り1枚、150,000部
編集：学芸課教育普及室
執筆：木内祐子、井上絵美子
デザイン：木内祐子



●「印象派を超えて一点描の画家たち ゴッホ、スーラからモンドリアンまで クレラー＝ミュラー美術館所蔵作品を中心に」展ジュニアガイド

平成25(2013)年10月4日発行、仕上りA5判、四つ折、図版カラー3点、65,000部

制作：NHK、国立新美術館

編集・制作：(株)広隆社

デザイン：(株)アド・エイム

●アートのとびらVol.8

来場者の展覧会鑑賞の充実を図るため、「イメージのカー国立民族学博物館コレクションにさぐる」展に合わせて、中学生以上を対象としたガイドブック『アートのとびらVol.8』を作成し、展覧会会場において無料で配布した。

平成26(2014)年2月19日発行、A5判、16ページ、図版カラー8点、30,000部

編集：学芸課教育普及室

執筆：吉澤菜摘

デザイン：伊藤滋章



●夏休みこどもたんけんツアー2013～新美術館のひみつをさがそう！～

小学校3年生から6年生の児童を対象に、美術館のバックヤードを紹介するツアーを実施した。

日時：平成25(2013)年7月26日(金)、8月2日(金) 11時～12時30分

対象：小学校3年生～6年生

参加者数：36人(全2回)

●鑑賞ガイダンス

児童、生徒、学生を対象に、作品鑑賞前に展覧会のレクチャーを行った。

参加者数：13団体440人

●施設ガイダンス

児童、生徒、学生を対象に、国立新美術館の建築や施設に関するガイダンスを行った。

参加者数：5団体104人

●美術館を活用した鑑賞教育の充実のための指導者研修

全国小中学校等の教員と美術館の学芸員等を対象に、美術館を活用した鑑賞教育の充実と、学校と美術館の連携を図ることを目的とした研修を行った。

主催：独立行政法人国立美術館

日時：7月29日(月)、7月30日(火)

会場：東京国立近代美術館(29日)、国立新美術館(30日)

参加者数：99人



7月26日 夏休みこどもたんけんツアー

●SFTギャラリーへの企画協力

より多くの人々がアートやデザインに触れる機会を設けるとともに、アーティストやデザイナーを支援し、発表の場を提供することを目的に、館内地下1階にあるSFTギャラリーへの展示企画協力を行った。

●職場体験生徒の受入

地域の学校からの職業体験受入の依頼について、体験プログラムを実施し協力を行った。

日時：9月19日(木)、9月20日(金)

受入：2人(港区立六本木中学校2年生)



SFTギャラリー

5

情報資料収集・提供

Collection and Provision of the Library and Information Services

5-1 美術関連資料の収集と公開

Collection and Provision of the Library Materials

5-2 JACプロジェクト

JAC Project

5-3 展覧会情報の収集と提供

Collection and Provision of the Information Services

美術に関する資料については、日本の美術展カタログの網羅的収集や、近現代美術・デザイン・建築・写真・メディアアートに関する刊行物の収集に努めた。特に公募展等シリーズ展のカタログ、逐次刊行物の欠号補充を積極的に行った。美術展カタログの収集にあたっては、関係機関、全国の美術館・博物館、個人からの寄贈に多くを負った。これらの資料を本館3階のアートライブラリーと、新たに開室した別館1階のアートライブラリー別館閲覧室（後述）にて一般の利用に供した。

展覧会カタログの送付・交換について、平成25年度も引き続き積極的に実施した。当館で発行した美術展カタログ等の印刷物を国内約400箇所、国外約100箇所の美術館・博物館に、大学図書館等関連機関にカタログ交換のため送付した。

日本の美術展カタログを国外の日本美術研究機関4箇所へ寄贈する事業である「JACプロジェクト」を引き続き実施し、欧米での日本に関する美術資料の活用促進に努めた。こうした活動に対し、寄贈先機関から国外での日本美術に関する展覧会カタログの寄贈を受けた。これらを「JAC II」としてアートライブラリーにて閲覧に供している。

平成25(2013)年8月1日、国立新美術館別館1階にアートライブラリー別館閲覧室（以下、「別館閲覧室」）を開室した。別館閲覧室ではアーティスト・ファイル展資料、大口寄贈資料の一部、旧建物関連資料等の各種コーナーを設けた。また、別館閲覧室の開室に併せて、脆弱資料等の予約閲覧サービス、非刊行物等特殊資料の特別資料閲覧サービスを開始した。

また、平成25年度においては、所蔵資料の一部についてデジタル化に着手した。刊行物61件（図書29件、カタログ29件、雑誌3件）、山岸信郎氏旧蔵資料に含まれる写真資料822件についてデジタル化を行い、デジタル化資料を閲覧に供するために必要な試行を行った。平成26年度には試験的なサービスの実施を予定している。

加えて、平成25年度よりデータベースサービス（ヨミダス歴史館、聞蔵Ⅱビジュアル、ざっさくプラス、CiNii Articles）を新たに導入し、利用に供した。

The National Art Center, Tokyo continued to build up a wide-ranging and ongoing collection of Japanese art exhibition catalogs, as well as books and serial publications on modern and contemporary art, design, architecture, photography, and media art. Particular emphasis was placed on securing missing issues of series, including catalogs of public exhibitions. Art Library acquisitions have been generously supported by books and periodicals donated from museums, individuals, and pertinent organizations. These materials are available in the Art Library and the newly opened Art Library Annex (see below).

During fiscal 2013, NACT continued its catalog-exchange program. NACT sent copies of its own catalogs and other printed materials to around 400 locations in Japan and 100 overseas, including museums, university libraries, and other related facilities.

NACT also continued its efforts to improve Western access to materials on Japanese art through the JAC (Japan Art Catalog) project, which donates catalogs of Japanese art exhibitions to four overseas institutions devoted to the study of Japanese art. In return, the Center received catalogs of exhibitions of Japanese art held overseas, which are available in the Art Library as part of JAC II collection.

On August 1, 2013, Art Library Annex opened in the Center Annex first floor. Art Library Annex features special areas devoted to materials from our Artist File exhibitions, and information on the old building, etc.

In fiscal 2013, the Center began work on a project to digitize a portion of the documents in its possession. The project team created digital files from 61 publications (29 books, 29 catalogs, and 3 periodicals) and 822 photographs in the former collection of Yamagishi Nobuo.

In fiscal 2013 the Center newly subscribed to four database services (Yomidasu Rekishikan, Kikuzo II Visual, Zassaku Plus, and CiNii Articles), which are available to library users.

5-1 美術関連資料の収集と公開 Collection and Provision of the Library Materials

美術関連資料の収集

●収集方針

日本で開催された展覧会のカタログの網羅的・遡及的収集を目指す。また、図書については都内の他の国立館の蔵書と相互補完するように調整しながら収集し、特に国立新美術館がその紹介に力を入れている近現代美術、デザイン、建築、メディアアートに関するものを重点的に収集する。

●資料の受贈と公開（順不同）

- ・山岸氏旧蔵資料（展覧会カタログ1,449件、図書4,184件、雑誌139タイトル）を別館閲覧室にて公開、その他の資料（非刊行物等）は特別資料閲覧にて公開予定。
- ・針生一郎氏旧蔵資料（根本千絵氏寄贈、展覧会カタログ202冊、図書217冊、雑誌4タイトル）を別館閲覧室にて公開。
- ・近藤竜男氏寄贈資料（近藤竜男氏寄贈、展覧会カタログ592冊、図書51冊、雑誌4タイトル）を別館閲覧室にて公開。
- ・松本武氏旧蔵資料（松本武氏寄贈、展覧会カタログ151冊、図書9冊、雑誌1タイトル）を別館閲覧室にて公開。

●所蔵資料数

図書・カタログ登録冊数

		図書		カタログ		合計冊数	
和書	購入	13,301	(485)	1,865	(31)	15,166	(516)
	受贈	15,796	(444)	80,267	(2,301)	96,063	(2,745)
	小計	29,097	(929)	82,132	(2,332)	111,229	(3,261)
洋書	購入	5,108	(156)	3,096	(168)	8,204	(324)
	受贈	3,216	(69)	7,538	(222)	10,754	(291)
	小計	8,324	(225)	10,634	(390)	18,958	(615)
計		37,421	(1,154)	92,766	(2,722)	130,187	(3,876)

※()内は平成25年度増加冊数

逐次刊行物登録タイトル数(年報紀要類を含む)

和雑誌	洋雑誌
2,532	341

美術関連資料の公開

1. アートライブラリー(美術館3階)

●主な所蔵資料

- ・1946年以降に刊行された展覧会カタログ
- ・1946年以降に刊行された近現代美術を中心とする図書・雑誌
- ・現代美術の周辺領域の図書・雑誌
(建築・メディアアート・写真・印刷・デザイン)
- ・美術館・博物館等のニュースレター
(各タイトルの最新号から2年分。それ以前のバックナンバーはアートライブラリー別館閲覧室において所蔵。)
- ・所蔵品目録
- ・美術参考図書

●利用統計

	開室日数	入室者数	閉架書庫出納冊数	コピー枚数
平成25(2013)年4月	8	525	151	575
5月	27	2,131	605	1,781
6月	26	1,885	686	1,642
7月	26	2,493	662	2,493
8月	27	2,867	665	2,230
9月	26	2,222	719	1,780
10月	26	1,886	627	1,423
11月	26	1,673	729	2,057
12月	20	1,293	513	1,541
平成26(2014)年1月	21	938	459	1,699
2月	24	1,681	455	1,533
3月	27	1,728	415	1,148
合計	284	21,322	6,686	19,902

●利用時間等

開室時間：11時～18時

休室日：火曜日(祝日の場合は開室)、年末年始、左記以外の美術館休館日、特別整理期間

※平成25(2013)年4月3日(水)～21日(日)は、アートライブラリー別館閲覧室の開室(8月1日(木))に向けた特別整理期間として休室。

●アートライブラリー内所蔵資料紹介コーナー「話のたね」

- ・「山岸信郎氏旧蔵資料」
平成25(2013)年4月22日(月)～7月15日(月・祝)
- ・「図書館建築」
7月17日(水)～9月22日(日)
- ・「雑誌について」
9月25日(水)～平成26(2014)年1月13日(月・祝)
- ・「近代オリンピックと芸術」
1月15日(水)～3月10日(月)
- ・「『3.11以後のアート』を考えるために」
3月12日(水)～5月26日(月)

※上記以外に、自主企画展、共催展にあわせた展覧会関連資料の紹介を適時行った。

●資料展示

- ・「山岸信郎氏経営画廊の活動—山岸氏旧蔵資料に見る—」
平成25(2013)年4月22日(月)～9月9日(月)
- ・「1950年代の“ビジュアル文庫”part1」
9月11日(水)～12月8日(日)
- ・「1950年代の“ビジュアル文庫”part2」
12月10日(火)～平成26(2014)年4月9日(水)



2. アートライブラリー別館閲覧室 (国立新美術館別館1階)

●主な所蔵資料

- ・1945年以前に刊行された展覧会カタログ
- ・1945年以前に刊行された美術関連図書
- ・美術および美術の周辺領域の図書
- ・休刊・終刊した雑誌
- ・美術館・博物館等の年報・紀要・ニュースレター(バックナンバー)
- ・マイクロ資料
- ・脆弱・貴重資料(予約閲覧)

●利用統計

	開室日数	入室者数	閉架書庫出納冊数	コピー枚数
平成25(2013)年8月	18	167	14	233
9月	15	115	20	78
10月	17	103	15	61
11月	16	85	11	61
12月	9	30	4	10
平成26(2014)年1月	14	31	2	66
2月	15	40	20	29
3月	16	48	8	95
合計	120	619	94	633

※アートライブラリー別館閲覧室は平成25(2013)年8月1日(木)より開室。

●利用時間

開室時間：11時～18時

休室日：火・土・日曜日・祝日、年末年始、左記以外の美術館休館日、特別整理期間

3. 予約閲覧

●利用統計

利用者人数：14人

●利用時間等

利用時間：水・木曜日 13時～18時

利用場所：別館閲覧室

利用方法：事前予約制

4. 特別資料閲覧サービス (ANZAï フォトアーカイブ等)

●利用統計

利用者人数：6人

●利用時間等

利用時間：祝日を除く月～金曜日 11時～18時

利用場所：別館閲覧室、事務室等

利用方法：事前予約制

5. 独立行政法人国立美術館特別観覧規則による資料の利用

貸出資料：ANZAï フォトアーカイブ収蔵画像データ(5点)

利用者：個人

利用目的：学術雑誌への掲載のため



5-2 JACプロジェクト JAC Project

●送付先

フリーア美術館／アーサー・M.サックラー美術館 図書室(スミソニアン研究所) (ワシントンD.C.、アメリカ)
 コロンビア大学 エイヴリー建築美術図書館(ニューヨーク、アメリカ)
 ライデン大学 東亜美術館(ライデン、オランダ)
 シドニー大学 フィッシャー図書館(シドニー、オーストラリア)

●送付資料数：1,561冊

内訳(冊)	送付先	送付資料数
	フリーア	399
	コロンビア	72
	ライデン	637
	シドニー	453

●「JACIIプロジェクト」による受入資料数：47冊

内訳(冊)	送付先	送付資料数
	北米日本研究資料調整委員会(NCC) ※フリーア・コロンビア寄贈分を含む	41
	ライデン	6
	シドニー	0

5-3 展覧会情報の収集と提供 Collection and Provision of the Information Services

アートコモンズ(展覧会情報検索システム)

平成25年度において、3,111件の展覧会情報を1,170の美術館・美術団体・画廊のご協力により収集し、1週間あたり70件程度の展覧会情報を追加・更新した。検索システムに複合条件での検索を行えるようにする等、機能拡張の開発を行った。拡張した機能は平成26年度より提供開始の予定である。

展覧会チラシ、ポスターの収集と展覧会情報提供

全国の美術館や博物館、美術団体、画廊などから送付される広報物、展覧会チラシやポスターの一部を館内複数箇所です掲示・配布することにより、来館者への情報提供を図った。また、終了した展覧会についても当該年度分のチラシをアートライブラリーで来館者の求めに応じて閲覧に供した。

展覧会名称	開始	終了	会場
2013-12-18	2014-01-06	2014-01-06	土井博之展
2013-12-18	2014-01-06	2014-01-06	土井博之展
2014-02-16	2014-01-06	2014-01-06	北海道の文化芸術
2014-02-22	2014-01-07	2014-01-07	北海道の文化芸術
2014-01-29	2014-01-10	2014-01-10	北海道の文化芸術
2013-09-19	2014-01-13	2014-01-13	北海道の文化芸術
2014-01-21	2014-01-13	2014-01-13	カノ・義経展
2014-01-21	2014-01-13	2014-01-13	豊後藩の歴史
2014-01-15	2014-01-14	2014-01-14	豊田市美術館
2013-11-22	2014-01-16	2014-01-16	北海道の文化芸術
2014-02-11	2014-01-16	2014-01-16	北海道の文化芸術

6

広報・出版

Publicity and Publications

6-1 印刷物

Publications

6-2 ホームページ、各種ウェブサービス

Website, SNS

6-3 広報活動

Publicity Activities

6-1 印刷物 Publications

カタログ Catalogue

●「フランス国立クリュニー中世美術館所蔵『貴婦人と一角獣』展」
展覧会カタログ

平成25(2013)年4月24日発行、B4変型(310×258mm)、200ページ、図版
カラー327点・白黒33点、10,000部(第1版)、30,000部(第2版)

編集：国立新美術館、NHK、NHKプロモーション

執筆：イザベル・バルディエス＝フロンティ、ダミアン・ベルネ、クリス
ティン・デカトワール、ミシェル・ユイー、ソフィー・ラ
ガブリエル、エリザベット・タビュレ＝ドゥラエ、オーレリー・
ヴェルチュ、石井美恵、木俣元一、駒田亜紀子、鈴木伸子、南雄介

翻訳：泉美知子、小川カミーユ、カトリーヌ・アンスロー、小林久見子

校閲：岩田高明

デザイン：梯耕治

制作：印象社

印刷：凸版印刷

発行：NHK、NHKプロモーション



●「アンドレアス・グルスキー展」展覧会カタログ

平成25(2013)年7月3日発行、A4変型横型(233×305mm)、180ページ、
図版カラー65点、10,000部(第1版)、12,000部(第2版)

監修：アンドレアス・グルスキー

アシスタント：アネッテ・フェルカー、アトリエ・グルスキー

編集：読売新聞東京本社 文化事業部、国立新美術館、国立国際美術館

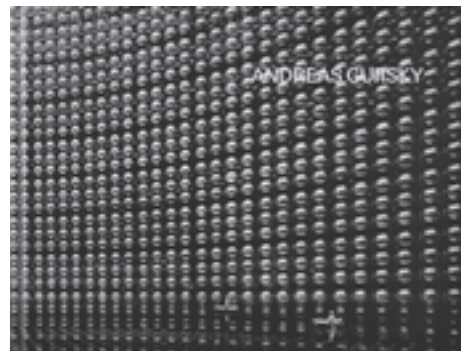
執筆：長屋光枝、植松由佳、山田由佳子

翻訳：クリストファー・スティヴンズ

デザイン：近藤一弥

印刷：大日本印刷

発行：読売新聞東京本社



●「アメリカン・ポップ・アート展」展覧会カタログ

平成25(2013)年8月6日発行、B4変型(320×257mm)、232ページ、図版
カラー319点・白黒29点、15,000部

監修：南雄介

編集：国立新美術館、TBSテレビ

執筆：南雄介、西野華子、瀧上華、小西信之、平芳幸浩

翻訳：スタンリー・N.アンダソン、シェリル・シルバーマン、クリス
トファー・スティヴンズ

編集協力：岩田高明、ジョン・ロング

編集補助：遠藤みゆき、久保田有寿、佐藤弥生

デザイン：梯耕治

制作：印象社

印刷：光村印刷

発行：TBSテレビ



●「印象派を超えて一点描の画家たち ゴッホ、スーラからモンドリアンまで クレラー=ミュラー美術館所蔵作品を中心に」展覧会カタログ

平成25 (2013) 年10月4日発行、A4変型 (297×230mm)、216ページ、表紙2種、図版カラー103点・白黒2点、15,000部 (第1版)

編集・構成：クレラー=ミュラー美術館 リズ・クレイン、ケイト・ベル、リースベス・ヘーンク、国立新美術館 長屋光枝、米田尚輝、岩崎美千子、広島県立美術館 越智裕二郎、泰井良、愛知県立美術館 中西園子、東京新聞 寺尾晶子、安達恭子、舟橋正則、竹内香織

執筆：リースベス・ヘーンク、ヘレヴィセ・ベルハー、ニンケ・ボス、ノエレ・ポールソン、長屋光枝、米田尚輝、岩崎美千子、越智裕二郎、泰井良、中西園子

翻訳：マーサ・マクリントク、長屋光枝、米田尚輝、岩崎美千子、横山由季子、越智裕二郎、泰井良、中西園子

デザイン：今井千恵子 (n.b graphics)

制作：コギト

印刷：凸版印刷株式会社

発行：東京新聞、NHK、NHKプロモーション



●「イメージの力-国立民族学博物館コレクションにさぐる」展覧会カタログ

平成26 (2014) 年2月18日発行、A4変型 (271×217mm)、272ページ、図版カラー208点・白黒202点、7,000部

編集：「イメージの力」実行委員会

執筆：青木保、足羽與志子、上羽陽子、春日直樹、窪田幸子、小泉潤二、齋藤玲子、須藤建一、長屋光枝、南雄介、山田由佳子、山中由里子、吉田憲司 他

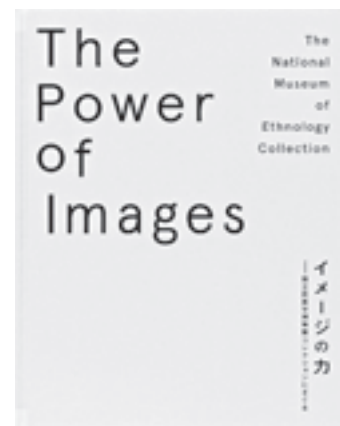
翻訳：スタン・アンダソン、ギャビン・フルー、シェリル・シルバーマン、クリストファー・スティヴンズ、ダリル・ウィー

編集協力：一般財団法人 千里文化財団

デザイン：原田祐馬、山副佳祐 (UMA/design farm)

印刷：図書印刷株式会社

発行：国立民族学博物館



●「中村一美展」展覧会カタログ

平成26 (2014) 年3月19日発行、A4変型 (290×220mm)、240ページ、図版カラー179点・白黒9点、4,000部

差し込み：A4変型 (280×210mm)、二つ折、図版カラー12点

編集：国立新美術館 南雄介、瀧上華、長谷川珠緒

編集協力：インターパブリカ

編集補助：矢作沙也佳

翻訳：シェリル・シルバーマン

デザイン：大石一義

印刷：株式会社アイワード

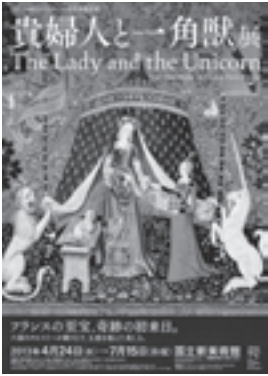
発行：国立新美術館



ポスター、チラシ、出品目録 Poster, Flier and List of Works

●「フランス国立クリュニー中世美術館所蔵『貴婦人と一角獣』展」

ポスター



B1判、500部
他 B2判、2,700部



B3判、16,000部

チラシ



仕上りA4判、二つ折、400,000部
他 先行配布：A4判、180,000部

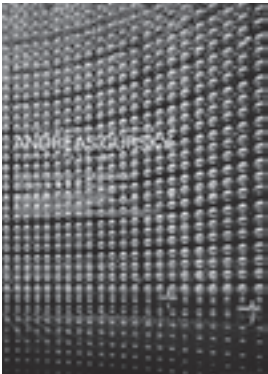
デザイン：近藤一弥

出品目録

仕上りA4判、二つ折、150,000部

●「アンドレアス・グルスキー」展

ポスター



B1判、500部
他 B0判、150部
B2判、8,000部



B3判、3,000部

チラシ



A4判、400,000部

デザイン：近藤一弥

出品目録

仕上りA4判、二つ折、50,000部

●「アメリカン・ポップ・アート展」

ポスター



B1判 (5種)、計1,050部



他 B2判 (2種)、各3,500部、計7,000部
西武鉄道用ポスター：B1判、400部
B3判、15,000部



B3判 (3種)、計13,900部

チラシ



A4判、600,000部

仕上りA4判、二つ折、150,000部

デザイン：祖父江慎(コズフィッシュ)

出品目録

仕上りA4判、巻三つ折、日本語版200,000部、英語版56,000部

●「印象派を超えて一点描の画家たち ゴッホ、スーラからモンドリアンまで クレラー＝ミュラー美術館所蔵作品を中心に」

ポスター



B1判、910部
他 B0判、80部
B2判、2,600部



B3判、3,700部

チラシ



A4判、490,000部
他 先行配布：A4判、270,000部
京成電鉄タイアップチラシ：A4判、40,000部

デザイン：大島依提亜

出品目録

仕上りA4判、二つ折、150,000部

●「イメージの力—国立民族学博物館コレクションにさぐる」

ポスター



B1判、1,100部



B3判、3,640部



B3変型（インターサイズ）、1,170部

チラシ



A4判、145,000部

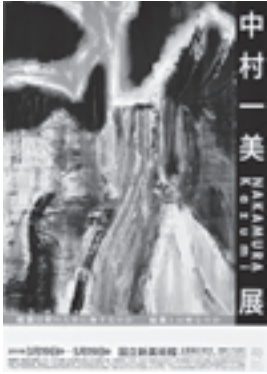
デザイン：下田理恵

出品目録

仕上りA4判、経本折、8ページ、42,000部

●「中村一美展」

ポスター



B1判、1,000部



B3判、3,200部



B3変型 (インターサイズ)、
1,170部

チラシ



A4判、115,000部

デザイン：大石一義

出品目録

仕上りA4判、蛇腹折、8ページ、34,000部

フロアガイド、スケジュール類 Floor Guide, Exhibition Schedule, etc

●国立新美術館スケジュール 2013.4-10

仕上り210×100mm、巻三つ折、
日本語版40,000部、英語版5,000部



●国立新美術館スケジュール 2013.10-2014.3

仕上り210×100mm、巻三つ折、
日本語版37,000部、英語版8,000部



●国立新美術館 別館 2013.6

仕上り210×390mm、二つ折、10,000部



●国立新美術館 アートライブラリー 2013.7

仕上り210×390mm、巻四つ折、10,000部



●The National Art Center, Tokyo Art Library/Art Library Annex General Information 2014.2

仕上り210×390mm、巻四つ折、1,000部

●国立新美術館 美術館ニュース No.26

平成25(2013)年5月31日発行、A4判、8ページ、5,000部
表紙デザイン：佐藤可士和

目次：

- ・「カリフォルニア・デザイン 1930-1965 —モダン・リヴィングの起源—」
「カリフォルニアの椅子」
長谷川珠緒(学芸課研究補佐員)
- ・「フランス国立クリュニー中世美術館所蔵『貴婦人と一角獣』展」
「『貴婦人と一角獣』のタピスリーにおける恋愛のテーマを読む—《味覚》を中心に」
木俣元一(名古屋大学大学院文学研究科教授)
- ・書架のあいだから
「山岸信郎氏旧蔵資料の公開について」
長名大地(学芸課研究補佐員)
- ・教育普及事業 レポート
「アーティスト・ワークショップ 高校生が写し出す、とむらいの時」
井上絵美子(学芸課研究補佐員)
「アーティスト・ワークショップ 木々に灯す、ちいさな巣をつくろう〜アートナイトでインスタレーションに挑戦」
吉澤菜摘(学芸課アソシエイトフェロー)
- ・公募団体等の活動
「創元展…誠実、情熱、知性の中庸に立脚」



●国立新美術館 美術館ニュース No.28

平成25(2013)年11月29日発行、A4判、8ページ、5,000部
表紙デザイン：佐藤可士和

目次：

- ・「印象派を超えて一点描の画家たち ゴッホ、スーラからモンドリアンまで」
「点描の画家たちの『影』」
岩崎美千子(学芸課研究補佐員)
- ・「国際博物館会議(ICOM)リオデジャネイロ大会 参加報告」
- ・「黒川紀章メモリアル INTER-DESIGN FORUM TOKYO 2013『共生のアジアへ』」
西野華子(学芸課主任研究員)
- ・研究員レポート
「東スロバキアの古都コシツェの暗闇に現れるアートの祭典、ピエラ・ノッツでの出会い」
山田由佳子(学芸課研究員)
「『アート・アーチ・ひろしま2013』を訪れて」
宮島綾子(学芸課主任研究員)
- ・書架のあいだから
「1970年代・展覧会と美術資料—展覧会カタログ・雑誌・写真」
伊村靖子(学芸課研究補佐員)
- ・教育普及事業 レポート
「アーティスト・ワークショップ あなたのユーモアのイラストにしよう！」
木内祐子(学芸課研究補佐員)
「黒川紀章メモリアル INTER-DESIGN FORUM TOKYO 2013 関連イベント 黒川紀章メモリアルコンサート」
吉澤菜摘(学芸課アソシエイトフェロー)
- ・公募団体等の活動
「一般社団法人示現会とは」



●国立新美術館 美術館ニュース No.27

平成25(2013)年8月30日発行、A4判、8ページ、5,000部
表紙デザイン：佐藤可士和

目次：

- ・「アンドレアス・グルスキー展」
「アンドレアス・グルスキー展、その展示の多層性について」
山田由佳子(学芸課研究員)
- ・「アメリカン・ポップ・アート展」
「その後の『アメリカン・ポップ・アート』」
林卓行(玉川大学芸術学部准教授)
- ・研究員レポート
「オーストラリア出張報告」
本橋弥生(学芸課主任研究員)
「現代美術の博物館とコレクション国際委員会(CIMAM)に参加して」
米田尚輝(学芸課研究員)
- ・書架のあいだから
「アトライブラリー別館閲覧室開室のご案内」
阿部陽子(学芸課研究補佐員)
- ・教育普及事業 レポート
「アーティスト・ワークショップ『写真』」
以前/暗黒を作り出そう」
井上絵美子(学芸課研究補佐員)
「『アメリカン・ポップ・アート展』鑑賞ガイドを展示室で配布しています」
木内祐子(学芸課研究補佐員)
- ・公募団体等の活動
「自由美術協会」



活動報告 NACT Report

●平成24年度 国立新美術館 活動報告

平成25(2013)年7月22日発行、A4判、118ページ、図版白黒186点、700部
表紙デザイン：佐藤可土和



ガイドブック その他 Guide Book, etc

●「フランス国立クリュニー中世美術館所蔵『貴婦人と一角獣』展」ジュニアガイド

平成25(2013)年4月24日発行、仕上りA5変型(148×200mm)、蛇腹折、12ページ、図版カラー10点、50,000部

制作：NHK、国立新美術館

編集・制作：(株)広隆社

デザイン：(株)アド・エム



●「アメリカン・ポップ・アート展」鑑賞ガイド

平成25(2013)年8月7日発行、A4判、両面2色刷り1枚、150,000部

編集：学芸課教育普及室

執筆：木内祐子、井上絵美子

デザイン：木内祐子



●「印象派を超えて一点描の画家たち ゴッホ、スーラからモンドリアンまで クレラー＝ミュラー美術館所蔵作品を中心に」展ジュニアガイド

平成25(2013)年10月4日発行、仕上りA5判、四つ折、図版カラー3点、65,000部

制作：NHK、国立新美術館

編集・制作：(株)広隆社

デザイン：(株)アド・エム



●アートのとびらVol.8

平成26(2014)年2月19日発行、A5判、16ページ、図版カラー8点、30,000部

編集：学芸課教育普及室

執筆：吉澤菜摘

デザイン：伊藤滋章



広報ツール

●「カリフォルニア・デザイン」展ポストカード

平成25(2013)年4月19日発行、ハガキサイズ(148×100mm)、図版カラー1点、20,000部

編集：国立新美術館 広報担当



●「イメージの力」展開幕記念イベント「みる・きく・あそぶ イメージのカウイクエンド」ポスター

平成26(2014)年2月17日発行、B2変型(700×490mm)、50部

編集：国立新美術館 広報担当

デザイン：soda inc.



●「イメージの力」展開幕記念イベント「みる・きく・あそぶ イメージのカウイクエンド」チラシ

平成26(2014)年2月17日発行、仕上りB5判、二つ折、25,000部

編集：国立新美術館 広報担当

デザイン：soda inc.

6-2 ホームページ、各種ウェブサービス Website, SNS

国立新美術館ホームページ (<http://www.nact.jp/>) は、当館の多彩な活動について利用者に分かりやすく情報を伝える媒体として運用を続けている。

ホームページ、展覧会特設ウェブサイト以外にも、昨今のインターネットの利用形態の変化に対応するため「ソーシャルネットワークサービス (SNS)」等インターネット上の各種ウェブサービスの利用を行っている。平成25年度においても、ソーシャルネットワーキングサービス「Facebook」上の「国立新美術館」のページ (<http://www.facebook.com/nact.jp>、平成23 (2011) 年11月開設) を運用した。アート commons の更新情報やカフェアオキ等のイベント情報の発信のほか、ロビーコンサートの準備作業の紹介や季節により変わる美術館の風景等、国立新美術館とその活動をより身近に感じてもらえるような情報を交えて発信した。平成26 (2014) 年1月には発信した情報への支持を示す「いいね！」が1万件を超えた。また、広報室によるTwitterの運用も継続的に行われ、美術館の活動にあわせて情報を発信した。広報室によるTwitterの運用には3万人を超える利用者が購読登録をしている。

展覧会の特設ホームページとしてFacebookを利用した広報活動を行っている。平成25年度において「イメージの力」展、「バレエ・リュス」展のFacebookページを開設した。

また、当館の活動を携帯電話などでも手軽に閲覧できることを目指して、平成21 (2009) 年12月からメールマガジンを発行しており、平成25年度においても適時発行した。

ホームページ、SNS、メールマガジンのいずれの媒体も緊急時の開館時間変更や臨時休館の告知などの即時性が求められる情報伝達の媒体としても使用している。

The official NACT website (<http://www.nact.jp/>) continues to provide a user-friendly source of information regarding the Center's wide-ranging programs. In addition to the permanent website and special exhibition websites, NACT is keeping pace with recent trends in Internet use by making the most of social-media sites and other online services. In fiscal 2013, we used our Facebook page (<http://www.facebook.com/nact.jp>; set up in November 2011) not only to keep fans up-to-date on our activities via links to our Art Commons listings and Café Aoki event schedule, but also to give the Center a more friendly face by posting a variety of informal photos, such as seasonal views of the grounds and snapshots of preparations for lobby concerts. In January 2014, the NACT Facebook page passed the 10,000 mark for “likes” (indicating user approval).

Meanwhile, the Public Relations Department has continued posting “tweets” about Center activities on its Twitter account, which now has over 30,000 followers. NACT has also begun making use of dedicated Facebook pages to publicize individual exhibitions. In fiscal 2013, we set up Facebook pages for two exhibitions, The Power of Images and Ballets Russes. In addition, we continued distributing our e-newsletter, launched in December 2009 to disseminate the latest Center's news in a form subscribers can easily access on their cell phones or other devices. NACT also makes full use of its permanent website, social media accounts, and e-newsletter to issue up-to-the-minute notifications regarding emergency closings, changes in Center hours, and other time-sensitive information.

● ホームページ

当館ホームページの総アクセス数 (閲覧されたページ数) : 9,660,555件

うち、英語ページ : 247,482件
ドイツ語ページ : 5,884件
フランス語ページ : 6,153件
スペイン語ページ : 5,844件
韓国語ページ : 8,134件
中国語ページ : 15,351件
携帯サイト : 770,651件

● メールマガジン

登録者数 : 3,656人 (平成26 (2014) 年3月31日現在)

● 各種ウェブサービス

・ Facebook (facebook.com/nact.jp)

「いいね！」 : 10,990件 (平成26 (2014) 年3月31日現在)

・ Twitter (@NACT_PR)

平成23 (2011) 年11月2日 (水) にスタート

ツイート数 : 801件 (平成26 (2014) 年3月31日現在)

フォロワー : 35,010人 (平成26 (2014) 年3月31日現在)



ホームページ



Facebook

6-3 広報活動 Publicity Activities

メディア各社へ展覧会の情報を発信し、取材誘致、取材対応を行った。また、展覧会特設Facebookページを制作し情報拡散を図るほか、PR動画の作成などにより展覧会の魅力を伝えた。また、平成26(2014)年3月8日、9日には「イメージの力」展開幕記念イベントとして、「みる・きく・あそぶイメージのカウワー Weekend」を開催し、幅広い層へ展覧会情報を周知するとともに、館内を回るスタンプラリーの実施により施設広報の機会ともすることができた。そのほか、平成25(2013)年7月には、「具体」展の交通広告として制作したJR J・ADビジョン放映動画が、「交通広告グランプリ2013」において、デジタルメディア部門最優秀部門賞を受賞した。

To publicize its events and programs, NACT continued to work actively with all major media outlets by submitting press releases and other event information, welcoming press coverage, and responding to media inquiries. In addition, NACT launched dedicated exhibition pages on Facebook and produced publicity videos designed to communicate the wide appeal of our exhibitions. NACT also organized a major public event on March 8 and 9, 2014, to mark the opening of *The Power of Images* exhibition. Titled “Seeing, Hearing, and Playing: The Power of Images Weekend,” the event brought the exhibition to the attention of a wide audience and publicized the Center’s programs with the aid of a “stamp rally” in which participants toured the facilities and received stamps at each floor. In July 2013, NACT won the first prize of Transit Advertising Awards in the category of Digital Media for our video publicizing the exhibition *Gutai: The Spirit of an Era*, which was shown on “J-AD Vision” screened in JR stations.

掲載記事、放映 Media Publicity April 2013 - March 2014

新聞

No. 紙名	発行	発行日	内容
1 朝日新聞	朝日新聞社	4月3日	「カリフォルニア・デザイン」展 西岡一正氏展評
2 読売新聞	読売新聞社	5月23日	「カリフォルニア・デザイン」展 生井英考氏展評
3 毎日新聞	毎日新聞社	6月1日	「カリフォルニア・デザイン」展
4 東京新聞	中日新聞東京本社	10月13日	美術館紹介(「開かれた美術館」託児サービスについて)
5 日本経済新聞	日本経済新聞社	11月9日	青木保(館長)インタビュー「消えた『おもてなし』文化」
6 産経新聞	産経新聞社	3月23日	「イメージの力」展 黒沢綾子氏展評(美の扉)
7 朝日新聞	朝日新聞社	3月26日	「イメージの力」展 大西若人氏展評
8 日本経済新聞	日本経済新聞社	3月26日	「中村一美展」窪田直子氏展評
9 読売新聞	読売新聞社	3月29日	「中村一美展」中村一美氏インタビュー 井上晋治氏執筆

他 178件(当館把握件数)

雑誌

No. 誌名	発行	発売号	内容
1 日経おとなのOFF	日経BP社	5月号	「貴婦人と一角獣」展、「アメリカン・ポップ・アート展」南雄介(副館長兼学芸課長)取材、美術館紹介
2 Safari	日之出出版	6月号	「カリフォルニア・デザイン」展特集
3 Casa BRUTUS	マガジンハウス	6月号	「カリフォルニア・デザイン」展
4 MORE	集英社	10月号	美術館紹介
5 an・an	マガジンハウス	10/16号	「印象派を超えて一点描の画家たち」展 長屋光枝(学芸課主任研究員)コメント
6 美術の窓	生活の友社	2月号	「イメージの力」展、「中村一美展」、「バレエ・リュス展」 本橋弥生(学芸課主任研究員)執筆
7 GINZA	マガジンハウス	4月号	「イメージの力」展 長屋光枝(学芸課主任研究員)インタビュー
8 MODE et MODE	モードモード社	4月号	「バレエ・リュス展」特集

他 176件(当館把握件数)

WEB

No. サイト名	発信	掲載日	内容
1 CINRA.NET	CINRA	4月17日	「カリフォルニア・デザイン」展 中村竜治氏による展覧会レポート
2 All about	オールアバウト	5月31日	「カリフォルニア・デザイン」展
3 Excite Bit	エキサイト	7月18日	「グルスキー展」長屋光枝(学芸課主任研究員)コメント
4 乙女の美術館案内	サンケイリビング新聞社	8月28日	美術館紹介、「アメリカン・ポップ・アート展」
5 マイナビニュース	マイナビ	10月3日	美術館紹介(日本在住外国人の好きな美術館)
6 インターネットミュージアム	インターネットミュージアム事務所	3月5日	「イメージの力」展
7 JAPAN PORTAL	共同ニュース	3月29日	「中村一美展」

他 101件(当館把握件数)

テレビ

No. 放映番組名	放送局	放映日	内容
1 TOKYO DESIGNERS WEEK	BS日テレ	4月8日	「カリフォルニア・デザイン」展
2 ひるまえほっと	NHK総合	6月18日	「貴婦人と一角獣」展 南雄介(副館長兼学芸課長)出演
3 はなまるマーケット	TBS	8月2日	美術館紹介(今日の目玉コーナー)
4 ぶらぶら美術・博物館	BS日テレ	8月27日	「グルスキー展」 山田由佳子(学芸課研究員)出演 「アメリカン・ポップ・アート展」 南雄介(副館長兼学芸課長)出演
5 ぶらぶら美術・博物館	BS日テレ	3月28日	「イメージの力」展
6 日曜美術館アートシーン	NHK Eテレ	3月30日	「イメージの力」展 長屋光枝(学芸課主任研究員)出演

他 10件(当館把握件数)

ラジオ

No. 放送番組名	放送局	放送日	内容
1 Holiday Special	J-WAVE	5月3日	「カリフォルニア・デザイン」展 ホフディラン・小宮山雄飛氏による展覧会レポート
2 GOOD TIMES BOO !	Inter FM	7月15日	「グルスキー展」 長屋光枝(学芸課主任研究員)出演
3 大沢悠里のゆうゆうワイド	TBSラジオ	9月30日	「アメリカン・ポップ・アート展」 西野華子(学芸課主任研究員)出演
4 Atelier nova	J-WAVE	3月15日	「イメージの力」展 クリス智子氏による展覧会レポート

他 6件(当館把握件数)

その他、フリーペーパー、WEB等の掲載

104件(当館把握件数)

※原則として、美術館紹介及び自主企画展に関する記事、放映のみについて記載した。

※ただし、国立新美術館の職員が執筆、出演した場合は共催展に関する記事、放映についても件数に含めて記載した。

展覧会に関連したその他の広報活動

●「カリフォルニア・デザイン」展ポストカード

平成25(2013)年4月19日発行、ハガキサイズ(148×100mm)、図版カラー
1点(両面カラー印刷)20,000部
編集：国立新美術館 広報担当

●「イメージの力」展特設サイト(Facebook)

運用期間：平成25(2013)年12月4日(水)～平成26(2014)年6月10日(火)
「いいね！」：2,891件(平成26(2014)年3月31日現在)
運営：国立新美術館 広報担当



●「イメージの力-国立民族学博物館コレクションにさぐる」開幕記念イベント「みる・きく・あそぶ イメージのカウィークエンド」

日時：平成26(2014)年3月8日(土)、3月9日(日)10時～18時

・スタンプラリー

ウィークエンド開催期間中、館内4カ所に設置したスタンプを全て集めた来館者にプレゼントを進呈した。

・ワークショップ「折りジナルフェイスをつくろう！」

日時：3月8日(土)11時～12時、13時30分～14時30分、16時～17時

会場：国立新美術館 1階ロビー

講師：COCHAE 軸原ヨウスケ、武田美貴(デザイン・ユニット)

参加者数：133人(全3回)

・アラブ古典音楽のコンサート

日時：3月8日(土)12時～13時、15時～16時

会場：国立新美術館 1階ロビー

出演：ル・クラブ・バシュラフ

参加者数：246人(全2回)

・親指ピアノと世界各地の民族楽器のコンサート

日時：3月9日(日)11時～12時、13時～14時

会場：国立新美術館 1階ロビー

出演：HIROYUKI(親指ピアノ/カリンバ)、なかむらPAPAこういち(西アフリカの太鼓・ジャンベ)、ミウラ1号(民族打楽器・創作楽器奏者)、cHiHiRo(うた/アフリカンハーブ・コラ)、島田博樹(ベンガルの擦弦楽器・エスラジ)

参加者数：473人(全2回)

・カフェアオキ 第14回「美術の力とはどこにあるのか～『イメージの力』展をめぐって～」

日時：3月9日(日)15時～16時30分

出演：中村英樹(美術評論家、名古屋造形大学名誉教授)、山梨俊夫(国立国際美術館長)、青木保(館長)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：115人



ポスター：平成26(2014)年2月17日発行、B2変形(700×490mm)、50部

チラシ：平成26(2014)年2月17日発行、仕上りB5判、二つ折、25,000部

編集：国立新美術館 広報担当

デザイン：soda inc.

●「中村一美」展PR動画

放映：平成26(2014)年3月4日(火)～5月19日(月)

国立新美術館ホームページ/YouTube

映像：PR映像(1分24秒)

編集・制作：国立新美術館 広報担当

●「イメージの力」展、「中村一美展」書店プロモーション

「イメージの力」展及び「中村一美展」のチラシ、ポスター、関連書籍の特設ブースを設置し、PR動画を放映した。

期間：「イメージの力」展 平成26(2014)年3月11日(火)～3月31日(月)

「中村一美展」 3月21日(金・祝)～3月31日(月)

会場：青山ブックセンター六本木店

六本木アート・トライアングル

国立新美術館、サントリー美術館、森美術館の3館は、地図上で三角形を描く「六本木アート・トライアングル」(ATRo)として、展覧会観覧料の相互割引「あとろ割」や、「六本木アート・トライアングルMap+Calendar」の配布など、新しいアートの拠点を目指し、さまざまな連携に取り組んでいる。平成25年度も「六本木アートカレッジ2013」に参加協力。1日で全20講座を開講し、申込者数に対する当日参加者数の割合は過去3回のうち最も高い86%となった。

●六本木アート・トライアングルMap+Calendar 2013.3-9

国立新美術館、サントリー美術館、森美術館
平成25(2013)年3月発行、仕上り297×119mm、展開サイズ297×418mm、変型経本折

●六本木アート・トライアングルMap+Calendar 2013.10-2014.3

国立新美術館、サントリー美術館、森美術館
平成25(2013)年10月発行、仕上り297×119mm、展開サイズ297×418mm、変型経本折

●六本木アートカレッジ2013

アートを中心とした20種類の講座を、1日4,000円で好きなだけ受講できるイベント。6つの時間帯、5つの会場で開講される講座から、興味のあるものを選択し受講する。また19時15分からはゲスト講師と受講者が語り合う「ナイトパーティー」が開催された。ATRo3館は、チラシ作成のほか、プログラム提供で協力し、国立新美術館は米田尚輝(学芸課研究員)による「色彩の探求一点描の画家たちとその時代」を開講した。

日時：平成25(2013)年11月24日(日)10時～18時30分

会場：アカデミーヒルズ(六本木ヒルズ 森タワー49階)

申込者数：996人

参加者数：856人



南雄介 MINAMI Yusuke

【執筆】

- ・『「貴婦人と一角獣展」について』／「フランス国立クリュニー中世美術館所蔵『貴婦人と一角獣』展」展覧会カタログ／4月／NHK、NHKプロモーション
- ・特集「ポップ・アートをもう一度」(監修)／『サライ』8月号／8月／小学館
- ・「筆触と色彩—ポップ・アートと絵画」、[章解説]「5章 友人としてのアーティストたち」[7章 ロイ・リキテンスタイン]「パワーズ・コレクションと作家たち キミコ・パワーズへのインタビュー」(聞き手)／「アメリカン・ポップ・アート展」展覧会カタログ／8月／TBSテレビ
- ・「作品でたどる軌跡」／『別冊太陽 横尾忠則 芸術にゴールはない』／9月／平凡社
- ・「芸術における非芸術—その文脈」／「イメージの力—国立民族学博物館コレクションにさぐる」展覧会カタログ／2月／国立民族学博物館
- ・「可能性の形式—中村一美の絵画について」、[章解説]「I 空間としての絵画」II 社会意味論(ソーシャル・セマンティクス)としての絵画」III 鳥としての絵画」[中村一美展]展覧会カタログ／3月／国立新美術館

【講演、研究発表等】

- ・「カフェ・アオキ」第12回「美術と美術館のために～国立3美術館・学芸員が語る～」／7月21日／国立新美術館
- ・「ポップ・アートとは何か」／8月29日／表参道CTW
- ・「アメリカン・ポップ・アート展」記念講演会「アメリカン・ポップ・アートとその時代」／9月14日／国立新美術館
- ・シンポジウム「建築と美術館の未来」／「黒川紀章メモリアル INTER-DESIGN FORUM TOKYO 2013 『共生のアジアへ』」／10月13日／国立新美術館
- ・日本の新世代アーティストに関する講演／「未来への回路」展開催記念スピーチ／10月18日／ネバダ大学ラスベガス校バリック美術館、アメリカ
- ・六本木アートナイトスクール第1回「テーマの作りかた」／1月10日／国立新美術館

【海外出張】

- ・アメリカ／4月7日～12日／企画展に関わる作品調査ならびにインタビューのため
- ・韓国／6月18日～19日／企画展に関わる交渉ならびに調査のため
- ・イタリア、オランダ、フランス／9月22日～10月1日／海外フェスティバル等視察ならびに企画展開催に関わる展覧会調査のため
- ・アメリカ／10月16日～21日／日本の新世代アーティストに関する講演のため
- ・韓国／11月12日～13日／韓国国立現代美術館ソウル館開館記念式典出席ならびに開館記念展調査のため

長屋光枝 NAGAYA Mitsue

【執筆】

- ・「アンドレアス・グルスキー：絵画的コンポジションとしての写真」／「アンドレアス・グルスキー展」展覧会カタログ／7月／読売新聞東京本社
- ・「分割主義—その理念と実践から」、[章解説]「I. 印象派の筆触」、[作品解説]8点／「印象派を超えて一点描の画家たち ゴッホ、スーラからモンドリアンまで クレラ＝ミュラー美術館所蔵作品を中心に」展覧会カタログ／10月／東京新聞、NHK、NHKプロモーション
- ・「スーラの点描と分割主義」／『暮らすめいと』第60号(2013年10月号)／9月／中日新聞東京本社
- ・「『イメージ』雑感—美術史学の立場から」／『月刊みんぱく』第38巻第2号通巻437号(2014年2月号)／2月／国立民族学博物館
- ・「イメージの力—美術館からの視点」／「イメージの力—国立民族学博物館コレクションにさぐる」展覧会カタログ／2月／国立民族学博物館
- ・「『イメージの力—国立民族学博物館コレクションにさぐる』展について」／『新美術新聞』／2月21日(No.1336)／美術年鑑社

【翻訳】

- ・ダリオ・ガンポーニ著『ルドン【アモンティラードの酒樽】』／6月／三元社(共訳)
- ・[章解説]「IV. ベルギーとオランダの分割主義」、[作品解説]7点／「印象派を超えて一点描の画家たち ゴッホ、スーラからモンドリアンまで クレラ＝ミュラー美術館所蔵作品を中心に」展覧会カタログ／10月／東京新聞、NHK、NHKプロモーション

【講演、研究発表等】

- ・「アンドレアス・グルスキー展」ギャラリートーク／7月19日／国立新美術館
- ・トークイベント「グルスキーから見えてくるもの」(対談)／8月2日／代官山蔦谷書店1号館
- ・「印象派を超えて一点描の画家たち」展関連文化講演会／10月17日／日本橋公会堂ホール
- ・「印象派を超えて一点描の画家たち」展関連文化講演会／10月18日／立川市女性総合センター
- ・「印象派を超えて一点描の画家たち」展解説会／10月20日／国立新美術館
- ・「美術史から見た『イメージの力』展—その問題の所在」／「イメージの力—国立民族学博物館コレクションにさぐる」展関連シンポジウム「新たなイメージ論に向けて」／2月22日／国立新美術館

【海外出張】

- ・スイス／4月23日～28日／企画展「チューリヒ美術館展」に関わる作品調査と打ち合わせのため
- ・韓国／6月18日～19日／企画展に関わる打ち合わせと調査のため
- ・韓国／11月12日～13日／韓国国立現代美術館ソウル館開館記念式典出席ならびに開館記念展調査のため

宮島綾子 MIYAJIMA Ayako

【執筆】

- ・「関連年表」／「フランス国立クリュニー中世美術館所蔵『貴婦人と一角獣』展」展覧会カタログ／4月／NHK、NHKプロモーション
- ・「研究員レポート 『アート・アーチ・ひろしま2013』を訪れて」／『国立新美術館ニュース』No.28 (11月)／国立新美術館
- ・「オルセー美術館展 印象派の誕生―描くことの自由―」／『美術の窓』第33巻第2号通巻385号 (2014年2月号)／2月／生活の友社

【講演、研究発表等】

- ・「展覧会の企画・運営について」／獨協大学全学総合講座／6月20日／獨協大学

西野華子 NISHINO Hanako

【執筆】

- ・「章解説」[1章 ロバート・ラウシェンバーグ][2章 ジャスパー・ジョーンズ][3章 ラリー・リヴァース/ジム・ダイン][6章 アンディ・ウォーホル]、[作品解説] 22点、[外国語主要文献]／「アメリカン・ポップ・アート展」展覧会カタログ／8月／TBSテレビ
- ・「ミュージアムへ行こう！国立新美術館 人とアートが出会う場所」／『理大 科学フォーラム』／9月／東京理科大学
- ・「加山又造〈猫〉」／『月刊美術』No.458／11月／サン・アート
- ・「黒川紀章メモリアル INTER-DESIGN FORUM TOKYO 2013『共生のアジアへ』」／『国立新美術館ニュース』No.28 (11月)／国立新美術館
- ・「To See as Artists See: American Art from the Phillips Collection」／*Phillips Collection Magazine* (February)／Phillips Collection

本橋弥生 MOTOHASHI Yayoi

【執筆】

- ・「研究員レポート オーストラリア出張報告」／『国立新美術館ニュース』No.27 (8月)／国立新美術館
- ・「マティスやデ・キリコ、バクストラが手掛けたバレエ衣装たち」／『美術の窓』第33巻第2号通巻385号 (2014年2月号)／2月／生活の友社

【講演、研究発表等】

- ・「カリフォルニア・デザイン 1930-1965 ―モダン・リヴィングの起源―」展上映会＋トーク「ふたりのイームズ：建築家チャールズと画家レイ」／4月21日／国立新美術館
- ・「バレエ・リュスと舞台衣装」／平成25年度服飾文化特別講演会／2月25日／文化学園大学

【海外出張】

- ・オーストラリア／6月19日～7月2日／「カルチュラル・ビジターズ・プログラム」(オーストラリア外務貿易省と独立行政法人国立美術館が実施する日豪美術館学芸員交流事業)への参加、及び「魅惑のコスチューム：バレエ・リュス展」に関わる調査のため
- ・チェコ共和国／3月3日～8日／企画展に関わる調査のため

室屋泰三 MUROYA Taizo

【執筆】

- ・「『クローズアップ工芸』展における映像展示について」／『現代の眼』603号 (12月)／東京国立近代美術館

【講演、研究発表等】

- ・「区間3分割による階段関数系を用いた絵画画像の色彩変化の計量の試み」／日本色彩学会画像色彩研究会2013年度研究発表会／日本色彩学会画像色彩研究会／3月2日／国立新美術館
- ・「鈴木長吉作『十二の鷹』の形状計測とそのCG化に向けた検討」(長野大学田中法博教授研究室との共同研究)／日本色彩学会画像色彩研究会2013年度研究発表会／日本色彩学会画像色彩研究会／3月2日／国立新美術館

山田由佳子 YAMADA Yukako

【執筆】

- ・「アンドレアス・グルスキー、その革新の軌跡」、『略歴』、『主要参考文献』／「アンドレアス・グルスキー展」展覧会カタログ／7月／読売新聞東京本社
- ・「アンドレアス・グルスキー展、その展示の多層性について」／『国立新美術館ニュース』No.27 (8月)／国立新美術館
- ・「研究員レポート 東スロバキアの古都コシツェの暗闇に現れるアートの祭典、ビエラ・ノッツでの出会い」／『国立新美術館ニュース』No.28 (11月)／国立新美術館
- ・「記憶の痕跡と武器アート：『いのちの輪だち』(2012年)をめぐって」／「イメージの力―国立民族学博物館コレクションにさぐる」展覧会カタログ／2月／国立民族学博物館

【講演、研究発表】

- ・「アンドレアス・グルスキー展」ギャラリートーク／8月2日／国立新美術館

【海外出張】

- ・スイス／4月23日～29日／企画展「チューリヒ美術館展」に関わる作品調査と打ち合わせのため
- ・オーストリア、チェコ、スロバキア／9月30日～10月9日／六本木アートナイトに関わる調査、その他企画展に関わる調査のため

米田尚輝 YONEDA Naoki

【執筆】

- ・『《書評》ルーヴルの現在性、あるいは美術館の使命 ジャック・ラング著／塩谷敬訳『ルーヴル美術館の戦いーグラン・ルーヴル誕生をめぐる攻防』／『未来』(562号)／7月／未来社
- ・『研究員レポート 現代美術の博物館とコレクション国際委員会(CIMAM)に参加して』／『国立新美術館ニュース』No.27(8月)／国立新美術館
- ・『ジョルジュ・スーラと色彩の科学』、[作品解説]3点／「印象派を超えて一点描の画家たち ゴッホ、スーラからモンドリアンまで クレラー＝ミュラー美術館所蔵作品を中心に」展覧会カタログ／10月／東京新聞、NHK、NHKプロモーション
- ・『モンドリアンとファン・ドゥースブルフのグラフィック・イメージ』／『引込線2013』／11月／引込線実行委員会
- ・『偶然の縫い今井龍満の絵画』／『今井龍満作品集ー偶然を生きるものたち』／3月／求龍堂

【翻訳】

- ・リースベス・ヘーネ「ヘレーネ・クレラー＝ミュラーとその分割主義コレクションの形成」、[作品解説]12点／「印象派を超えて一点描の画家たち ゴッホ、スーラからモンドリアンまで クレラー＝ミュラー美術館所蔵作品を中心に」／10月／東京新聞、NHK、NHKプロモーション

【講演、研究発表等】

- ・「印象派を超えて一点描の画家たち」展関連文化講演会／11月2日／足立区生涯学習センター
- ・「印象派を超えて一点描の画家たち」展関連文化講演会／11月6日／調布市文化会館
- ・「印象派を超えて一点描の画家たち」展解説会／11月7日／国立新美術館
- ・「Artist File」／第9回アジア次世代キュレーター会議／11月20日／韓国国立現代美術館、韓国
- ・「色彩の探求一点描の画家たちとその時代」／六本木アートカレッジ／11月24日／アカデミーヒルズ

【海外出張】

- ・韓国／6月18日～21日／韓国国立現代美術館、ソウル市立美術館、サムスン美術館リウム、アートソングェ・センター等の視察、調査、及び企画展の打ち合わせのため
- ・アメリカ、ブラジル／8月7日～20日／ニューヨーク近代美術館、ホイットニー美術館、メトロポリタン美術館等の視察、調査、CIMAMへの参加のため
- ・イタリア／10月27日～11月1日／ヴェネチア・ビエンナーレ、プンタ・デッラ・ドガーナ、カ・コルネール・デッラ・レジーナ等の視察、調査のため
- ・韓国／11月19日～23日／韓国国立現代美術館における第9回アジア次世代キュレーター会議への参加のため

瀧上華 (アソシエイトフェロー) TAKIGAMI Hana

【執筆】

- ・「芸術と日常をつなぐー『ニュー・リアリスツ』展における『アメリカン・ポップ・アート』の形成」、[作家解説]「4章 クレス・オルデンバーグ」「8章 メル・ラモス／ジェイムズ・ローゼンクイスト／トム・ウェッセルマン」、[作品解説]14点、[外国語文献]／「アメリカン・ポップ・アート展」展覧会カタログ／8月／TBSテレビ

横山由季子 (アソシエイトフェロー) YOKOYAMA Yukiko

【執筆】

- ・「眼と手の記憶の交錯：ピエール・ボナールの『傘を持つ女』連作(1894-1898年)」／『Résonnances』(第8号)／1月／東京大学教養学部、フランス語・イタリア語部、『Résonnances』編集委員会

【翻訳】

- ・「[作品解説]5点／「印象派を超えて一点描の画家たち ゴッホ、スーラからモンドリアンまで クレラー＝ミュラー美術館所蔵作品を中心に」展覧会カタログ／10月／東京新聞、NHK、NHKプロモーション

【講演、研究発表等】

- ・「Peinture et ornement : les intérieurs intimes d'Edouard Vuillard dans les années 1890 (絵画と装飾：1890年代におけるエドゥアール・ヴェイヤールの親密な室内空間)」／パリ第8大学・東京大学共催グラデュエート・カンファレンス「Et」／3月20日、21日／サン＝ドゥニ歴史芸術博物館、パリ第8大学、フランス

吉澤菜摘 (アソシエイトフェロー) YOSHIZAWA Natsumi

【執筆】

- ・「教育普及事業レポート アーティスト・ワークショップ 木々に灯す、ちいさな巣をつくろう～アートナイトでインスタレーションに挑戦」／『国立新美術館ニュース』No.26(5月)／国立新美術館
- ・「教育普及事業レポート 黒川紀章メモリアル INTER-DESIGN FORUM TOKYO 2013関連イベント 黒川紀章メモリアルコンサート」／『国立新美術館ニュース』No.28(11月)／国立新美術館
- ・「グループワークH 中学生の鑑賞～抽象的な作品を題材として～サブファシリテーター感想」／『平成25年度美術館を活用した鑑賞教育の充実のための指導者研修 Web報告』／11月／独立行政法人国立美術館
- ・『国立新美術館ガイドブック アートのとびらVol.8』／2月／国立新美術館

谷口英理 (アソシエイトフェロー) TANIGUCHI Eri

【執筆】

- ・『美術批評家著作選集 第15巻 今泉篤男・植村鷹千代』(五十殿利治監修、谷口英理編著)／9月／ゆまに書房
- ・『美術の日本近現代史』(北澤憲昭・佐藤道信・森仁史編集委員)／1月／東京美術

8

その他の事業

Other Programs and Events

●SFTギャラリー展示一覧

- ・巡る器、旅する器。

巳亦敬一、田村一、矢尾板克則、山野邊孝、郡司庸久、須藤拓也、亀田大介、吉田直嗣、掛江祐造、小山乃文彦、横山拓也、艸田正樹、尾形アツシ、吉岡萬理、石川昌浩、寒川義雄、石田誠、小野哲平、竹花正弘、山下太企画、構成：祥見知生 うつわ祥見

平成25(2013)年3月27日(水)～6月10日(月)

- ・VACANCES ‘終わりなきバカンス あなたにしか見せない顔’

大谷有紀

6月12日(水)～8月19日(月)

- ・FLAT BOX AND KOGA STORE

古賀充

8月21日(水)～10月21日(月)

- ・お茶づけの器

坂場圭十、木村香菜子、松本かおる、寒川義雄、広川絵麻、二川修

10月23日(水)～平成26(2014)年1月20日(月)

- ・DARUMA

COCHAE 軸原ヨウスケ、武田美貴

1月22日(水)～3月31日(月)

●別館展示コーナー

昭和3(1928)年建設の旧陸軍兵舎は、「日」の字型の構造を持ち、アールデコ調のデザインを取り入れた外壁など、ビルディング・タイプのモダンな旧陸軍初の鉄筋コンクリート建築であった。その後、昭和37(1962)年から東京大学生産技術研究所(一部、物性研究所)として使用された。国立新美術館建設に伴い、建物は解体・撤去されることとなったが、建築上の歴史的価値に鑑み、その一部が国立新美術館別館として保存されている。

別館エントランスホールの展示コーナーでは、兵舎時代の建物の写真、図面、模型、解体前の調査報告書や当時の東京大学研究紹介などを公開している。

開室日：毎週月、水、木、金曜日(祝祭日、年末年始及び美術館の休館日は休室)

開室時間：11時～18時

開室日数：156日

利用者数：1,849人

●ロビーコンサート

- ・サマー・ジャズコンサート

日時：平成25(2013)年7月12日(金)18時30分～19時30分

会場：国立新美術館 1階ロビー

出演：Charito(ボーカル)、野力奏一(ピアノ)、中村健吾(ベース)、ジーン重村(ドラム)

参加者数：354人

- ・黒川紀章メモリアルコンサート

日時：10月11日(金)18時～19時

会場：国立新美術館 1階ロビー

出演：戸田弥生(バイオリン)、江島有希子(バイオリン)、大山平一郎(ヴィオラ)、辻本玲(チェロ)

参加者数：248人

- ・国立新美術館音楽の楽しみ「弦楽四重奏の魅力」

日時：11月22日(金)18時30分～19時30分

会場：国立新美術館 1階ロビー

出演：戸田弥生(バイオリン)、千葉清加(バイオリン)、大山平一郎(ヴィオラ)、辻本玲(チェロ)

参加者数：361人



11月22日 コンサート「弦楽四重奏の魅力」

- 「イメージのカー国立民族学博物館コレクションにさぐる」開幕記念イベント「みる・きく・あそぶ イメージのカウイークエンド」
日時：平成26(2014)年3月8日(土)、3月9日(日)10時～18時
- ・スタンプラリー
ウィークエンド開催期間中、館内4カ所に設置したスタンプを全て集めた来館者にプレゼントを進呈した。
- ・ワークショップ「折りジナルフェイスをつくろう！」
日時：3月8日(土)11時～12時、13時30分～14時30分、16時～17時
会場：国立新美術館 1階ロビー
講師：COCHAE 軸原ヨウスケ、武田美貴(デザイン・ユニット)
参加者数：133人(全3回)
- ・アラブ古典音楽のコンサート
日時：3月8日(土)12時～13時、15時～16時
会場：国立新美術館 1階ロビー
出演：ル・クラブ・バシュラフ
参加者数：246人(全2回)
- ・親指ピアノと世界各地の民族楽器のコンサート
日時：3月9日(日)11時～12時、13時～14時
会場：国立新美術館 1階ロビー
出演：HIROYUKI(親指ピアノ／カリンバ)、なかむらPAPAこういち(西アフリカの太鼓・ジャンベ)、ミウラ1号(民族打楽器・創作楽器奏者)、cHiHiRo(うた／アフリカンハーブ・コラ)、島田博樹(ベンガルの擦弦楽器・エスラジ)
参加者数：473人(全2回)
- ・カフェアオキ 第14回「美術の力とはどこにあるのか～『イメージの力』展をめぐって～」
日時：3月9日(日)15時～16時30分
出演：中村英樹(美術評論家、名古屋造形大学名誉教授)、山梨俊夫(国立国際美術館長)、青木保(館長)
会場：国立新美術館 講堂
参加者数：115人

●地域との協力・連携事業

- ・「港区ミュージアムネットワーク」参加(主催：港区)
- ・政策研究大学院大学学生向けガイダンス
近隣の政策研究大学院大学との連携の一環として、学生を対象とした展覧会や施設に関するガイダンスを実施した。
日時：平成25(2013)年5月20日(月)、11月29日(金)(全2回)
会場：国立新美術館 講堂
参加者数：26カ国111人(第1回)、36カ国86人(第2回)
- ・「港区文化芸術のちから集中プログラム」協力(主催：港区)
「文化芸術のみなと・ミナコレ2013夏」(スタンプラリー)
日時：平成25(2013)年8月1日(木)～8月31日(土)
「文化芸術のみなと・ミナコレ2014冬」(無料巡回バスの運行)
日時：平成26(2014)年2月1日(金)～2月28日(木)
- ・「2013(第32回)みなと区民まつり」協賛(主催：みなと区民まつり実行委員会)
日時：平成25(2013)年10月12日(土)、10月13日(日)
- ・「地域で共に生きる障害児・障害者アート展」開催(主催：港区、共催：国立新美術館)
絵画鑑賞を通じて障害者への理解を深めることを目的に、港区が実施する重度障害児を対象とした事業や、港区内の障害者施設で制作された作品を展示した。
日時：平成26(2014)年1月22日(水)～1月27日(月)
会場：国立新美術館 1階ロビー(企画展示室1E前)

●六本木アートナイト

主催：東京都、アーツカウンシル東京・東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京都歴史文化財団)、六本木アートナイト実行委員会(国立新美術館、サントリー美術館、東京ミッドタウン、21_21 DESIGN SIGHT、森美術館、森ビル、六本木商店街振興組合)

「六本木アートナイト2014」(平成26(2014)年4月19日(土)、20日(日))の開催に向け、六本木アートナイト実行委員会の各機関と連携し、海外・国内のフェスティバルの視察を行った。

- ・あいちトリエンナーレ2013／愛知県／平成25(2013)年9月14日視察
- ・Nuit Blanche／アムステルダム、オランダ／9月28日、29日視察
- ・Nuit Blanche／コシツェ、スロバキア／10月5日、6日視察
- ・瀬戸内国際芸術祭2013／香川県／11月2日～4日視察

9-1 入場者数

Number of Visitors

9-2 予算

Budget

9-3 企業協賛

Corporate Support

9-4 来館者サービス

Visitor Services

9-5 国際交流

International Exchanges

9-6 展覧会出品リスト

List of Works

9-7 名簿The NACT Advisory Board,
The NACT Council and Staff List

9 記録 Records

9-1 入場者数 Number of Visitors

国立新美術館展覧会入場者数

年度	企画展			公募展			年間入場者数合計	入場者数累計
	展覧会数	開催日数	入場者数	展覧会数	開催日数	入場者数		
平成18	4	162	498,694	—	—	—	498,694	498,694
平成19	11	423	1,847,413	69	832	1,317,508	3,164,921	3,663,615
平成20	11	432	1,052,472	69	840	1,309,747	2,362,219	6,025,834
平成21	10	453	1,149,767	69	833	1,246,840	2,396,607	8,422,441
平成22	11	397	1,807,150	69	811	1,266,989	3,074,139	11,496,580
平成23	8	350	690,000	69	831	1,253,764	1,943,764	13,440,344
平成24	10	436	1,092,175	69	834	1,259,966	2,352,141	15,792,485
平成25	10	417	822,815	69	837	1,205,249	2,028,064	17,820,549

※平成18年度は開館(平成19年1月21日)から年度末(3月31日)までの統計である。

※開催日数には、年度内に開催された全ての展覧会の開催日数合計を記した。

※公募展の展覧会数・開催日数・入場者数は、当該年度第1会期から第25会期まで(平成22年度までは第50会期まで)の展覧会の統計である。

※平成23(2011)年3月12日(土)、14日(月)、16日(水)～18日(金)、23日(水)～25日(金)は臨時休館。

9-2 予算 Budget

収入 Revenue

事項	金額(単位:千円)
運営交付金	828,627
自己収入	609,766
合計	1,448,393

支出 Expenditure

事項	金額(単位:千円)
一般管理費	354,252
展示事業費	559,586
(内訳)	
企画展事業費	217,179
公募展事業費	342,407
教育普及費	522,872
(内訳)	
教育普及事業費	394,278
情報提供事業費	31,775
図書閲覧事業費	58,237
広報事業費	30,382
アーカイブ事業費	8,200
調査研究費	11,683
合計	1,448,393

9-3 企業協賛 Corporate Support

企業名	協賛事業
鹿島建物総合管理株式会社、住友化学株式会社、東レ株式会社、三井不動産株式会社、三菱電機株式会社	海外に向けて美術情報を発信する活動(JACプロジェクト)への協賛
三菱商事株式会社	託児サービス事業への協賛
JXホールディングス株式会社	コンサート事業への協賛
キャノン株式会社	国立新美術館が実施する教育普及事業(ワークショップ事業、鑑賞ガイド作成事業、講演会・シンポジウムの開催)

9-4 来館者サービス Visitor Services

● 付属施設

- ・ レストラン：ブラスリー ポール・ボキューズ ミュゼ(3階)
 - ・ カフェ：サロン・ド・テ ロンド(2階)
カフェ コキユ(1階)
カフェテリア カレ(地下1階)
 - ・ ミュージアムショップ：スーベニア フロム トーキョー(SFT)
(地下1階、1階)
SFTギャラリー(地下1階)
- ※1階ミュージアムショップは、平成26(2014)年2月19日(水)より開設。

● 観覧環境の整備

- ・ 多目的トイレの設置
- ・ 車椅子・ベビーカーの貸出
- ・ オストメイト(人工肛門・人工膀胱)対応トイレの設置
- ・ 身体障害者用駐車場の整備
- ・ 授乳室(地下1階)の整備
- ・ 補聴器等への磁気誘導無線システムを講堂に設置(専用受信機10台)
- ・ 点字ブロック、点字表示の整備
- ・ 視覚障害者用のインターホンを各入口に設置
- ・ 館内ディスプレイでの展覧会や講演会等の情報表示
- ・ 海外6カ国語版の利用案内(220×107mm、二つ折)を配布
- ・ バリアフリー情報に特化した大きな文字の利用案内を配布
- ・ 各インフォメーションに筆談ボードを設置

● 託児サービス

育児支援および来館者サービスの一環として、託児サービスを実施した。
実施日：毎月第2木曜、第3日曜、第4月曜 計36回
使用施設：国立新美術館 研修室
受入人数：148人

● 独立行政法人国立美術館キャンパスメンバーズ

会員法人数：77法人(うち国立新美術館利用法人数：67法人)
国立新美術館利用者数：32,623人

● 高校生等の観覧料無料化

- ・ 高校生または18歳未満の観覧無料展覧会：
「アーティスト・ファイル2013—現代の作家たち」
「カリフォルニア・デザイン 1930-1965 —モダン・リビングの起源—」
「未来を担う美術家たち 16th DOMANI・明日展 文化庁芸術家在外研修の成果」
「イメージのカー国立民族学博物館コレクションにさぐる」
「中村一美展」
- ・ 高校生特別無料招待日を設けた展覧会：
「フランス国立クリュニー中世美術館所蔵『貴婦人と一角獣』展」
「アンドレアス・グルスキー展」
「アメリカン・ポップ・アート展」
「印象派を超えて一点描の画家たち ゴッホ、スーラからモンドリアンまで クレラー=ミュラー美術館所蔵作品を中心に」
- ・ 観覧料無料展覧会：
「平成25年度[第17回]文化庁メディア芸術祭」

● 高齢者の観覧料低廉化

- ・ 公募展との相互割引で、65歳以上の利用者に大学生団体料金を適用した展覧会：
「イメージのカー国立民族学博物館コレクションにさぐる」
「中村一美展」
※平成25年度「イメージのカー国立民族学博物館コレクションにさぐる」展より、試行的に開始。

● クレジットカード及び電子マネー等による観覧券購入対応

- クレジットカード：UC、MasterCard、VISA、JCB、AMEX、Diners Club、DISCOVER
- 電子マネー：Suica、PASMO、ICOCA、Kitaca、TOICA、SUGOCA、nimoca、はやかけん、iD
- その他：J-Devit、銀聯

● ぐるっとパス

平成25(2013)年4月1日～平成26(2014)年3月31日の期間、東京の美術館・博物館等共通入館券「東京・ミュージアム ぐるっとパス2013」に参加。



託児サービス

9-5 国際交流 International Exchanges

氏名 Name
肩書
国・地域
滞在期間・来館日
来館目的

平成25年度招聘者 Guests April 2013-March 2014

スーザン・シュマルツ Susan Schmalz
ロサンゼルス・カウンティ美術館 服飾コンサヴェーター
アメリカ
6月1日～9日
「カリフォルニア・デザイン」展 撤去指導、作品輸送

エミリー・ホートン・サセンチ Emily Horton Saccenti
ロサンゼルス・カウンティ美術館 レジストララー
アメリカ
6月1日～11日
「カリフォルニア・デザイン」展 撤去指導

リリー・ドアン Lily Doan
ロサンゼルス・カウンティ美術館 オブジェクト・コンサヴェーター
アメリカ
6月1日～15日
「カリフォルニア・デザイン」展 撤去指導

メリッサ・アルトマン Melissa Altman
ロサンゼルス・カウンティ美術館 レジストララー
アメリカ
6月16日～18日
「カリフォルニア・デザイン」展 作品輸送

ミシェル・ユイー Michel Huynh
フランス国立クリュニー中世美術館 主任学芸員
フランス
4月6日、15日、7月16日～18日
「貴婦人と一角獣展」 作品輸送、展示・撤去指導

ソフィー・ラガブリエル Sophie Lagabrielle
フランス国立クリュニー中世美術館 主任学芸員
フランス
4月11日、15日、16日
「貴婦人と一角獣展」 作品輸送、展示指導

アラン・ドゥクッシュ Alain Decouche
フランス国立クリュニー中世美術館 作品管理部門主任
フランス
4月13日、15日～21日、7月16日～18日、20日
「貴婦人と一角獣展」 作品輸送、展示・撤去指導

エリザベット・タビュレ＝ドゥラエ Elisabeth Taburet-Delahaye
フランス国立クリュニー中世美術館 館長
フランス
4月17日～21日、23日、24日
「貴婦人と一角獣展」 作品輸送、展示指導、内覧会出席、講演会

クレマンس・レイノー Clémence Raynaud
フランス国立クリュニー中世美術館 研修生
フランス
4月17日～21日
「貴婦人と一角獣展」 作品輸送、展示指導

マリー＝フランス・コシュトゥー Marie-France Cocheteux
フランス国立クリュニー中世美術館 事務局長
フランス
4月18日～21日
「貴婦人と一角獣展」 作品輸送、展示指導

ジャン＝クリストフ・トン＝タ Jean-Christophe Ton-That
フランス国立クリュニー中世美術館 資料部門主任
フランス
7月16日～18日、20日
「貴婦人と一角獣展」 撤去指導、作品輸送

アネット・フェルカー Annette Völker
アンドレアス・グルスキー アシスタント
6月25日～29日、7月1日～2日
「グルスキー展」 展示指導

ディルク・ミュラー Dirk Müller
美術輸送、取り扱い指導者
6月25日～29日、7月1日～2日、9月17日～20日
「グルスキー展」 展示・撤去指導

アンドレアス・グルスキー Andreas Gursky
現代美術家
ドイツ
6月26日～29日、7月1日～2日
「グルスキー展」 展示指導、開会式出席

ジョエル・サムエルソン Joel Samuelson
パワーズ・アート・センター／The Ryobi Foundation
アメリカ
7月30日～8月3日
「アメリカン・ポップ・アート展」 作品輸送、展示指導

メリッサ・イングリッシュ Melissa T. English
パワーズ・アート・センター ディレクター
アメリカ
10月22日～25日
「アメリカン・ポップ・アート展」 撤去指導、作品輸送

トン・ホーフワイク Ton Hoofwijk
クレラー＝ミュラー美術館 セキュリティ担当
オランダ
9月25日～10月2日、12月22日～26日
「印象派を超えて一点描の画家たち」展 作品輸送、セキュリティ指導

ベルナデット・ファン・ベーク Bernadette Van Beek
クレラー＝ミュラー美術館 修復家
オランダ
9月26日～10月2日、12月22日～26日
「印象派を超えて一点描の画家たち」展 作品輸送、展示・撤去指導

リズ・クレイン Liz Kreijn
クレラー＝ミュラー美術館 学芸部長
オランダ
9月27日～10月2日、12月22日～26日
「印象派を超えて一点描の画家たち」展 作品輸送、展示・撤去指導

マルヘ・レーウェスタイン Margje Leeuwestein
クレラー＝ミュラー美術館 修復家
オランダ
9月27日～10月2日、12月22日～26日
「印象派を超えて一点描の画家たち」展 作品輸送、展示・撤去指導

リゼット・ペルサース Lisette Pelsers
クレラー＝ミュラー美術館 館長
オランダ
10月3日
「印象派を超えて一点描の画家たち」展 開会式出席

平成25年度来館者 Visitors April 2013-March 2014

アントニオ・ネグリ Antonio Negri
政治哲学者
イタリア
4月4日
青木館長表敬訪問

リゼット・ペルサース Lisette Pelsers
クレラー＝ミュラー美術館 館長
オランダ
4月16日
青木館長表敬訪問、視察

リズ・クレイン Liz Kreijn
クレラー＝ミュラー美術館 学芸部長
オランダ
4月16日
青木館長表敬訪問、視察

テオドル・C・ベスター Theodore C. Bestor
ハーバード大学 教授／ライシャワー日本研究所 所長
アメリカ
5月31日
青木館長表敬訪問、視察

オレリー・フェリベティ Aurélie Filippetti
フランス文化・通信大臣
フランス
6月7日
青木館長表敬訪問、視察

クリスチャン・ボルタンスキー Christian Boltanski
アーティスト
フランス
6月7日
青木館長表敬訪問、視察

徐一平 Xu Yiping
北京外国語大学 教授
中国
6月8日
青木館長表敬訪問、視察

トゥリル・フィエルド・ホイヤー Toril Fjelde Høye
ノルウェー現代美術局 財務管理部長
ノルウェー
6月17日
青木館長表敬訪問、視察

アントニオ・カタルド Antonio Cataldo
ノルウェー現代美術局 上席コーディネーター
ノルウェー
6月17日
青木館長表敬訪問、視察

葉澤山 Yeh Tse-shan
台南市政府文化局 局長
台湾
6月24日
青木館長表敬訪問、視察

黄俊傑 Huang Chun-chieh
国立台湾大学 人文社会高等研究院 院長
台湾
7月9日
青木館長表敬訪問

アンナ・コヴァレツ Anna Kovalets
ロシア国立東洋美術館 副館長
ロシア
3月24日
視察

マヌエル・オブレゴン Manuel Obregon
コスタリカ共和国文化大臣
コスタリカ
10月30日
青木館長表敬訪問、視察

ハノ・レッヒャー Hanno Lecher
ハイデルベルク大学 東アジア図書館長
ドイツ
11月13日
JACプロジェクトに関する意見交換

マグダラ・ユリコーバ Magdalena Juříková
ブラハ国立美術館 館長
チェコ共和国
12月2日
青木館長表敬訪問、視察

トマ・シルデ Thomas Sirdey
ジャパンエキスポ 副代表
フランス
1月8日
青木館長表敬訪問、視察

ギ・コジュヴァル Guy Cogeval
オルセー美術館 館長
フランス
1月22日
青木館長表敬訪問、視察

アントアヌ・フレモン Antoine Frémon
FUMAN ART 代表
マレーシア
1月24日
青木館長表敬訪問、視察

リチャード・ゴンブリッチ Richard Gombrich
オックスフォード仏教学研究センター 所長
イギリス
3月18日
青木館長表敬訪問、視察

アーサー・クラインマン Arthur Kleinman
ハーバード大学 教授 アジアセンター長
アメリカ
3月19日
青木館長表敬訪問、視察

クサビエ・グレフ Xavier Greffe
パリ第一大学 (パンテオン・ソルボンヌ大学) 教授
フランス
3月20日
青木館長表敬訪問、視察

アレクサンドル・V・セドフ Alexander V. Sedov
ロシア国立東洋美術館 館長
ロシア
3月24日
視察

平成25年度海外出張 Overseas Visits April 2013-March 2014

氏名：青木保（館長）、中川健太郎（庶務課係長）

国・地域：ブラジル、アルゼンチン、アメリカ

滞在期間：8月7日～23日

目的：ICOMリオデジャネイロ大会及びCIMAM年次総会出席、美術館視察のため

氏名：青木保（館長）、南雄介（副館長兼学芸課長）、長屋光枝（学芸課主任研究員）

国・地域：韓国

滞在期間：11月12日～13日

目的：韓国国立現代美術館ソウル館開館記念式典出席のため

氏名：青木保（館長）

国・地域：インドネシア、シンガポール

滞在期間：11月13日～18日

目的：アジア美術館長会議出席、美術館視察のため

※研究員の海外出張については、「7 調査・研究」に掲載した

9-6 展覧会出品リスト List of Works

カリフォルニア・デザイン 1930-1965 ーモダン・リビングの起源ー 出品リスト

J1
オブコ・カンパニー
(ロサンゼルス、活動期間不明)
アイズ・ガン
1935年頃
アルミニウム、クロムメッキスチール
15.9×27.3×6.4cm
ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵

J2
ガートルード・ナツラー
(オーストリア生、1908-1971年、ロサンゼルスにて活動)
オットー・ナツラー
(オーストリア生、1908-2007年、ロサンゼルスにて活動)
鉢
1958年
陶器
高さ：28.3cm；径：41cm
フォレスト・L・メリル氏蔵

J3
チャールズ・イームズ
(1907-1978年、ロサンゼルスにて活動)
レイ・イームズ
(1912-1988年、ロサンゼルスにて活動)
イームズ・オフィス
(ロサンゼルス、1941-1988年)
エヴァンス・プロダクツ社成型合板部門
(ロサンゼルス、1943-1947年)
象
1945年
成型合板
41.9×78.1×41.3cm
イームズ・コレクションLLC蔵

J4
ラ・ガルド・タケット
(1911-1984年、ロサンゼルスにて活動)
アーキテクチュラル・ボタリー社
(ロサンゼルス、1950-1985年)
ガーデン・スカルプチャー
1955年頃
陶器
トーマス(大)：205.7×35.6×35.6cm
ローレンス家蔵

J5
グレタ・マグヌソン・グロスマン
(スウェーデン生、1906-1999年、ロサンゼルスにて活動)
グレン・オブ・カリフォルニア社
(ロサンゼルス郊外アーケーディア、1948-1992年)
スクリーン
1952年頃
クルミ、スチールワイヤー
152.4×188.9×7.6cm
リチャード・I・レヴィーン家蔵

J6
アーサー・エスベネ・カーペンター
(1920-2006年、マリン郡ポリナスにて活動)
《リブ・チェア》
1968年〔「カリフォルニア・デザイン10」展(バサデナ美術館、1968年)に出品〕
積層クルミ、皮革
134.6×83.8×88.9cm
カリフォルニア・オーケランド博物館蔵

J7
バサデナ美術館
(バサデナ、1922-1974年；現ノートン・サイモン美術館)
ロバート・エリス(デザイナー)
『カリフォルニア・デザイン10』(展覧会カタログ)
1968年
オフセット・リトグラフィー
26×22.2cm
ウェンディ・カブラン氏蔵

J8
『ライフ』誌
1949年4月11日
オフセット・リトグラフィー
35.6×26cm
ロサンゼルス・カウンティ美術館ライブラリー蔵

J9
スペンス・エア・フォトズ
(ロサンゼルス、1918-1971年頃)
ウィルシャー通りとフェアファックス通りの交差点(航空写真、ロサンゼルス)
1922年
アーカイヴ写真(1922年)のエキシビション・プリント
33.3×48.6cm
ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵

J10
スペンス・エア・フォトズ
ウィルシャー通りとフェアファックス通りの交差点(航空写真、ロサンゼルス)
1929年[オリジナル・プリント1930年]
アーカイヴ写真(1929年)のエキシビション・プリント
33.3×49.1cm
ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵

J11
R・M(ルドルフ・マイケル)・シンドラー
(オーストリア生、1887-1953年、ロサンゼルスにて活動)
シェップ邸案(外観)
1934-1935年
鉛筆、色鉛筆、クレヨン、水彩/写真複写紙
83×58.3cm
カリフォルニア大学サンタバーバラ校美術・デザイン・建築博物館蔵

J12
R・M(ルドルフ・マイケル)・シンドラー
シェップ邸(シルヴァー・レイク)のためのアームチェアとオットマン
1934-1938年頃
ゴムの木、ウール張りのクッション(張替)
アームチェア：65.4×85.1×90.2cm
ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵

J13
アート・センター・スクール
(ロサンゼルス、1930年-現在；現アート・センター・カレッジ・オブ・デザイン)
履修要綱
1937年
オフセット・リトグラフィー
21×20cm
協力：アート・センター・カレッジ・オブ・デザイン

J14
マール・アーミテージ
(1893-1975年、ロサンゼルスにて活動)
『とびきりのご馳走：マール・アーミテージの料理本』
1939年
オフセット・リトグラフィー
24.1×20cm
ウェンディ・カブラン氏蔵

J15
アルヴィン・ラストイグ
(1915-1955年、ロサンゼルスにて活動)
ワード・リッチー社(出版)
(南バサデナ、1932年設立)
『ゴースト・イン・ジ・アンダープロウズ』
1940年
凸版印刷
23.2×15.9cm
ロサンゼルス・カウンティ美術館ライブラリー蔵

J16
ウェスタン・リトグラフ社(印刷)
(ロサンゼルス、1906年頃-1985年頃)
《ボンカ》ヴァンダリア・パッキング社(ポーターヴィル)のオレンジ木箱ラベル
1930年代頃
オフセット・リトグラフィー
24.8×27.3cm
ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵

J17
ウェスタン・リトグラフ社(印刷)
《バスポート》R. H. ヴェリティー社(ロナ)のレモン木箱ラベル
1930年代頃
オフセット・リトグラフィー
22.9×31.4cm
ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵

J18
ウェスタン・リトグラフ社(印刷)
ダリオ・デ・ジュリオ(1916-2010年、ロサンゼルスにて活動)
《レッド・サークル》マックデルモント・フルーツ・カンパニー(リヴァーサイド)のオレンジ木箱ラベル
1938年頃
オフセット・リトグラフィー
23.5×26cm
ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵

J19
ルイス・イブセン
(デンマーク生、1873-1947年、ロサンゼルスにて活動)
J・A・パウアー・ボタリー・カンパニー(ケンタッキー、1885-1909年；ロサンゼルス、1909-1962年)
スタッキング保存容器
1932年頃
陶器、木、スチール
高さ：19.1cm；径：14.9cm
ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵

J20
グレン・ルーケンス
(1887-1967年、ロサンゼルスにて活動)
平鉢
1940年頃
陶器
高さ：14.3cm；径：57.8cm
ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵

J21
ダニエル・ゲイル・ターンバル
(1886-1964年、ロサンゼルスにて活動)
ヴァーノン・キルンズ社
(ロサンゼルス、1931-1958年)
コーヒーポット《ウルトラ・カリフォルニア》
1937年頃
陶器
高さ：21.3cm；径：21cm
ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵

J22
ローソン・タイム社
(バサデナ、活動期間不明)
置時計《ゼフェルス》
1938年頃
ブロンズ、真鍮
9.2×20.3×7.9cm
ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵

J23
マーガレット・デ・バッタ
(1903-1964年、サンフランシスコ近郊およびナバにて活動)
カトラリー
1936年頃
銀、銅、ステンレススチール
ナイフ：23.8×2.2×1.3cm
ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵

[凡例]
作品番号
作家名/製造業者名(活動地および活動期間)
作品名
制作年
材質または技法
寸法
所蔵

[凡例](映像)
作品番号
作家名/制作者名
作品名
制作年
時間
クレジット

<p>J24 ハーヴェル・ハミルトン・ハリス (1903-1990年、ロサンゼルスにて活動) マン・レイ (写真家) (1890-1976年) ウェストン・ヘヴンズ邸 (外観、パークレー) 1939-1941年 アーカイヴ写真 (1941年) のエキシビション・プリント 36.8×29.2cm カリフォルニア大学パークレー校環境デザイン・アーカイヴス蔵</p>	<p>J31 ギルバート・エイドリアン (1903-1959年、ロサンゼルスにて活動) エイドリアン社 (ビヴァリーヒルズ、1942-1952年) 女性用ツーピース・スーツ 1945-1947年頃 ウールあや織り ジャケット (センターバック) : 64.1cm; スカート (センターバック) : 66.7cm ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵</p>	<p>J38 チャールズ・イームズ エーロ・サーリネン (フィンランド生、1910-1961年) マリー・エールマン (テキスタイル・デザイナー) (ドイツ生、1904-1982年) ハスケライト・マニュファクチュアリング・コーポレーション (製造) (シカゴ、1917年頃-1957年頃) 椅子 〔クランブルック美術アカデミー (ミシガン) にてデザイン〕 1940年 マホガニー、ウール (張替) 82.6×45.7×55.9cm ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵</p>	<p>J46 マルゲリーテ・ウィルデンハイネ (フランス生、1896-1985年、ソノマ郡ガーンヴィルにて活動) 花瓶 1965年頃 珐瑯 高さ : 24.1cm ; 径 : 19.4cm フォレスト・L・メリル氏蔵</p>
<p>J25 ハーヴェル・ハミルトン・ハリス ウェイン・アンドリュース (写真家) (1913-1987年) ウェストン・ヘヴンズ邸 (リヴィング、パークレー) 1939-1941年 アーカイヴ写真 (1950年頃) のエキシビション・プリント 27.9×35.6cm カリフォルニア大学パークレー校環境デザイン・アーカイヴス蔵</p>	<p>J32 マーギット・フェレギ (1903-1975年、ロサンゼルスにて活動) コール・オブ・カリフォルニア社 (ロサンゼルス、1925年設立) 女性用水着《魅惑のスーツ》 1942年 アセテート・サテン トップス (センターバック) : 20.3cm ; ショーツ (センターバック) : 34.3cm ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵</p>	<p>J39 チャールズ・イームズ レイ・イームズ イームズ・オフィス エヴァンス・プロダクツ社成型合板部門 レグ・スプリント (添え木) 1941-1942年頃 [1942-1945年製造] 成型合板 106.7×15.2×11.4cm ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵</p>	<p>J47 ルディ・ガーンライヒ (オーストリア生、1922-1985年、ロサンゼルスにて活動) 女性用水着 1958年 ウールニット センターバック : 58.4cm ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵</p>
<p>J26 リチャード・ノイトラ (オーストリア生、1892-1970年、ロサンゼルスにて活動) ジュリアス・シュルマン (写真家) (1910-2009年、ロサンゼルスにて活動) フォン・スタンバーク邸 (外観、ロサンゼルス) 1934-1935年 アーカイヴ写真 (1947年) のエキシビション・プリント 40.6×50.8cm ゲッティ・リサーチ・インスティテュート・リサーチ・ライブラリー蔵</p>	<p>J33 フジエ・フジカワ (1919-1991年、ロサンゼルスにて活動) 《悪を見よ、悪を聞け、そしてFBIに通報せよ》 1942年頃 [ハートマウンテン強制収容所 (ワイオミング州) にて制作] グワッシュ/ポスター・ボード 66×45.7cm ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵</p>	<p>J40 チャールズ・イームズ レイ・イームズ イームズ・オフィス エヴァンス・プロダクツ社成型合板部門 ハーマンミラー社 (販売) (ミシガン、1923年-現在) 《DCW (ダイニング・チェア・ウッド)》 1946-1949年 ローズウッド、ゴム、スチール 73.7×49.5×55.9cm ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵</p>	<p>J48 ポール・ラースロー (ハンガリー生、1900-1993年、ビヴァリーヒルズにて活動) マクロック社ショールームのための椅子 1954年頃 ステンレススチール、真鍮、皮革 74.3×50.2×55.9cm ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵</p>
<p>J27 リチャード・ノイトラ ジュリアス・シュルマン (写真家) フォン・スタンバーク邸 (パティオ、ロサンゼルス) 1934-1935年 アーカイヴ写真 (1947年) のエキシビション・プリント 40.6×50.8cm ゲッティ・リサーチ・インスティテュート・リサーチ・ライブラリー蔵</p>	<p>J34 リチャード・ノイトラ チャンネル・ハイツ・ハウジング・プロジェクト (ロサンゼルス) のための椅子 1941-1942年 合板、スチール、プラスチック、布製クッション 74.9×63.5×80cm ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵</p>	<p>J41 チャールズ・イームズ レイ・イームズ イームズ・オフィス ハーマンミラー社 (販売) 《LAR (ロウ・ラウンジ・チェア)》 1948-1950年 [本作品は1951年頃製造] ファイバーグラス、スチール、ゴム 58.4×62.2×63.5cm スーザン&マイケル・リッチ氏蔵</p>	<p>J49 ポール・ラースロー テキスタイル《ポール・ラースロー・ヨーロップ・グループ》 1954年あるいはそれ以前 レーヨン、綿 268×123.5cm ロサンゼルス・モダン・オークションズ蔵</p>
<p>J28 フランク・ロイド・ライト (1867-1959年) エスター・ボーン (写真家) (1902-1987年) ポール & ジーン・ハンナ邸、ブレイルーム (バロアルト) 1937年 アーカイヴ写真 (1938年頃) のエキシビション・プリント 24.1×34.3cm ゲッティ・リサーチ・インスティテュート蔵</p>	<p>J35 リチャード・ノイトラ ジュリアス・シュルマン (写真家) チャンネル・ハイツ・ハウジング・プロジェクト (内観、ロサンゼルス) 1941-1942年 アーカイヴ写真 (1941年頃) のエキシビション・プリント 27.9×35.6cm ゲッティ・リサーチ・インスティテュート・リサーチ・ライブラリー蔵</p>	<p>J42 ハーバート・マター (スイス生、1907-1984年、スイス、ロサンゼルス、ニューヨークにて活動) 『アーツ & アーキテクチャー』 1945年2月 オフセット・リトグラフィー 31.8×24.1cm ジェラード・オブライアン氏蔵</p>	<p>J50 ヴィクター・リース (1907年ドイツ生、サンフランシスコ・ベイエリアにて活動) 燭台 1957年頃 銀、木 35.6×35.9×11.4cm フォレスト・L・メリル氏蔵</p>
<p>J29 ケム (カール・エマニュエル・マーティン)・ウェーバー (ドイツ生、1889-1963年、ロサンゼルスにて活動) 机、椅子 1938年頃 [サンフランシスコ万国博覧会 (1939年) に出品] サテンウッド、ブリマヴェラ、クロム、アルミニウム、樹脂、皮革 (張替) 机 : 76.8×152.4×76.2cm ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵</p>	<p>J36 リチャード・ノイトラ ジュリアス・シュルマン (写真家) チャンネル・ハイツ・ハウジング・プロジェクト (外観、ロサンゼルス) 1941-1942年 アーカイヴ写真 (1950年頃) のエキシビション・プリント 27.9×35.6cm ゲッティ・リサーチ・インスティテュート・リサーチ・ライブラリー蔵</p>	<p>J43 ハーバート・マター 『アーツ & アーキテクチャー』 1946年9月 オフセット・リトグラフィー 31.8×24.1cm ロサンゼルス・モダン・オークションズおよびジェラード・オブライアン氏蔵</p>	<p>J51 ローラ・アンドレソン (1902-1999年、ロサンゼルスにて活動) 鉢 1940年 陶器 高さ : 22.5cm ; 径 : 26cm フォレスト・L・メリル氏蔵</p>
<p>J30 アルヴィン・ラスティグ 『退役軍人のための家』 1942年 オフセット・リトグラフィー 34.6×25.7cm ロチェスター・インスティテュート・オブ・テクノロジー蔵</p>	<p>J37 ルーサー・コノヴァー (1913-1993年、サンフランシスコ・ベイエリアにて活動) 椅子 1950年頃 マホガニー、鉄 78.4×53.3×48.9cm ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵</p>	<p>J44 ハーバート・マター 『アーツ & アーキテクチャー』 1946年12月 オフセット・リトグラフィー 31.8×24.1cm ジェラード・オブライアン氏蔵</p>	<p>J52 バーバラ・ウィリス (1917-2011年、ロサンゼルスにて活動) バーバラ・ウィリス・ボタリー社 (ロサンゼルス、1942-1958年頃) 枕型花器 1945年頃 陶器 花器 (大) : 18.4×16.2×5.7cm ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵</p>
<p>J30 アルヴィン・ラスティグ 『退役軍人のための家』 1942年 オフセット・リトグラフィー 34.6×25.7cm ロチェスター・インスティテュート・オブ・テクノロジー蔵</p>	<p>J37 ルーサー・コノヴァー (1913-1993年、サンフランシスコ・ベイエリアにて活動) 椅子 1950年頃 マホガニー、鉄 78.4×53.3×48.9cm ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵</p>	<p>J45 ガートルード・ナツラー オットー・ナツラー 鉢 1943年 陶器 高さ : 8.8cm ; 径 : 21.5cm ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵</p>	<p>J53 デイヴィッド・クレッセイ (1916年生、ロサンゼルスにて活動) 《レジェンド》 1959年 珐瑯 83.8×45.7×30.5cm ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵</p>
<p>J30 アルヴィン・ラスティグ 『退役軍人のための家』 1942年 オフセット・リトグラフィー 34.6×25.7cm ロチェスター・インスティテュート・オブ・テクノロジー蔵</p>	<p>J37 ルーサー・コノヴァー (1913-1993年、サンフランシスコ・ベイエリアにて活動) 椅子 1950年頃 マホガニー、鉄 78.4×53.3×48.9cm ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵</p>	<p>J45 ガートルード・ナツラー オットー・ナツラー 鉢 1943年 陶器 高さ : 8.8cm ; 径 : 21.5cm ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵</p>	<p>J54 ベアトリス・ウッド (1893-1998年、ロサンゼルスおよびオーハイにて活動) 鉢 1950年頃 陶器 高さ : 15.9cm ; 径 : 17.8cm ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵</p>

<p>J55 ジューン・シュワルツ (1918年生、サンフランシスコ・ベイエリアにて活動) 平鉢 1964年 銅(エナメル仕上げ) 高さ：5.7cm；径23.5cm フォレスト・L・メリル氏蔵</p>	<p>J64 ルース・ラダコヴィッチ (1920-1975年、サンディエゴにて活動) プローチ 1958年 金、レッド・トルマリン 4.3×7.6×1.9cm ジーン・ラダコヴィッチ氏蔵</p>	<p>J73 イーディス・ヒース (1911-2005年、サンフランシスコ・ベイエリアにて活動) ヒース・セラミックス社 (サンフランシスコ・ベイエリア、1946年-現在) フランツ・バーグマン(金工細工師) (オーストリア生、1898-1977年、サンフランシスコにて活動) ティーポット 1949年 炆器、銀 高さ：11.4cm；径：21cm ブライアン&イーディス・ヒース・トラスト蔵</p>	<p>J80 アルヴィン・ラスティグ ニュー・ディレクションズ社(出版) (ニューヨーク、1936年-現在) 『眺めのいい部屋』 1944年頃 オフセット・リトグラフィー 18.4×12.7cm カリフォルニア・デザイン美術館蔵</p>
<p>J56 ジェイド・スノー・ウォン (1922-2006年、サンフランシスコにて活動) ウッドロー("ウッディ")・オン(銅成形) (1916-1985年) アイスパール 1952年 銅(エナメル仕上げ) 高さ：20.3cm；径：19.1cm ジョセフ・F・ウェストハイマー(キャサリン)氏蔵</p>	<p>J65 スヴェトザール・ラダコヴィッチ (ユーゴスラヴィア生、1918-1998年、サンディエゴにて活動) プローチ 1963年 金、アクアマリン 4.3×7×1.9cm ジーン・ラダコヴィッチ氏蔵</p>	<p>J74 イーディス・ヒース ヒース・セラミックス社 ティーポット 1949年頃デザイン、本作品は1960年頃制作 炆器 高さ：11.4cm；径：19.1cm ブライアン&イーディス・ヒース・トラスト蔵</p>	<p>J81 アルヴィン・ラスティグ ニュー・ディレクションズ社(出版) 『果てしなき旅』 1944年頃 オフセット・リトグラフィー 18.4×12.7cm カリフォルニア・デザイン美術館蔵</p>
<p>J57 ジョン・カベル (1922年生、サンフランシスコ・ベイエリアにて活動) 椅子 1958年頃 クルミ、皮革 113.7×85.7×67.3cm ジョン・カベル氏蔵</p>	<p>J66 メリー・レンク (1921-2012年、サンフランシスコにて活動) 髪飾り《たみ折り》 1954年 銀 高さ：5.1cm；径：16.5cm ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵</p>	<p>J75 グレタ・マグヌソン・グロスマン ラルフ・O・スミス・マニュファクチュアリング・カンパニー (ロサンゼルス、1949-1954年頃) ランプ 1949年頃〔1949年頃-1954年製造〕 鉄、アルミニウム 129.5×37.8×31.1cm ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵</p>	<p>J82 アルヴィン・ラスティグ ニュー・ディレクションズ社(出版) 『一握の塵』 1945年 オフセット・リトグラフィー 18.4×12.7cm カリフォルニア・デザイン美術館蔵</p>
<p>J58 サム・マルーフ (1916-2009年、ロサンゼルス近郊クレアモントにて活動) ロッキング・チェア 1997年 サクラ、黒檀 116.8×66.4×81.3cm ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵</p>	<p>J67 ヴィクター・リース ネットレス 1969年頃 金、銀、真珠、赤メノウ 21.6×19.1×1cm カリフォルニア・オークランド博物館蔵</p>	<p>J76 グレタ・マグヌソン・グロスマン ラルフ・O・スミス・マニュファクチュアリング・カンパニー (ロサンゼルス、1949-1954年頃) ランプ 1949年頃〔1949年頃-1954年製造〕 鉄、アルミニウム 129.5×37.8×31.1cm ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵</p>	<p>J83 アルヴィン・ラスティグ ニュー・ディレクションズ社(出版) 『地獄の季節』 1945年 オフセット・リトグラフィー 18.4×12.7cm カリフォルニア・デザイン美術館蔵</p>
<p>J59 マーガレット・デ・パッタ デザインズ・コンテンポラリー社(サンフランシスコおよびナバ、活動期間不明) ピン 1946-1957年頃 銀、水晶 5.1×8.9×1.3cm ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵</p>	<p>J68 バイロン・ウィルソン (1918-1992年、オークランドにて活動) ネットレス 1956年頃 銀、黒檀、象牙 21.6×17.8×3.2cm ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵</p>	<p>J77 マリア・キップ (ドイツ生、1900-1988年、ロサンゼルスにて活動) テキスタイル 1960年頃 綿、リネン、レーヨン 178×60.1cm ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵</p>	<p>J84 ジャック・ワーナー・スタッファカー (1920年生、サンフランシスコにて活動) フランク・スタッファカー(エディター) (1917-1955年、サンフランシスコにて活動) サンフランシスコ美術館(出版) (サンフランシスコ、1935年-現在；現サンフランシスコ近代美術館) 『アート・イン・シネマ』 1947年 凸版印刷 21.6×19.7cm ジャック・W・スタッファカー氏蔵</p>
<p>J60 マーガレット・デ・パッタ デザインズ・コンテンポラリー社 ピン 1955年頃 銀、小石 7×7×1.6cm マーク・マクドナルド氏蔵</p>	<p>J69 ポブ・ウィンストン (1915-2003年、サンフランシスコ・ベイエリアにて活動) ペンダント 1954年頃 銀、金、ガーネット、珊瑚、ラピス・ラズリ、アメジスト、シトリン(黄水晶)、オニクス(縞メノウ)、他半貴石 10.8×12.7cm ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵</p>	<p>J78 ドロシー・ライト・リーブス (1899-1972年、サンフランシスコにて活動) ドロシー・リーブス・デザイン社 (サンフランシスコ、1934-1948年；ニューヨーク、1948-1972年頃) テキスタイル・パネル 1965年頃 アクリル(デュボン社オルロン) 238.8×91.4cm カリフォルニア大学パークレー校フィービ・A・ハースト人類学博物館蔵</p>	<p>J85 フレデリック・A・アッシャー Jr. (1923-2009年、ロサンゼルスにて活動) 『デザイン・グループ』招待状 1947-1948年 インク、水彩／紙 9枚、各：8.3×14cm ロサンゼルス・カウンティ美術館ライブラリー蔵</p>
<p>J61 クレア・ファルケンスティン (1908-1997年、サンフランシスコ・ベイエリアおよびロサンゼルスにて活動) ネットレス 1948年頃 真鍮 30.5×17.1×1.3cm ロングビーチ美術館蔵</p>	<p>J70 ポブ・ストックステイル (1913-2003年、パークレーにて活動) 鉢 1970年頃 ホンデュラス・マホガニー 28.9×57.8cm フォレスト・L・メリル氏蔵</p>	<p>J79 ソール・バス (1920-1996年、ロサンゼルスにて活動) 『コンテンポラリー・デザイナーズ協会：第1回アニヴァール展』(展覧会カタログ) 1950年 オフセット・リトグラフィー 15.2×20.3cm ロサンゼルス・カウンティ美術館ライブラリー蔵</p>	<p>J86 ルイス・ダンズィガー (1923年生、ロサンゼルスにて活動) ロサンゼルス女性広告会「第四回フランス・ホームズ業績賞」 1949年 リトグラフィー 45.7×38.4cm ロチェスター・インスティテュート・オブ・テクノロジー蔵</p>
<p>J62 アーリーン・フィッシュ (1931年生、サンディエゴにて活動) ネットレス《ピーコック・テイル》 1962年 銀、エナメル 22.9×19.1cm ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵</p>	<p>J71 ルバート・ディーズ (1924-2010年、ロサンゼルス近郊クレアモントにて活動) カクテル・ピッチャー 1950年頃 炆器 高さ：23.2cm；径：13cm ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵</p>	<p>J72 ハリソン・マッキントッシュ (1914年生、ロサンゼルス近郊クレアモントにて活動) 蓋物 1961年 炆器 高さ：24.8cm；径：16.5cm フォレスト・L・メリル氏蔵</p>	<p>J87 アルヴィン・ラスティグ トレード・カード 1940年頃 凸版印刷 27.3×20.3cm ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵</p>
<p>J63 ビーター・マキアリーニ (1909-2001年、サンフランシスコにて活動) プローチ 1948年 銀 7.6×10.2×2.2cm ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵</p>			

- J88
レイモンド・ローウィ
(フランス生、1893-1986年)
スチュードベーカー社
(インディアナ、1852-1966年)
《スチュードベーカー アヴァンティ》
1963年
金属(鉄、アルミ他)、FRP(ポディ)、
ガラス、他
178.3×487.9×138cm
トヨタ博物館蔵
- J89
ジョン・エンテンザ(エディター)
(1903-1984年頃、ロサンゼルスにて活動)
ロビン・パーク(レイアウト、タイポグラフィ)
(生没年不明)
『アート&アーキテクチャー』誌 ケース・スタディ・ハウス・プログラムの予告
1945年1月
オフセット・リトグラフィー
32.4×24.1cm
ジェラード・オブライアン氏蔵
- J90
J・R(ジュリアス・ラルフ)・デヴィッドソン
(ドイツ生、1889-1977年、ロサンゼルスにて活動)
〈ケース・スタディ・ハウス #1〉案(鳥瞰図)
1945年
インク・鉛筆・色鉛筆・修正液/トレーシングペーパー
44.8×43.2cm
カリフォルニア大学サンタバーバラ校美術・デザイン・建築博物館蔵
- J91
チャールズ・イームズ
レイ・イームズ
ジュリアス・シュルマン(写真家)
イームズ・ハウス(ケース・スタディ・ハウス #8) 外観(ロサンゼルス)
1945-1949年
アーカイヴ写真(1949年)のエキシビション・プリント
20.3×25.4cm
ゲッティ・リサーチ・インスティテュート・リサーチ・ライブラリー蔵
- J92
チャールズ・イームズ
レイ・イームズ
ジュリアス・シュルマン(写真家)
イームズ邸(ケース・スタディ・ハウス #8) 内観(ロサンゼルス)
1945-1949年
アーカイヴ写真(1958年)のエキシビション・プリント
25.4×20.3cm
ゲッティ・リサーチ・インスティテュート・リサーチ・ライブラリー蔵
- J93
ウィリアム・ウィルソン・ウースター
(1895-1973年、サンフランシスコにて活動)
テオドル・C・ベルナルディ
(ユゴスラヴィア生、1903-1990年、サンフランシスコにて活動)
ウースター&ベルナルディ社
(サンフランシスコ、1945年-現在)
〈ケース・スタディ・ハウス #3〉(ロサンゼルス)
1945-1949年
ジャプタイプ(焼付け)
66×106.7cm
カリフォルニア大学バークレー校環境デザイン・アーカイヴス蔵
- J94
バーカー・ブラザーズ社
(ロサンゼルス、1880-1991年)
『サンセット・ヒルズ』(冊子)
1950年代
リトグラフィー
27.3×21.3cm
ヴィクトリア・デイリー&スティーヴ・ターナー氏蔵
- J95
ギャレット・エクボ(景観設計家)
(1910-2000年、サンフランシスコ・ベイエリアおよびロサンゼルスにて活動)
ジョン・ファンク(建築家)(1908-1993年)
ジョセフ・アレン・ステイン(建築家)(1912-2001年)
エクボ・ロイストン&ウィリアムズ社
(サンフランシスコおよびロサンゼルス、1945-1958年)
建設地図面 ラデラ・ベニンシュラ・ハウジング・アソシエーション(一部実現)
1947年
フォトスタット・プリント
シート:61×40.6cm
カリフォルニア大学バークレー校環境デザイン・アーカイヴス蔵
- J96
宅地開発のための販売冊子『注文住宅』
1950年代
リトグラフィー
10.2×16.2cm
ヴィクトリア・デイリー&スティーヴ・ターナー氏蔵
- J97
宅地開発のための販売冊子『モンテレー・ヒルズ』
1950年代
リトグラフィー
20×20.3cm
ヴィクトリア・デイリー&スティーヴ・ターナー氏蔵
- J98
宅地開発のための販売冊子『ヴァレーウッド』
1950年代
リトグラフィー
21.9×15.2cm
ヴィクトリア・デイリー&スティーヴ・ターナー氏蔵
- J99
宅地開発のための販売冊子『レイクウッド』
1950年代
リトグラフィー
11.7×20cm
ヴィクトリア・デイリー&スティーヴ・ターナー氏蔵
- J100
グレゴリー・エイン
(1908-1988年、ロサンゼルスにて活動)
アヴェネル・ハウジング・アソシエイツ
のためのプロジェクト
(通りからの景観、透視図、ロサンゼルス)
1946年
鉛筆/トレーシングペーパー
29.2×39.7cm
カリフォルニア大学サンタバーバラ校美術・デザイン・建築博物館蔵
- J101
クリフ・メイ(建築家)
(1908-1989年、ロサンゼルスにて活動)
フランク・W・ジェイミソン(製図工)
(1898-1986年、ロサンゼルスにて活動)
ウィリアム・リアー邸案(完成予想図)
1956年
グアッシュ、鉛筆/板
45.7×58.4cm
カリフォルニア大学サンタバーバラ校美術・デザイン・建築博物館蔵
- J102
ウォレス・ネフ
(1895-1982年、ロサンゼルスにて活動)
メイナード・L・バーカー
(1901-1976年、ロサンゼルスにて活動)
エアフォーム・ハウス
1934-1959年デザイン、1970年頃まで建設
20世紀中頃のネガからのエキシビション・プリント
額寸:27.9×35.6cm
ハンティントン・ライブラリー蔵
- J103
ウォレス・ネフ
撮影者不詳
エアフォーム・ハウス
1934-1959年デザイン、1970年頃まで建設
20世紀中頃のネガからのエキシビション・プリント
額寸:22.9×35.6cm
ハンティントン・ライブラリー蔵
- J104
ウォレス・ネフ
撮影者不詳
エアフォーム・ハウス
1934-1959年デザイン、1970年頃まで建設
20世紀中頃のネガからのエキシビション・プリント
額寸:30.5×30.5cm
ハンティントン・ライブラリー蔵
- J105
A・クインシー・ジョーンズ(建築家)
フレデリック・E・エモンズ(建築家)
J・L・アイクラー・アソシエイツ社(宅地開発業者)(パロアルト、1948-1968年)
《図面1.4》(外観透視図および平面図)
1966年頃
プリント
111.8×58.4cm
カリフォルニア大学バークレー校環境デザイン・アーカイヴス蔵
- J106
ケンジ・フジタ
(1921-2012年、ロサンゼルスにて活動)
香辛料容器
1960年頃
磁器
31.1×13.7×6.7cm
ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵
- J107
ジェイムス・ロヴェラ
(1920年生、サンノゼにて活動)
鉢
1953年
陶器
高さ:19.1cm;径:21.3cm
フォレスト・L・メリル氏蔵
- J108
マートン・パーキス
(カナダ生、1912-1978年、オレンジ郡フラートンにて活動)
皿
1950年頃
陶器
径:22.2cm
ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵
- J109
ラ・ガルド・タケット
シュミット・クレリナー社シュミット
国際部門(ポストン、活動期間不明)
コーヒーポット《フォルマ》
1959年頃(日本にて制作)
磁器(ホワイトウェア)
29.5×18.4×8.8cm
ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵
- J110
マイロ・ポフマン
(1923-2003年、ロサンゼルスにて活動)
グレン・オブ・カリフォルニア社
カクテル・テーブル
1950年頃
木、ガラス、メゾナイト、アルミニウム、ステンレススチール
35.6×121.9×76.2cm
ジル・グレイ氏蔵
- J111
A・クインシー・ジョーンズ
(1913-1979年、ロサンゼルスにて活動)
フレデリック・E・エモンズ
(1907-1999年、ロサンゼルスにて活動)
ロバート&グレイス・スペンサー邸のソファ、テーブル(ビヴァリーヒルズ)
1961-1964年
木、コルクの化粧板、クッション
ソファ(大):76.2×315×81.3cm;
ソファ(小):76.2×132.1×81.3cm;
テーブル:47×81.3×81.3cm
ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵
- J112
エリザベス・マコード
(1914-2008年、ロサンゼルス近郊にて活動)
《ビッグ・ピンク》
1951年[「シックス・ボータブル・ミューラルズ」展(ロサンゼルス美術協会、1951年)および「アメリカの現代絵画展」(ロサンゼルス・カウンティ博物館、1951年)に出品]
カゼイン、蠟/メゾナイト
81×122.2cm
ロングビーチ美術館蔵
- J113
チャールズ・イームズ
レイ・イームズ
イームズ・オフィス
ハーマンミラー社(販売)
ラウンジ・チェア、オットマン
1956年
ローズウッド、皮革、アルミニウム、スチール、ゴム
椅子:86.4×86.4×91.4cm
ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵
- J114
ダン・ジョンソン
(1918-1979年、ロサンゼルスにて活動)
ダン・ジョンソン・スタジオ(カリフォルニア州ローマ、1959年頃)
アーチ・インダストリーズ社(販売)(ロサンゼルス、活動期間不明)
ラウンジ・チェア《ガゼル》
1959年頃
ブロンズ、籐
69.9×53.3×66cm
ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵
- J115
ダン・ジョンソン
ヘイデン・ホール社(ロサンゼルス近郊アルハンブラ、活動期間不明)
机
1947年
カエデ、オーク
76.8×137.2×61cm
ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵
- J116
ウィリアム・“ビリー”・ヘインズ
(1900-1973年、ビヴァリーヒルズにて活動)
ウィリアム・ヘインズ社 会議室用椅子
1954年
クルミ、皮革
83.8×68.6×63.5cm
ピーター・シファンドー氏蔵
- J117
マイケル・モリソン
(1918年生、ビヴァリーヒルズにて活動)
ウィリアム・ヘインズ社(ビヴァリーヒルズ、1945-1985年頃)
シガレット・ホルダー
1950年代
ルサイト、真鍮
高さ:17.1cm;径:8.6cm
ピーター・シファンドー氏蔵

J118
ザハラ・シャツ
(パレスティナ[現イスラエル]生、1916-1999年、パークレー、ニューヨーク、エルサレムにて活動)
ランプ
1949年頃
アクリル、銅、スチール、真鍮、オーク、
ファイバーグラス、紙
43.2×61×22.9cm
ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵

J119
エラマリー・ウーリー
(1913-1976年、サンディエゴにて活動)
ジャクソン・ウーリー
(1910-1992年、サンディエゴにて活動)
平鉢
1953年頃
銅(エナメル仕上げ)
高さ:4.1cm; 径:20.6cm
エナメル・アーツ財団

J120
バーナード・ケスター
(1928年生、ロサンゼルスにて活動)
クロフォード&ストートン社(ロサンゼルス、1962年頃-1964年)
テキスタイル《渚》
1962年頃
254×139.7cm
ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵

J121
アルヴィン・ラスティグ
ラヴァーン・オリジナルズ社(ニューヨーク、1940年代-1964年)
テキスタイル《呪文》
1947年頃
綿
116.8×130.8cm
イレーン・ラスティグ・コーエン氏蔵

J122
ジョン・アルトゥーン
(1925-1969年、ロサンゼルスにて活動)
『チェット・ベイカー・ビッグ・バンド』
1957年
オフセット・リトグラフィー
31.1×31.1cm
ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵

J123
ソール・バス
フランク・シナトラ指揮『色彩の音詩』
1956年
オフセット・リトグラフィー、凸版印刷
31.1×31.1cm
ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵

J124
ベティ・ブレイダー
(1923-1986年、サンフランシスコ・ベイエリアにて活動)
『カル・ジェイダー・クイントット』
1956年
オフセット・リトグラフィー
31.1×31.1cm
ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵

J125
ウィリアム・クラクストン
(1927-2008年、ハリウッドにて活動)
『バド・シャンク&スリー・トロンボーンズ』
1954年
オフセット・リトグラフィー
26×26cm
ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵

J126
ウィリアム・クラクストン
ポーリン・アノン(イラストレーター)
(1922年生)
『ジャズ・カント vol.1』
1958年
オフセット・リトグラフィー
31.1×31.1cm
ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵

J127
ロバート・グイディ
(1922-1977年、ロサンゼルスにて活動)
トライ=アーツ社(デザイン会社)
(ロサンゼルス、1949年設立)
『ライトハウス・アット・ラグナ』
1955年
オフセット・リトグラフィー
31.1×31.1cm
ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵

J128
ロバート・グイディ
トライ=アーツ社(デザイン会社)
『シェリー・マン&ヒズ・フレンズ』
1956年
オフセット・リトグラフィー
31.1×31.1cm
ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵

J129
ロバート・グイディ
トライ=アーツ社(デザイン会社)
『メアリー・ルー・ウィリアムズ』
1953年
オフセット・リトグラフィー
26.5×26.4cm
ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵

J130
デイヴィッド・ストーン・マーティン
(1913-1992年、ロサンゼルスおよびニュー
ヨーク近郊にて活動)
『バード&デイズ』
1952年頃
オフセット・リトグラフィー
25.7×25.7cm
ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵

J131
ウッディー・ウッドワード
(1929-1985年、ハリウッドにて活動)
『ジャズ・クルセイダース ルッキン・ア
ヘッド』
1962年
オフセット・リトグラフィー
31.1×31.1cm
ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵

J132
ポール・ラースロー
《アトム・ヴィル U.S.A.》『ポール・ラ
スロー』(1958年まで出版)より
1950年
オフセット・リトグラフィー
28.6×24.1cm
ロサンゼルス・カウンティ美術館ライ
ブラリー蔵

J133
マーガレット・ブルトン
(1894-1983年、サンフランシスコ・ベイ
エリアにて活動)
モザイク《カウントダウン》
1957年頃
コンクリート、金属、石、ガラス
41.9×29.2cm
ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵

J134
ジョージ・ジェイムス(成形)
(1921-2003年頃、ロサンゼルスにて活動)
メアリー・C・ブラウン(デザイン転写)
(生没年不明)
グラッディング・マクビーン&カンパ
ニー、フランシスカン部門
(ロサンゼルス、1875年-現在)
皿《スターバスト》
1953年
陶器
4.8×38.7×25.1cm
ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵

J135
ギルバート・エイドリアン
エイドリアン社
ツーピース・ドレス(《アトミック50s》
コレクションより)
1950年
レーヨン・クレープ、レーヨン・ファイユ
ドレス(センターバック):94cm;
ボレロ(センターバック):35.6cm
ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵

J136
チャールズ・イームズ
レイ・イームズ
イームズ・オフィス
ティグレット・エンタープライズ社ブレ
イハウス部門
《ハング・イット・オール》
1953年[1953-1961年製造]
エナメル塗装スチール、木
76.2×61×30.5cm
ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵

J137
アレクサンダー(生没年不明)
皿(ジェネラル・ダイナミクス社コン
ヴェア部門のために制作、裏面銘記「天
はすぐそこまで」)
1960年頃
銅(エナメル仕上げ)
径:20cm
ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵

J138
スウォール・スミス
(1904-1988年、サンフランシスコ・ベイ
エリアにて活動)
ゴールデン・エイジ・カンパニー(サンフ
ランシスコ・ベイエリア、活動期間不明)
《ドカン!それとも繁栄!》
1950年
オフセット・リトグラフィー
27.9×50.8×5.1cm
スティーフ・カベラ氏蔵

J139
イーディス・ヒース
ヒース・セラミックス社
食器《クーベ》
1947年
陶器
径:27cm
ビル・スターン氏蔵

J140
フランク・アーウィン
(1922-2002年、ロサンゼルスにて活動)
メトロクス・マニファクチュアリング・
カンパニー、ポビートレイル部門
(ロサンゼルス近郊マンハッタン・ビー
チ、1927-1989年)
蓋付野菜皿、ピッチャー、コップ《カリ
フォルニア・コンテンボラ》
1955年頃
陶器
皿高さ:9.2cm; 径:29.2cm
ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵

J141
ヘンリー・C・ケック
(1921年生、バサデナにて活動)
ケック=クレイグ・アソシエイツ社(バ
サデナ、1951年-現在)
ドリップカット・スターライン社(サン
タバーバラ、活動年不明)
シェーカー(塩、胡椒、砂糖)
1955-1957年頃
ガラス、クロムメッキ金属
高さ:12.1cm; 径:7.6cm
カリフォルニア・デザイン美術館蔵

J142
ポーター・ブランチャード
(1886-1973年、ロサンゼルスにて活動)
ティーポット、クリーマー、砂糖入れ
1965年頃
白磁(シロメ)、黒檀
ティーポット高さ:19.1cm; 径:15.9cm
ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵

J143
ピーター・マキアリーニ
ティーポット、砂糖入れ、クリーマー、ト
レイ
1950年代
銀、木
ティーポット高さ:14.6cm; 径:17.8cm
イームズコレクター・ドットコム蔵

J144
アドルフ・ティシュラー
(1917年生、ロサンゼルスにて活動)
カトラリー《極限》
1960年頃
スチール
20.6×2.2cm
ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵

J145
ジョン・フォーリス
(1923-1944年、バサデナおよびロサンゼ
ルスにて活動)
レックス・グッド
(1925-2000年、バサデナおよびロサンゼ
ルスにて活動)
アメリカン・クレヨン・カンパニー(出版)
(オハイオ、1890-1984年)
『エヴリデイ・アート』
1953年夏
オフセット・リトグラフィー
22.9×15.2cm
ロサンゼルス・カウンティ美術館ライ
ブラリー蔵

J146
チャールズ・イームズ(表紙写真)
アメリカン・クレヨン・カンパニー(出版)
『エヴリデイ・アート』
[表紙:アレクサンダー・ジラルド(デ
ザイナー)邸(ニューメキシコ州サンタ
フェ)]
1954-1955年冬
オフセット・リトグラフィー
22.9×15.2cm
ロサンゼルス・カウンティ美術館ライ
ブラリー蔵

J147
フレデリック・A・アッシュャー・Jr.
アメリカン・クレヨン・カンパニー(出版)
『エヴリデイ・アート』
1956年秋
オフセット・リトグラフィー
22.9×15.2cm
ロサンゼルス・カウンティ美術館ライ
ブラリー蔵

J148
ニコラス・シジャコフ
(ラトヴィア生、1924-1993年、サンフ
ランシスコにて活動)
『ハプーシュカと3人の王様』
1960年
オフセット・リトグラフィー
17.1×18.4cm
ロサンゼルス・カウンティ美術館ライ
ブラリー蔵

- J149
ヘンリー・ドレフュス
(1904-1972年、バサデナにて活動)
ジェームス・M・コナー
(1922年生、バサデナにて活動)
ヘンリー・ドレフュス社(デザイン会社)
(ニューヨーク、1929年-現在;バサデナ、1944-1969年)
ボラロイド社(マサチューセッツ、1937年-現在)
《スウィンガー》
1965年(1965-1970年製造)
ABSプラスチック、ポリ塩化ビニル、酢酪酸セルロース、スチール
11.7×15.2×14.3cm
ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵
- J150
ギア・カヴァナー
(1929年生、ロサンゼルスにて活動)
都市計画玩具(プロトタイプ)
1965年頃[「カリフォルニア・デザイン10」展(バサデナ美術館、1968年)に出品]
塗装された木、カンヴァス
マット(カンヴァス):61×61cm
ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵
- J151
チャールズ・イームズ
レイ・イームズ
イームズ・オフィス
ティグレット・エンタープライズ社(テネシー、1930年代-1961年)
玩具(ハウス・オブ・カード)
1952年(1952-1961年製造)
オフセット・リトグラフィー/厚紙、セロファン
11.4×9.2×5.7cm
ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵
- J152
ロバート・ウォーカー(ゲームデザイナー)(生没年不明)
ウォルター・ランドー(パッケージデザイナー)
(ドイツ生、1913-1995年、サンフランシスコにて活動)
ウォーカー・プロダクツ社(製造)(パークレー、活動期間不明)
《スペース・スパイダー》
1955年
オフセット・リトグラフィー
15.2×15.2×15.2cm
ステイヴ・カベラ氏蔵
- J153
ルース・ハンドラー
(1916-2002年、ロサンゼルスにて活動)
ジョン・W・“ジャック”・ライアン
(1926-1991年、ロサンゼルスにて活動)
シャーロット・ジョンソン(ファッション・デザイナー)
(1917-1997年、ロサンゼルスにて活動)
マテル社(ロサンゼルス近郊、1945年-現在)
人形《パービー・ティーンエイジ・ファッションモデル》(パービー #1)
1959年[ロサンゼルスおよび東京にてデザイン、東京にて製造]
ヴィニル、サラ、ジャージ
29.2×6.7×4.4cm
ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵
- J154
ルース・ハンドラー
ジョン・W・“ジャック”・ライアン
シャーロット・ジョンソン(ファッション・デザイナー)
マテル社
人形《ケン》
1961年(ロサンゼルスおよび東京にてデザイン、東京にて製造)
ヴィニル、布、フロッキング加工
31.8×8.3×4.8cm
ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵
- J155
マテル社
パービーのドリーム・ハウス
1962年頃
オフセット・リトグラフィー/厚紙
34.9×66×83.8cm
個人蔵
- J156
ラ・ガルド・タケット
ジョン・フォーリス(スタンド制作)
(1923-1994年、バサデナおよびロサンゼルスにて活動)
アーキテクチュラル・ボタリー社(ロサンゼルス、1950-1985年)
プランター
1957年頃
陶器、クルミ
高さ:79.4cm;径:45.7cm
ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵
- J157
ウォルター・ラム
(1901-1980年、サンタバーバラにて活動)
ブラウン=ジョーダン・カンパニー
(バサデナ、1945年-現在)
長椅子
1954年頃(ホノルルにてデザイン)
真鍮、ポリ塩化ビニル
87.6×161.3×68.9cm
ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵
- J158
ヘンドリック・ヴァン・ケッペル
(1914-1988年、ピヴァリーヒルズにて活動)
ヴァン・ケッペル=グリーン社(ピヴァリーヒルズ、1939年-1970年代初期)
ラウンジ・チェア、オットマン
1939年頃[本作品は1959年頃制作]
エナメル塗装鋼、綿紐(張替)
椅子:62.2×52.1×83.8cm
ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵
- J159
グレッグ・ノル
(1937年生、ロサンゼルス近郊ハーモサ・ビーチにて活動)
サーフボード
1960年頃
ポリウレタン・フォーム、ファイバークラス・クロス、ポリエステル樹脂、木
289.6×55.9cm
ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵
- J160
ミラー・イー・フォン
(1941年生、ロサンゼルスにて活動)
トロピ=カル社(ロサンゼルス、1936年-現在;フォン・ブラザーズ・カンパニーとして知られる、1936-1954年および1985年-現在)
椅子《ロータス》
1968年[香港にて製造]
籐、錬鉄
83.8×133.4×101.6cm
ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵
- J161
トーマス・ドリヴァー・チャーチ
(1902-1978年、サンフランシスコにて活動)
ローレンス・ハルプリン(景観設計家)
(1916-2009年、サンフランシスコにて活動)
ジョージ・T・ロックライズ(建築家)
(1917-2000年、サンフランシスコ・ベイエリアにて活動)
ドネル・ランチ・プール(ソノマ郡)
1948年
アーカイヴ写真(1948年頃)のエキシビション・プリント
40.6×50.8cm
カリフォルニア大学バークレー校環境デザイン・アーカイヴス蔵
- J162
トーマス・ドリヴァー・チャーチ
ローレンス・ハルプリン(景観設計家)
ジョージ・T・ロックライズ(建築家)
ドネル・ランチ・プール(ソノマ郡)(平面図)
1948年
手彩リトグラフ
30.9×35.8cm
サンドラ・ドネル氏およびジャスティン・ファジオーリ氏蔵
- J163
トーマス・ドリヴァー・チャーチ
ローレンス・ハルプリン(景観設計家)
ジョージ・T・ロックライズ(建築家)
ロンダール・パトリッチ(写真家)(1917年生)
「ハウス・ビューティフル」
1951年4月
オフセット・リトグラフィー
32.4×24.8cm
ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵
- J164
ギャレット・エクボ(景観設計家)
ジュリアス・シュルマン(写真家)
アルコア・フォーキャスト・ガーデン(ロサンゼルス)
1959年
アーカイヴ写真(1959年)のエキシビション・プリント
20.3×15.2cm
ゲッティ・リサーチ・インスティテュート・リサーチ・ライブラリー蔵
- J165
ジョン・ロートナー
(1911-1994年、ロサンゼルスにて活動)
ジュリアス・シュルマン(写真家)
《化学園(レオナルド・J・マリン邸)》(ハリウッド・ヒルズ)
1960年
アーカイヴ写真(1961年)のエキシビション・プリント
15.2×20.3cm
ゲッティ・リサーチ・インスティテュート・リサーチ・ライブラリー蔵
- J166
ルエラ・バレイロー
(1900-1978年、ロサンゼルスにて活動)
ヤンツェン社(オレゴン、1910年-現在)
ブレイスーツ、スカート《ドラムビート》
1947年
綿
ブレイスーツ(センターバック):69.9cm;
スカート(センターバック):70.5cm
ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵
- J167
メアリー・アン・デウィーズ
(1913-1993年、ロサンゼルスにて活動)
デウィーズ・デザインズ社(ロサンゼルス、1951年設立)
女性用水着、スカート
1952年
綿
水着(センターバック):49.5cm
ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵
- J168
メアリー・アン・デウィーズ
デウィーズ・デザインズ社
女性用水着
1961年
スパンテックス
センターバック:35.6cm
ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵
- J169
マーギット・フェレギ
コール・オブ・カリフォルニア社
女性用ブレイスーツ・アンサンブル(アニマル・コレクションより)
1954年
綿
水着(センターバック):31.8cm
ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵
- J170
マーギット・フェレギ
コール・オブ・カリフォルニア社
女性用ブレイスーツ・アンサンブル(アニマル・コレクションより)
1954年
綿
ブラジャー(センターフロント):17.8cm;
パンツ(インシーム):54cm
ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵
- J171
バット・ブレモ
(生没年不明、ロサンゼルスにて活動)
ウェスリー・シンブソン
(1903-1975年、ロサンゼルスにて活動)
ツーピース・ブレイスーツ
1945年頃
綿
ブレイスーツ(センターバック):41.9cm
ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵
- J172
リーバイ・ストラウス&カンパニー
(サンフランシスコ、1853年-現在)
トップス、パンツ
1955年頃
綿
パンツ(インシーム):71.8cm;
トップス(センターバック):8.6cm
リーバイ・ストラウス&カンパニー・アーカイヴス蔵
- J173
リーバイ・ストラウス&カンパニー
男性用シャツ
1950年代
綿、レーヨン、スナップボタン
センターバック:76.2cm
ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵
- J174
リーバイ・ストラウス&カンパニー
《501ジーンズ》
1950年代
綿デニム、銅合金
102.9×84.5cm
リーバイ・ストラウス&カンパニー・アーカイヴス蔵
- J175
ローズ・マリー・リード
(カナダ生、1906-1978年、ロサンゼルスにて活動)
女性用水着
1963年頃
スパンテックス
センターバック:38.7cm
ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵
- J176
アイリーン・ソルターン
(ドイツ生、1911-2005年、ロサンゼルスにて活動)
女性用ドレス
1960年
綿
センターバック:80cm
ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵

<p>J177 アイリーン・ソルターン 女性用ジャケット、パンツ、スカーフ 1960年 綿 ジャケット(センターバック)：55.9cm； パンツ(インシーム)：61cm； スカーフ：77.5×75cm ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵</p>	<p>J186 ジョン・フォーリス ジェームス・リード 『アーツ&アーキテクチャー』 1955年6月 オフセット・リトグラフィー 31.8×24.1cm ヴィクトリア・デイリー氏およびス ティーヴ・ターナー氏蔵</p>	<p>J194 『サンセット』 1936年11月 オフセット・リトグラフィー 29.2×22.2cm ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵</p>	<p>J202 カルロス・ディニーズ(製図工) ラッド&ケルシー・アーキテクト社(建 築会社) 《モナーク・ベイ・ホームズ ラグナ・ニ ゲル》(屋外ダイニングテラス) 1961年 シルクスクリーン 51.1×66cm 協力：ジル・オーティス&エドワード・ セラ・アート+アーキテクチャー</p>
<p>J178 男性用水着、トランク、シャツ(カパー ナ・セット) 1963年頃[カリフォルニア製] 綿 シャツ(センターバック)：76.2cm； トランク(センターバック)：45.7cm ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵</p>	<p>J187 チャールズ・クラットカ 『アーツ&アーキテクチャー』 1956年12月 オフセット・リトグラフィー 32.7×25.1cm ロサンゼルス・モダン・オークションズ蔵</p>	<p>J195 クリフ・メイ(表紙邸宅の建築家) ジュリアス・シュルマン(表紙写真) 『サンセット』 1950年3月 オフセット・リトグラフィー 27.9×21cm ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵</p>	<p>J203 ジョー・ホン (1930-2004年、サンフランシスコにて活動) ジョセフ・マグニン(依頼主) (サンフランシスコ、1913-1969年) ギフト・ボックス《アーチとドーム(ルネ サンス・シリーズ)》 1966年 オフセット・リトグラフィー アーチ：45.7×24.1×12.7cm； ドーム：34.3×27.9×27.9cm エレン・マグニン・ニューマン氏蔵</p>
<p>J179 レイ・イームズ 『アーツ&アーキテクチャー』 1942年4月 オフセット・リトグラフィー 31.8×24.1cm ヴィクトリア・デイリー氏およびス ティーヴ・ターナー氏蔵</p>	<p>J188 チャールズ・クラットカ 『アーツ&アーキテクチャー』 1957年1月 オフセット・リトグラフィー 32.7×25.1cm ヴィクトリア・デイリー氏およびス ティーヴ・ターナー氏蔵</p>	<p>J196 アイクラー・ホームズ社 (サンフランシスコ・ベイエリア、1948- 1968年) 『毎日を休日！アイクラー・ホームズ』 1960年頃 オフセット・リトグラフィー 15.2×20.3cm スティヴ・カベラ氏蔵</p>	<p>J204 ジュリアス・シュルマン(写真家) ビエール・コーニグ(建築家) (1925-2004年、ロサンゼルスにて活動) ベイリ・邸(ケース・スタディ・ハウス #21)内観(ハリウッド・ヒルズ) 1958年 アーカイヴ写真(1958年あるいは1959年) のエキシビジョン・プリント 20.3×15.2cm ゲッティ・リサーチ・インスティテュー ト・リサーチ・ライブラリー蔵</p>
<p>J180 レイ・イームズ 『アーツ&アーキテクチャー』 1943年5月 オフセット・リトグラフィー 31.8×24.1cm ヴィクトリア・デイリー氏およびス ティーヴ・ターナー氏蔵</p>	<p>J189 ジョン・フォーリス 『アーツ&アーキテクチャー』 1957年2月 オフセット・リトグラフィー 31.8×24.1cm ヴィクトリア・デイリー氏およびス ティーヴ・ターナー氏蔵</p>	<p>J197 グレン・オブ・カリフォルニア社 (ロサンゼルス近郊アーケディア、 1948-1992年) セールス・カタログ 1952年頃 オフセット・リトグラフィー 21×27.3cm ロサンゼルス・カウンティ美術館ライ ブラリー蔵</p>	<p>J205 ジュリアス・シュルマン(写真家) ビエール・コーニグ(建築家) スタール邸(ケース・スタディ・ハウス #22)(ハリウッド・ヒルズ) 1959-1960年 アーカイヴ写真(1960年)のエキシビジ ョン・プリント 20.3×15.2cm ゲッティ・リサーチ・インスティテュー ト・リサーチ・ライブラリー蔵</p>
<p>J181 ハーバート・マター 『アーツ&アーキテクチャー』 1945年4月 オフセット・リトグラフィー 31.8×24.1cm ジェラード・オブライアン氏蔵</p>	<p>J190 ジョン・フォーリス 『アーツ&アーキテクチャー』 1962年6月 オフセット・リトグラフィー 31.8×24.1cm ヴィクトリア・デイリー氏およびス ティーヴ・ターナー氏蔵</p>	<p>J198 ヴァン・ケッペル=グリーン社 セールス・カタログ 1957年 オフセット・リトグラフィー 17.8×21.6cm ロサンゼルス・カウンティ美術館ライ ブラリー蔵</p>	<p>J206 マーギット・フェレギ コール・オブ・カリフォルニア社 女性用水着 1950-1951年 ラメ入りラスティック、綿 センターバック：39.4cm ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵</p>
<p>J182 アルヴィン・ラスティグ 『アーツ&アーキテクチャー』 1948年6月 オフセット・リトグラフィー 31.8×24.1cm ヴィクトリア・デイリー氏およびス ティーヴ・ターナー氏蔵</p>	<p>J191 ロバート・ブラウンジョン(表紙デザイン) (1925-1970年、ニューヨークにて活動) イヴァン・チャマイエフ(表紙デザイン) (イギリス生、1932年、ニューヨークにて 活動) コンラッド・ブラウン(エディター)(生 没年不明) 『クラフト・ホライズンズ[カリフォル ニア特集号]』 1956年9/10月 オフセット・リトグラフィー 29.2×20.6cm アメリカン・クラフト・カウンシル・アー カイヴス蔵</p>	<p>J199 モンサント・ケミカル・カンパニー (セントルイス、1901年-現在) 《未来はすぐそこ》[未来のプレスティ ック・ホーム]ディズニースタンドでの展示 (アナハイム) 1960年 オフセット・リトグラフィー 27.9×21.6cm ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵</p>	<p>J207 セドリック・ギボンズ (1890-1960年、ロサンゼルスにて活動) ジョージ・M・スタンレー(彫刻家) (1903-1970年) アカデミー功労賞像 1927-1928年 ブロンズ、金、ベルギー大理石 高さ：30.5cm；径：14cm 映画芸術科学アカデミー蔵</p>
<p>J183 チャールズ・クラットカ (1922-2007年、ロサンゼルスにて活動) 『アーツ&アーキテクチャー』 1952年9月 オフセット・リトグラフィー 31.8×24.1cm ヴィクトリア・デイリー氏およびス ティーヴ・ターナー氏蔵</p>	<p>J192 ジェームス・S・ワード(生没年不明) ジェーン・フィスケ・ミックロック(エ ディター)(生没年不明) 『インダストリアル・デザイン[西海岸の デザイン]』 1957年10月 オフセット・リトグラフィー 30.5×22.9cm ロサンゼルス・カウンティ美術館ライ ブラリー蔵</p>	<p>J200 カルロス・ディニーズ(製図工) (1928-2001年、ロサンゼルスにて活動) キングスワース・ブレイディ&スミス 社(建築会社) (ロングビーチ、1953-1967年) 《フランク・ブラザーズ・ファーニチャー 社(ロングビーチ)》(外観透視図) 1963年 インク/紙 67.3×68.6cm ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵</p>	<p>J208 ゾール・バス オットー・プレミンジャー(プロデュー サー) (ルーマニアあるいはポーランド生、 1906年頃-1986年) 『或る殺人』ポスター 1959年 オフセット・リトグラフィー 104.1×68.6cm 映画芸術科学アカデミー蔵</p>
<p>J184 ジョン・フォーリス ジェームス・リード (生没年不明、ロサンゼルスにて活動) 『アーツ&アーキテクチャー』 1953年4月 オフセット・リトグラフィー 31.8×24.1cm ヴィクトリア・デイリー氏およびス ティーヴ・ターナー氏蔵</p>	<p>J193 A・クインシー・ジョーンズ(建築家) フレデリック・E・エモンズ(建築家) 『ポピュラー・メカニクス(PMカリ フォルニア・ハウス)』 1958年10月 オフセット・リトグラフィー 24.1×16.5cm ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵</p>	<p>J201 カルロス・ディニーズ(製図工) ラッド&ケルシー・アーキテクト社(建 築会社)(パサデナ、1958-1980年) 《モナーク・ベイ・ホームズ ラグナ・ニ ゲル》(プール) 1961年 シルクスクリーン 50.8×66cm 協力：ジル・オルティス&エドワード・ セラ・アート+アーキテクチャー</p>	<p>J209 オフセット・リトグラフィー 104.1×68.6cm 映画芸術科学アカデミー蔵</p>
<p>J185 ジョン・フォーリス ジェームス・リード 『アーツ&アーキテクチャー』 1953年9月 オフセット・リトグラフィー 31.8×24.1cm ロサンゼルス・モダン・オークションズ蔵</p>			

<p>J209 ソール・バス オットー・ブレミンジャー（プロデューサー） 『或る殺人』レターヘッド 1959年 オフセット・リトグラフィー 27.9×21.6cm 映画芸術科学アカデミー蔵</p>	<p>J217 バサデナ美術館（出版） ロバート・エリス（デザイナー） 『カリフォルニア・デザイン8』（展覧会カタログ） 1962年 オフセット・リトグラフィー 25.7×22.2cm ジェラード・オブライアン氏蔵</p>	<p>J224 チャールズ・イームズ レイ・イームズ イームズ・オフィス ハーマンミラー社（ミシガン、1923年-現在） 《ESU（イームズ・ストレージ・ユニット）》 1949年頃〔製造：1950-1955年、〔グッド・デザイン〕展に同形作品出品（ニューヨーク近代美術館、1951年）〕 亜鉛メッキスティール、カバ材の表面にプラスチックでコーティングされた合板、ラッカー塗装されたパーティクル・ボード、ゴム 175.3×119.4×40.6cm ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵</p>	<p>J231 アントニオ・ブリート （スペイン生、1913-1967年、オークランドにて活動） 花瓶 1959年 炆器 高さ：30.8cm；径：18.7cm フォレスト・L・メリル氏蔵</p>
<p>J210 ソール・バス オットー・ブレミンジャー（プロデューサー） 『或る殺人』封筒 1959年 オフセット・リトグラフィー 10.5×24.1cm 映画芸術科学アカデミー蔵</p>	<p>J218 バサデナ美術館（出版） ロバート・エリス（デザイナー） 『カリフォルニア・デザイン9』（展覧会カタログ） 1965年 オフセット・リトグラフィー 26×22.2cm ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵</p>	<p>J225 ジーン・テッパ （1919年生、サンフランシスコにて活動） テッパ＝メイヤー・アソシエイツ社（サンフランシスコ、1950年頃-1955年） 《多目的用折り畳式テーブル》モデル 1953年頃〔「グッド・デザイン」展（ニューヨーク近代美術館、1953年）および「カリフォルニア・デザイン」展（バサデナ美術館、1954年）に製品版出品〕 木、金属 高さ：25.4×55.9×29.8cm ジーン・テッパ氏蔵</p>	<p>J232 ポール・ソルドナー （1921-2011年、ロサンゼルス近郊クレアモントにて活動） 花瓶 1960年代後半 陶器 39.4×30.5×20.3cm ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵</p>
<p>J211 ソール・バス オットー・ブレミンジャー（プロデューサー） 『或る殺人』出演者と制作チームへの試写会チラシと招待状 1959年 オフセット・リトグラフィー 13×17.8cm 映画芸術科学アカデミー蔵</p>	<p>J219 ドイル・レーン （1925-2002年、ロサンゼルスにて活動） 花瓶 1960年頃〔「カリフォルニア・デザイン6」展に類似作品出品〕 炆器 高さ：12.7cm；径：11.4cm ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵</p>	<p>J226 オルガ・リー （1924年生、ロサンゼルスにて活動） ラルフ・O・スミス・マニュファクチャリング・カンパニー ランプ 1952年頃〔製造：1952-1954年頃、〔グッド・デザイン〕展（ニューヨーク近代美術館、1952年）および「カリフォルニア・デザイン」展（バサデナ美術館、1954年）に同形作品出品〕 アルミニウム、鉄 69.9×25.4×30.5cm ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵</p>	<p>J233 ピーター・ヴォーカス （1924-2002年、ロサンゼルスおよびパークレーにて活動） 《壺》 1954-1956年頃 炆器 57.2×40.6×43.2cm ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵</p>
<p>J212 ソール・バス オットー・ブレミンジャー（プロデューサー） 『或る殺人』試写会チラシ 1959年 オフセット・リトグラフィー 31.1×22.9cm 映画芸術科学アカデミー蔵</p>	<p>J220 ドナルド・T・チャドウィック （1936年生、ロサンゼルスにて活動） 椅子 1967年頃〔「カリフォルニア・デザイン10」展に出品（バサデナ美術館、1968年）〕 ファイバーグラス、合成繊維のクッション 76.2×71.1×66.0cm ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵</p>	<p>J227 ルース・アサワ （1926年生、サンフランシスコにて活動） 彫刻《S. 250》 1955年頃〔サンパウロ・ピエンナーレに出品〕 鉄、亜鉛メッキスティールワイヤー 350.5×43.2×43.2cm サンフランシスコ美術館蔵</p>	<p>J234 ピーター・ヴォーカス 《5000フィート》 1958年 炆器 115.6×53.3×33cm ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵</p>
<p>J213 ソール・バス オットー・ブレミンジャー（プロデューサー） 『或る殺人』アルバム・カヴァー 1959年 オフセット・リトグラフィー 31.4×31.4cm ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵</p>	<p>J221 ポール・タトル （1918-2002年、サンタバーバラにて活動） カーソン＝ジョンソン社 （エルモンテ、活動期間不明） 椅子《Z》 1964年頃〔「カリフォルニア・デザイン9」展に出品（バサデナ美術館、1965年）〕 クロムメッキ・スティール、皮革（オリジナル） 71.8×68×81.3cm ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵</p>	<p>J228 ジャック・ワーナー・スタッファカー ポートフォリオ『アルペール・カミュ 反抗的人間：タイポグラフィによる25の黙考』の試刷り 1969年 凸版印刷 35.6×25.4cm ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵</p>	<p>J235 エド・ロスバック （1914-2002年、パークレーにて活動） 《池の波紋》 1970年 ヴィニル 121.9×84.5cm ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵</p>
<p>J214 デボラ・サスマン （1931年生、ロサンゼルス近郊にて活動） ロサンゼルス・カウンティ美術館（出版） 『シックス・モア』（展覧会カタログ） 1963年 オフセット・リトグラフィー 21.6×14cm ロサンゼルス・カウンティ美術館ライブラリー蔵</p>	<p>J222 イヴリン・アッカーマン （1924-2012年、ロサンゼルスにて活動） ジェローム・アッカーマン （1920年生、ロサンゼルスにて活動） ERAインダストリーズ社 （ロサンゼルス、1956年-現在） モザイク《楕円》 1958年頃〔メキシコにて制作、〔カリフォルニア・デザイン4〕展に同形作品出品（バサデナ美術館、1958年）〕 ガラス・モザイク 32.4×153.7×2.5cm ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵</p>	<p>J229 ジャック・ワーナー・スタッファカー 『ジャーナル・オブ・タイポグラフィック・リサーチ』誌 1967年4月 オフセット・リトグラフィー 22.9×14.9cm ジャック・ワーナー・スタッファカー氏蔵</p>	<p>J236 ケイ・セキマチ （1926年生、パークレーにて活動） 《流れI》 1967年 ナイロンモノフィラメント、木製ピース 175.3×33cm フォレスト・L・メリル氏蔵</p>
<p>J215 ルイス・ダンズィガー ロサンゼルス・カウンティ美術館 （ロサンゼルス、1910年-現在） 《ニューヨーク・スクール：第一世代》（ボスター） 1965年 オフセット・リトグラフィー 55.9×43.2cm ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵</p>	<p>J223 ヘンリー・C・ケック ケック＝クレイグ・アソシエイツ社 エレクトリック・エンジニアリング・カンパニー・オブ・カリフォルニア （サンタ・アナ、活動期間不明） ガードレール照明 1963年頃〔「カリフォルニア・デザイン9」展に同形品出品（バサデナ美術館、1965年）〕 ポリカーボネート、ポリエチレン、スティール 33.7×18.7×7.3cm ユードラ・M・ムーア氏蔵</p>	<p>J230 ロバート・アーネソン （1930-1992年、サンフランシスコ・ベイエリアにて活動） 《ノー・デボジット、ノー・リターン》 1961年〔カリフォルニア・ステート・フェア（サクラメント）にて制作〕 陶器 高さ27.3cm；径：12.7cm ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵</p>	<p>J237 シスター・コリタ・ケント （1918-1986年、ロサンゼルスにて活動） 『イエロー・サブマリン』 1967年 シルクスクリーン 62.9×91.4cm ジュリアン・サンズ氏蔵</p>
<p>J216 バサデナ美術館（出版） 『カリフォルニア・デザイン』（展覧会カタログ） 1954年 凸版印刷 14×21.6cm カリフォルニア・オークランド博物館蔵</p>			<p>J238 ジョン・ヴァン・ハマーズヴェルド （1941年生、ロサンゼルスにて活動） ブルース・ブラウン・フィルムズ（プロデューサー） （オレンジ郡デナーポイント、1957年頃-現在） 『終わらない夏』 1963年〔本作品はオレンジ郡にてプリント（1965年）〕 シルクスクリーン 152.4×101.6cm ロサンゼルス・カウンティ美術館蔵</p>

<p>J239 グレゴリー・エイン (建築家) ジョージ・アグロン (建築家) (1913-1985年) ジュリアス・シュルマン (写真家) ダニエル邸リヴィング (ロサンゼルス) 1939-1940年 アーカイヴ写真 (1940年頃) のエキシビション・プリント 額寸: 53.3×43.2cm ゲットィ・リサーチ・インスティテュート・リサーチ・ライブラリー蔵</p>	<p>J245 アイクラー・ホームズ社 アーニー・ブラウン (写真家) アイクラー・ホームズ (ファミリー・ルーム/キッチン) 1953年頃 アーカイヴ写真 (1953年頃) のエキシビション・プリント 額寸: 53.3×43.2cm アイクラー・ネットワーク・アーカイヴス蔵</p>	<p>J252 ウィリアム・ウィルソン・ウースター (建築家) ロジャー・スタートヴァント (写真家) (1903-1982年) サクストン・ポープ邸 #2 アトリウム (サンフランシスコ・ベイエリア) 1940年 アーカイヴ写真 (20世紀中頃) のエキシビション・プリント 額寸: 53.3×43.2cm カリフォルニア大学パークレー校環境デザイン・アーカイヴス蔵</p>	<p>V8 ボラロイド社 『ミート・ザ・スウィングー』 (テレビコマーシャル) 1965年 [1:00] PLR Ecommerce, LLC</p>
<p>J240 バフ・ストラoup & ヘンスマン社 (建築会社) (1955-1961年、後のバフ・ヘンスマン・アンド・アソシエイツ社) ジュリアス・シュルマン (写真家) マーモン邸 レクリエーション・パヴィリオン (アーケディア) 1958年 アーカイヴ写真 (1959年) のエキシビション・プリント 額寸: 53.3×43.2cm ゲットィ・リサーチ・インスティテュート・リサーチ・ライブラリー蔵</p>	<p>J246 グレタ・マグヌソン・グロスマン (建築家) ジュリアス・シュルマン (写真家) グロスマン邸、内装 (ビヴァリーヒルズ) 1949年 アーカイヴ写真 (1949年) のエキシビション・プリント 額寸: 53.3×43.2cm ゲットィ・リサーチ・インスティテュート・リサーチ・ライブラリー蔵</p>	<p>J253 ウォーリー・バイアム (1896-1962年、ロサンゼルスにて活動) エアストリーム・トレイラー・インク (ロサンゼルス、1932-1979年; オハイオ、ジャクソン・セクター、1952年-現在) エアストリーム《パンピ》 1961年 アルミニウム 255×487×206cm 個人蔵</p>	<p>V9 ソール・バス、オットー・ブレミンジャー、デューク・エリントン 『或る殺人』 (タイトル部分) 1959年 [1:30] Courtesy Otto Preminger Films Ltd.</p>
<p>J241 バフ・ストラoup & ヘンスマン社 (建築会社) ジュリアス・シュルマン (写真家) ソール・バス邸 リヴィング/ダイニング (ケース・スタディ・ハウス #20) (アルタデナ) 1957-1958年 アーカイヴ写真 (1958年) のエキシビション・プリント 額寸: 53.3×43.2cm ゲットィ・リサーチ・インスティテュート・リサーチ・ライブラリー蔵</p>	<p>J247 A.クインシー・ジョーンズ (建築家) フレデリック・E・エモンズ (建築家) アイクラー・ホームズ社 アーニー・ブラウン (写真家) X-100ハウス (キッチン/ダイニング) (サンフランシスコ・ベイエリア) 1956年 アーカイヴ写真 (1950年代) のエキシビション・プリント 額寸: 53.3×43.2cm アイクラー・ネットワーク・アーカイヴス蔵</p>	<p>〈映像〉 V1 サンフランシスコ美術館、チャールズ・イームズ 『ストーリー・オヴ・イームズ・チェア』 1953年 [10:33] ©2011 Eames Office, LLC</p>	<p>V10 プレリンジャー・アーカイヴス 『ハリウッド: 世界のファッションの中心』 (ニュース映像) 1940年 [3:13] Courtesy of Warner Bros. Entertainment Inc.</p>
<p>J242 チャールズ・イームズ (建築家) レイ・イームズ (建築家) ポール・フスコ (写真家) (1930年生) イームズ邸 カンヴァーセッション/リラクゼーション・エリア (ケース・スタディ・ハウス #8) (ロサンゼルス) [左からビリー・ワイルダー (映画監督)、オードリー・ワイルダー、レイ・イームズ、チャールズ・イームズ] 1945-1949年 アーカイヴ写真 (1961年) のエキシビション・プリント 額寸: 53.3×43.2cm 米国議会図書館蔵</p>	<p>J248 A.クインシー・ジョーンズ (建築家) フレデリック・E・エモンズ (建築家) ジュリアス・シュルマン (写真家) A・クインシー・ジョーンズ邸 (ロサンゼルス) 1955年 アーカイヴ写真 (1955年) のエキシビション・プリント 額寸: 53.3×43.2cm ゲットィ・リサーチ・インスティテュート・リサーチ・ライブラリー蔵</p>	<p>V2 チャールズ・イームズ、レイ・イームズ 『ファイバークラス・チェア』 1970年 [8:39] ©2012 Eames Office, LLC</p>	<p>V11 サム・マルーフ、ラ・ガルド・タケット、アーキテクチュラル・ボタリー社、マリアン・ムール、カリフォルニア・オークランド博物館 『ビハインド・ザ・デザイン』 1956年頃 [4:19] Courtesy of the Oakland Museum of California, c.1956</p>
<p>J243 チャールズ・イームズ (建築家) エーロ・サーリネン (建築家) ジュリアス・シュルマン (写真家) ジョン・エンテンザ邸 リヴィング (ケース・スタディ・ハウス #9) (ロサンゼルス) 1950年 アーカイヴ写真 (1950年) のエキシビション・プリント 額寸: 53.3×43.2cm ゲットィ・リサーチ・インスティテュート・リサーチ・ライブラリー蔵</p>	<p>J249 ビエール・コーニグ (建築家) ジュリアス・シュルマン (写真家) バイリー邸 (ケース・スタディ・ハウス #21) (ハリウッド・ヒルズ、キッチンからカーポートを望む) 1958年 アーカイヴ写真 (1958年あるいは1959年) のエキシビション・プリント 額寸: 53.3×43.2cm ゲットィ・リサーチ・インスティテュート蔵</p>	<p>V3 ドロシー・ライト・リーブス 『めずらしい職業』 1946年 [2:47] Courtesy of Shields Pictures, Inc.</p>	<p>V12 ルイス・ダンズィガー、ロサンゼルス・カウンティ美術館、アレクサ・オーナ・シュルツ 『ルイス・ダンズィガー』 (インタヴュー) 2011年 [3:31] Courtesy of Los Angeles County Museum of Art</p>
<p>J244 アイクラー・ホームズ社 アーニー・ブラウン (写真家) (1921-2010年) アイクラー・ホームズ (アトリウム) 1955年頃 アーカイヴ写真 (1955年頃) のエキシビション・プリント 額寸: 53.3×43.2cm アイクラー・ネットワーク・アーカイヴス蔵</p>	<p>J250 ビエール・コーニグ (建築家) ジュリアス・シュルマン (写真家) スタール邸キッチン (ケース・スタディ・ハウス #22) (ハリウッド・ヒルズ) 1959-1960年 アーカイヴ写真 (1960年) のエキシビション・プリント 額寸: 53.3×43.2cm ゲットィ・リサーチ・インスティテュート・リサーチ・ライブラリー蔵</p>	<p>V4 スチュードベーカー社 『ボンネヴィル・レコードプレーカー』 (スチュードベーカー・アヴァンティ広報映像) 1963年 [0:57] Courtesy of Studebaker Museum</p>	<p>V13 ジョン・カベル、ロサンゼルス・カウンティ美術館、アレクサ・オーナ・シュルツ 『ジョン・カベル』 (インタヴュー) 2011年 [2:44] Courtesy of Los Angeles County Museum of Art</p>
<p>J251 リチャード・ノイトラ (建築家) ジュリアス・シュルマン (写真家) バイリー邸リヴィング (ケース・スタディ・ハウス #20) (ロサンゼルス) 1947-1948年 アーカイヴ写真 (1948年) のエキシビション・プリント 額寸: 53.3×43.2cm ゲットィ・リサーチ・インスティテュート・リサーチ・ライブラリー蔵</p>	<p>J251 リチャード・ノイトラ (建築家) ジュリアス・シュルマン (写真家) バイリー邸リヴィング (ケース・スタディ・ハウス #20) (ロサンゼルス) 1947-1948年 アーカイヴ写真 (1948年) のエキシビション・プリント 額寸: 53.3×43.2cm ゲットィ・リサーチ・インスティテュート・リサーチ・ライブラリー蔵</p>	<p>V5 ユニヴァーサル・インターナショナル社、A.クインシー・ジョーンズ、フレデリック・エモンズ 『短編ニュース: サンフランシスコ』 (アイクラーX-100) 1956年 [0:47]</p> <p>V6 チャールズ・イームズ、レイ・イームズ 『ハウス: 5年後の記憶』 1955年 [10:44] ©2012 Eames Office, LLC</p>	<p>V14 ギャ・カヴァナー、ロサンゼルス・カウンティ美術館、アレクサ・オーナ・シュルツ 『ギャ・カヴァナー』 (インタヴュー) 2011年 [2:07] Courtesy of Los Angeles County Museum of Art</p>
		<p>V7 マテル社、カーソン/ロバーツ社 『バービー・ルック』 (テレビコマーシャル) 1965年 [0:57] Courtesy of Mattel, Inc.</p>	<p>V15 バーナード・ケスター、ロサンゼルス・カウンティ美術館、アレクサ・オーナ・シュルツ 『バーナード・ケスター』 (インタヴュー) 2011年 [1:58] Courtesy of Los Angeles County Museum of Art</p>
			<p>V16 ハリソン・マッキントッシュ、ロサンゼルス・カウンティ美術館、アレクサ・オーナ・シュルツ 『ハリソン・マッキントッシュ』 (インタヴュー) 2011年 [2:20] Courtesy of Los Angeles County Museum of Art</p>

V17

メリー・レンク、ロサンゼルス・カウン
ティ美術館、アレクサ・オーナ・シュルツ
『メリー・レンク』(インタヴュー)

2011年

[2:21]

Courtesy of Los Angeles County
Museum of Art

V18

ジューン・シュワルツ、ロサンゼルス・
カウンティ美術館、アレクサ・オーナ・
シュルツ

『ジューン・シュワルツ』(インタヴュー)

2011年

[2:18]

Courtesy of Los Angeles County
Museum of Art

V19

ケイ・セキマチ、ロサンゼルス・カウ
ンティ美術館、アレクサ・オーナ・シュルツ
『ケイ・セキマチ』(インタヴュー)

2011年

[2:11]

Courtesy of Los Angeles County
Museum of Art

V20

ジャック・スタッファカー、ロサンゼル
ス・カウンティ美術館、アレクサ・オーナ・
シュルツ

『ジャック・スタッファカー』(インタ
ヴュー)

2011年

[2:00]

Courtesy of Los Angeles County
Museum of Art

V21

デボラ・サスマン、ロサンゼルス・カウ
ンティ美術館、アレクサ・オーナ・シュ
ルツ

『デボラ・サスマン』(インタヴュー)

2011年

[3:07]

Courtesy of Los Angeles County
Museum of Art

V22

ジーン・テッバー、ロサンゼルス・カウ
ンティ美術館、アレクサ・オーナ・シュ
ルツ

『ジーン・テッバー』(インタヴュー)

2011年

[2:14]

Courtesy of Los Angeles County
Museum of Art

フランス国立クリュニー中世
美術館所蔵
「貴婦人と一角獣」展
出品リスト

A-F《貴婦人と一角獣》

A
《触覚》
下絵：パリ
製織：南ネーデルラント、北フランス、
もしくはパリ
1500年頃
羊毛、絹
高さ369-373cm、幅352-358cm
Inv. Cl. 10835

B
《味覚》
下絵：パリ
製織：南ネーデルラント、北フランス、
もしくはパリ
1500年頃
羊毛、絹
高さ374-377cm、幅458-466cm
Inv. Cl. 10831

C
《嗅覚》
下絵：パリ
製織：南ネーデルラント、北フランス、
もしくはパリ
1500年頃
羊毛、絹
高さ367-368cm、幅318-322cm
Inv. Cl. 10832

D
《聴覚》
下絵：パリ
製織：南ネーデルラント、北フランス、
もしくはパリ
1500年頃
羊毛、絹
高さ368-369cm、幅290cm
Inv. Cl. 10833

E
《視覚》
下絵：パリ
製織：南ネーデルラント、北フランス、
もしくはパリ
1500年頃
羊毛、絹
高さ311-312cm、幅330cm
Inv. Cl. 10836

F
《我が唯一の望み》
下絵：パリ
製織：南ネーデルラント、北フランス、
もしくはパリ
1500年頃
羊毛、絹
高さ376-377cm、幅463-473cm
Inv. Cl. 10834

1
《一角獣の形をした手洗い用水差し》
ニュルンバルク
1400年頃
蠟型法によって鑄造されたブロンズ、
彫金装飾
28.5×31×16.5cm
Inv. Cl. 2136

2
《婚約用あるいは結婚用の小箱》
ゲルマン系諸国あるいはスイス
15世紀末あるいは16世紀初頭
木
7.4×13.6×7.7cm
Inv. MR R 83

3
《ローマ使用式の時祷書》
パリ、書籍商ジル・ルマクルのために
ティエルマン・ケルヴェールが印刷
1500年
犢皮紙〔死産した子牛の皮から作られた羊
皮紙よりも薄い紙〕に印刷、インク、金、革
17×12cm
Inv. Cl. 23841

4
《クロバの妻マリア》
ブルターニュ
1430年頃
着色ガラス、グリザイユ、鉛
39×26cm
Inv. Cl. 9554

5
《聖女カタリナ》
フランス
15世紀第4四半期
透明ガラス、グリザイユ、銀黄、鉛
直径11.5cm
Inv. Cl. 23661

6
《ヘロデヤを非難する洗礼者聖ヨハネ》
南ネーデルラント
1510-1520年頃
透明ガラス、グリザイユ、銀黄
直径23cm
Inv. Cl. 23651

7
《ウサギのいる聖母子》
ライン川流域
1510年頃
ハンス・ヴェヒトリンによる手本に基づく
透明ガラス、グリザイユ、銀黄、鉛
27×18.4cm
Inv. Cl. 14146

8
《サムソンとデリラ》
南ネーデルラント(?)
1520年頃
ルーカス・ファン・レイデンによる手本
に基づく
透明ガラス、グリザイユ、銀黄、鉛
直径20.5cm
Inv. Cl. 23659

9
《祭壇衝立の浮彫り：十字架の下でひざ
まずくマгдаラのマリア》
ネーデルラント(アントウエルベン?)
1520年頃
木(樅?)、彩色の痕跡
31×26cm
Inv. Cl. 15392

10
《聖女バルバラ》
メヘレン
1515-1520年頃
木、彩色
31×3×6cm
Inv. Cl. 15367

11
《祭壇衝立の浮彫り(?)：ひざまずくマ
гдаラのマリア》
シャンパーニュ地方(トロワ?)
1525-1530年頃
大理石、彩色の痕跡
45×33×12cm
Inv. Cl. 19382

12
《聖女バルバラ》
マンシュ(ノルマンディー地方)
16世紀第1四半期
石、彩色の痕跡
83×33×17cm
Inv. Cl. 14429

13
《運命の女神たち》
南ネーデルラント
1510-1520年頃
羊毛、絹
194.5×162cm
Inv. Cl. 17009

14
《ダマスク織りの布の断片》
イタリア(フィレンツェ?)
15世紀第3半期
サテン、赤い絹
47×30cm
Inv. Cl. 21546

15
《ダマスク織りの布の断片》
イタリア
15世紀末-16世紀初頭
サテン、青と黄の絹
44.2×59.4cm
Inv. Cl. 3102

16
《上祭服》
ピロード：イタリア(フィレンツェ?)
15世紀後半
図柄の織り込まれたピロード、絹、金糸
金銀欄：フランドル
15世紀末か16世紀初頭
刺繍された布、アップリケ、絹、金糸、銀糸
123×81.5cm
Inv. Cl. 1219

17
《鉄の小箱》
フランスあるいはゲルマン系諸国
15世紀後半-16世紀初頭
鉄を鍛造、透かし彫り
18.5×31×16.5cm
Inv. Cl. 20368

18
《ベルトの断片》
ドイツ
15世紀末
鍍金された銀の細線細工によるアップリ
ケ：暗青色のエマイユが施された小板；
小箱形の5点のアップリケ；Gの文字のつ
いた円錐形の6点のアップリケ
全長49.8cm、幅2.9cm；長方形のアップ
リケ(8×4×2cm)；円錐形のアップリケ
(2.5-2.8×2.5cm)
Inv. Cl. 17696

19
《ベルト》
ライン川上流域(バーゼル?)
1520-1530年頃
留め金、留め金板、垂れ飾り、鑄造・透か
し模様・彫金細工・鍍金による銀の57点
のアップリケ；19世紀前半の部分として、
宝石類と織物の台布(鍍金された銀糸で
織られた布地の上に赤いピロード)
全長145cm、幅2.2cm；垂れ飾り23.5×
3.5cm；留め金と留め金板13×6.2cm；
アップリケ1.7-2×1.9-2.1cm
Inv. Cl. 1835

20
《衣服の留め飾り》
北イタリア(ポローニャ?ミラノ?フェ
ラーラ?)
15世紀第4四半期
彫金細工、彫刻、打出し細工、鍍金された
銅；ニエロ象眼細工による銀のメダイオン
直径3.5cm、幅3.6cm、厚さ0.2cm(各)
Inv. Cl. 17698 a and b

21
《ペンダント》
北イタリア(ミラノ?ヴェネツィア?)
15世紀末
彫刻され、鍍金された銅；ニエロ象眼細
工による銀のメダイオン
直径2.5cm、長さ3.5cm、厚さ1.2cm
Inv. Cl. 17699

[凡例]
作品番号
作品名
制作地
制作年
素材・技法等
寸法
所蔵番号

- 22
《原石のままの先端を残したダイヤモンドの指輪》
15世紀
金、ダイヤモンド
高さ1.8cm、直径1.7cm
Inv. Cl. 13400 b
- 23
《指輪》
フランス
15世紀
金
直径1.8cm、厚さ0.1cm
Inv. Cl. 14939
- 24
《印章付き指輪》
イタリア
1400年頃
金
高さ2.4cm、直径2.51cm
Inv. Cl. 7902
- 25
《印章付き指輪》
フランス
15世紀
鍍金された銀
高さ2.4cm、直径2.3cm、厚さ1.6cm
Inv. Cl. 2886
- 26
《印章付き指輪》
15世紀
鍍金された銅合金
高さ2.8cm、直径2.1cm
Inv. Cl. 17705
- 27
《組み合わせ文字(F.I.)の入った円形を含む楕形紋章》
フランス
15、16世紀(?), 19世紀に手直し
着色ガラス、グリザイユ、銀黄、鉛
24×17cm
Inv. Cl. 23701
- 28
《王の紋章の入ったメダイヨン》
フランス
16世紀第1四半期
着色ガラス、グリザイユ、銀黄、鉛
32×28cm
Inv. Cl. 14664
- 29
《ラ・マルク伯の紋章の入ったメダイヨン》
フランス
16世紀第1四半期、19世紀
着色ガラス、グリザイユ、銀黄、鉛
直径28cm
Inv. Cl. 14659
- 30
《水差し》
マニセス
15世紀第3四半期
金のラスター釉による陶器(ファイアンス)
高さ29cm、直径16cm
Inv. Cl. 2669
- 31
《皿》
マニセス
16世紀第1四半期
赤銅色のラスター釉による陶器(ファイアンス)
高さ6.9cm、直径46.6cm
Inv. Cl. 1597
- 32
《ロベルテ家の一員の紋章と標章の入ったタビスリー》
15世紀末、あるいは16世紀初頭
羊毛
176×161cm
Inv. Cl. 22613
- 33
連作タビスリー《聖母の生涯》より：
「受胎告知」、「聖母マリアのエリザベト訪問」、「聖母マリアを啓めるヨセフ」
下絵：パリ
1490-1500年頃
羊毛、絹
138×348cm
Inv. Cl. 22865
- 34
連作タビスリー《領主の生活》より：《恋愛の情景》
ネーデルラント
1500-1520年頃
羊毛、絹
282×372cm (タビスリーの下部が切断、おそらく左側上部も切断)
Inv. Cl. 2179
- 35
《放蕩息子の出発》
南ネーデルラント
1510-1520年頃
羊毛、絹
362×668cm
Inv. Cl. 1495
- 36
《算術》
南ネーデルラント
1510-1520年頃
羊毛、絹
315×294cm
Inv. Cl. 2823

アンドレアス・グルスキー展
出品リスト

1. ガスレンジ <i>Gas Cooker</i> 1980 Inkjet Print 98.3×71.3×4.8cm	15. ブラダ I <i>Prada I</i> 1996 Inkjet Print 104×217.2×6.2cm	29. 無題 VII, no.1 <i>Untitled VII, no.1</i> 2000 C-Print 275×177.3×6.2cm
2. クラウゼン峠 <i>Klausen Pass</i> 1984 C-Print 61.5×77×4cm	16. 無題 III <i>Untitled III</i> 1996 Inkjet Print 220×270.1×6.2cm	30. マドンナ I <i>Madonna I</i> 2001 C-Print 307×220.4×6.2cm
3. チューリヒ I <i>Zurich I</i> 1985 Inkjet Print 71.5×71.6×4cm	17. ブラダ II <i>Prada II</i> 1997 C-Print 187×429.4×6.2cm	31. グリーリー <i>Greeley</i> 2002 C-Print 221×284×6.2cm
4. ミュルハイム・アン・デア・ルール、 釣り人 <i>Mülheim, Anglers</i> 1989 C-Print 236×298.5×6.2cm	18. タイムズ・スクエア <i>Times Square</i> 1997 C-Print 43.2×54.1×2.8cm	32. サン・パウロ、セー駅 <i>São Paulo, Sé</i> 2002 C-Print 52.6×43.2×2.8cm
5. ナイアガラの滝 <i>Niagara Falls</i> 1989 C-Print 51.5×43.2×2.8cm	19. 無題 V <i>Untitled V</i> 1997 Inkjet Print 43.2×90.1×2.8cm	33. 無題 VIII <i>Untitled VIII</i> 2002 Inkjet Print 63×46.4×4cm
6. ルール渓谷 <i>Ruhr Valley</i> 1989 C-Print 221.1×303.5×6.2cm	20. 無題 VI <i>Untitled VI</i> 1997 C-Print 236.1×315.2×6.2cm	34. パリ、フランス共産党本部 <i>Paris, PCF</i> 2003 C-Print 293.3×207×6.2cm
7. 東京証券取引所 <i>Tokyo, Stock Exchange</i> 1990 C-Print 205×260×6.2cm	21. ボン、連邦議会 <i>Bonn, Parliament</i> 1998 C-Print 56.7×43.2×2.8cm	35. 福山 <i>Fukuyama</i> 2004 C-Print 305.4×207×6.2cm
8. メットマン、高速道路 <i>Mettmann, Highway</i> 1993 C-Print 43.2×50.8×2.8cm	22. メーデー III <i>May Day III</i> 1998 C-Print 43.2×48.8×2.8cm	36. ニャチャン <i>Nha Trang</i> 2004 C-Print 295.5×207×6.2cm
9. パリ、モンパルナス <i>Paris, Montparnasse</i> 1993 C-Print 187×427.8×6.2cm	23. 99セント <i>99 Cent</i> 1999 C-Print 207×325×6.2cm	37. バーレーン I <i>Bahrain I</i> 2005 C-Print 306×221.5×6.2cm
10. 無題 I <i>Untitled I</i> 1993 C-Print 220×276×6.2cm	24. シカゴ商品取引所 III <i>Chicago Board of Trade III</i> 1999 C-Print 223×307×6.2cm	38. クフ <i>Cheops</i> 2005 C-Print 301.5×207×6.2cm
11. 香港、上海銀行 <i>Hong Kong, Shanghai Bank</i> 1994 C-Print 307.8×237×6.2cm	25. 図書館 <i>Library</i> 1999 C-Print 43.2×69.6×2.8cm	39. メーデー V <i>May Day V</i> 2006 C-Print 58.3×43.2×2.8cm
12. スキポール空港 <i>Schiphol</i> 1994 Inkjet Print 61.5×76.4×4cm	26. ライン川 II <i>Rhine II</i> 1999 C-Print 187×346×6.2cm	40. モナコ <i>Monaco</i> 2004 / 2006 C-Print 54.7×43.2×2.8cm
13. ポンピドゥセンター <i>Centre Pompidou</i> 1995 Inkjet Print 51.7×91.6×4cm	27. トイザラス <i>Toys "R" Us</i> 1999 C-Print 207.1×360×6.2cm	41. ベリッツ <i>Beelitz</i> 2007 C-Print 307×219×6.2cm
14. エンガディン地方 I <i>Engadine I</i> 1995 C-Print 207×356×6.2cm	28. 無題 X <i>Untitled X</i> 1999 C-Print 75.4×55.9×4cm	42. 大聖堂 I <i>Cathedral I</i> 2007 C-Print 236×332×6.2cm

[凡例]
作品番号
作品名 | 原題
制作年
技法
寸法 (フレームの寸法)

43.
F1 ビットストップ IV | *F1 Pit Stop IV*
2007
Inkjet Print
186.8×506.5×6.2cm
44.
フランクフルト | *Frankfurt*
2007
C-Print
237×504×6.2cm
45.
ジェームズ・ボンド・アイランド III |
James Bond Island III
2007
C-Print
54.9×43.2×2.8cm
46.
カミオカンデ | *Kamiokande*
2007
C-Print
228.2×367.2×6.2cm
47.
ピョンヤン I | *Pyongyang I*
2007
C-Print
307×215.5×6.2cm
48.
ピョンヤン V | *Pyongyang V*
2007
C-Print
305.4×217.7×6.2cm
49.
ツール・ド・フランス I | *Tour de France I*
2007
C-Print
307×218.9×6.2cm
50.
コクーン II | *Cocoon II*
2008
C-Print
43.2×83.9×2.8cm
51.
ハム、東鉱山 | *Hamm, Bergwerk Ost*
2008
C-Print
307×223.6×6.2cm
52.
無題 XV | *Untitled XV*
2008
C-Print
237×506×6.2cm
53.
南極 | *Antarctic*
2010
C-Print
248×346×6.4cm
54.
北京 | *Beijing*
2010
Inkjet Print
307×213×6.2cm
55.
オーシャン I | *Ocean I*
2010
C-Print
249.4×348.4×6.4cm
56.
オーシャン II | *Ocean II*
2010
C-Print
341.1×249.4×6.4cm
57.
バンコク I | *Bangkok I*
2011
Inkjet Print
307×237×6.2cm
58.
バンコク II | *Bangkok II*
2011
Inkjet Print
307×237×6.2cm
59.
バンコク III | *Bangkok III*
2011
Inkjet Print
307×227×6.2cm
60.
バンコク V | *Bangkok V*
2011
Inkjet Print
307×227×6.2cm
61.
バンコク VI | *Bangkok VI*
2011
Inkjet Print
307×227×6.2cm
62.
バンコク VIII | *Bangkok VIII*
2011
Inkjet Print
307×221×6.2cm
63.
バンコク IX | *Bangkok IX*
2011
Inkjet Print
307×221×6.2cm
64.
V & R | *V&R*
2011
Inkjet Print
104×205.15×6cm
65.
カタール | *Qatar*
2012
Inkjet Print
249×337.3×6.2cm

アメリカン・ポップ・アート展
出品リスト

1. ロバート・ラウシェンバーグ

001
ロバート・ラウシェンバーグ
ブロードキャスト
1959年
コンパイン・ペインティング(油彩、鉛筆、
布地、新聞紙、印刷物、複製印刷物、プラ
スチック製の櫛/カンヴァス、ラジオ3台
を内蔵)
155.0×192.3×17.0cm
inv. no. CR0205

002
ロバート・ラウシェンバーグ
キップアップ
1964年
リトグラフ
105.0×75.6cm
inv. no. CR0683

003
ロバート・ラウシェンバーグ
突破 II
1965年
リトグラフ
123.0×86.2cm
inv. no. CR0687

004
ロバート・ラウシェンバーグ
訪問 I
1965年
リトグラフ
76.2×56.5cm
inv. no. CR0685

005
ロバート・ラウシェンバーグ
芝生
1965年
リトグラフ
88.8×67.0cm
inv. no. CR0689

006
ロバート・ラウシェンバーグ
ナイト・グリッブ
1966年
リトグラフ
80.3×57.2cm
inv. no. CR0690

007
ロバート・ラウシェンバーグ
霧雨
1967年
リトグラフ、空押し
134.5×78.2cm
inv. no. PA092

008
ロバート・ラウシェンバーグ
テスト・ストーン #3(ブースターと7つの
習作)より
1967年
リトグラフ
58.4×78.7cm
inv. no. CR0693

009
ロバート・ラウシェンバーグ
テスト・ストーン #4(ブースターと7つの
習作)より
1967年
リトグラフ
61.0×86.4cm
inv. no. CR0694

010
ロバート・ラウシェンバーグ
テスト・ストーン #7(ブースターと7つの
習作)より
1967年
リトグラフ
83.8×122.0cm
inv. no. CR0696

011
ロバート・ラウシェンバーグ
シェード
1964年
リトグラフ/アクリル板(6枚組)、溝付
きのアルミニウム製枠、電球
38.1×36.8×29.5cm
inv. no. CR0681

012
ロバート・ラウシェンバーグ
リボルバー
1967年
シルクスクリン/アクリル製円盤(5枚
組)、アルミニウム、モーター
198.1×195.6×62.2cm
inv. no. CR0204

013
ロバート・ラウシェンバーグ
パスポート
1967年
シルクスクリン/アクリル製円盤(3枚
組)
53.3×51.0×20.0cm
inv. no. CR0676G

014
ロバート・ラウシェンバーグ
(リール(B+C))のための習作
1967年
シルクスクリン、マイラー、油彩(手彩
色)、プラスチック・テープ/紙
53.8×40.4cm
inv. no. CR0206

015
ロバート・ラウシェンバーグ
筋書き I (リール(B+C))より
1968年
リトグラフ
54.6×42.7cm
inv. no. CR0704

016
ロバート・ラウシェンバーグ
筋書き II (リール(B+C))より
1968年
リトグラフ
55.9×45.7cm
inv. no. CR0703

017
ロバート・ラウシェンバーグ
筋書き III (リール(B+C))より
1968年
リトグラフ
54.7×44.5cm
inv. no. CR0699

018
ロバート・ラウシェンバーグ
ラブ・ゾーン (リール(B+C))より
1968年
リトグラフ
68.3×58.4cm
inv. no. CR0705

019
ロバート・ラウシェンバーグ
フラワー・リ=ラン (リール(B+C))より
1968年
リトグラフ
59.7×47.0cm
inv. no. CR0698A

020
ロバート・ラウシェンバーグ
スチル写真 (リール(B+C))より
1968年
リトグラフ
76.2×55.9cm
inv. no. CR0707

021
ロバート・ラウシェンバーグ
キャンブル
1968年
リトグラフ、空押し
103.7×70.0cm
inv. no. CR0701

022
ロバート・ラウシェンバーグ
ウォーター・ストップ
1968年
リトグラフ、空押し
137.5×81.7cm
inv. no. CR0708

023
ロバート・ラウシェンバーグ
守護者
1968年
リトグラフ、空押し
108.3×76.3cm
inv. no. CR0709

024
ロバート・ラウシェンバーグ
空の儀式 (ストーン・ムーン・シリーズ)
より
1969年
リトグラフ
83.8×58.4cm
inv. no. CR0712

025
ロバート・ラウシェンバーグ
ポスト (ストーン・ムーン・シリーズ)
より
1969年
リトグラフ
86.2×65.8cm
inv. no. CR0713

026
ロバート・ラウシェンバーグ
胞子 (ストーン・ムーン・シリーズ)より
1969年
リトグラフ
86.4×61.5cm
inv. no. CR0714

027
ロバート・ラウシェンバーグ
ヒューズ (ストーン・ムーン・シリーズ)
より
1969年
リトグラフ
96.5×66.0cm
inv. no. CR0718

028
ロバート・ラウシェンバーグ
アースデイ
1970年
リトグラフ、シン・コレ
133.4×95.3cm
inv. no. CR0719

029
ロバート・ラウシェンバーグ
カードバード
1970年代初頭
鑄造した金属、彩色
139.0×83.8×10.2cm
inv. no. CR0203

030
ロバート・ラウシェンバーグ
カードバード II (カードバード・シリ
ーズ)より
1971年
シルクスクリン/厚紙
137.2×85.1cm
inv. no. CR0720

[凡例]
作品番号
作家名
作品名
制作年
技法/材質
寸法
The Ryobi Foundationの所蔵番号

* 作品はThe Ryobi Foundation所蔵
* 版画作品のうち、材質が紙のものについては、
材質の記載を省略

031 ロバート・ラウシェンバーク ミュール〈白霜〉より 1974年 転写技法によるオフセット・リトグラフ ／布 165.1×91.4cm inv. no. CR0727	041 ジャスパー・ジョーンズ 旗 1969年 鉛筆、黒鉛による淡彩／紙 64.1×49.3cm inv. no. CR0113	052 ジャスパー・ジョーンズ 彩色された数字 1969年 リトグラフ、10点組 各96.5×78.0cm inv. no. CR0371	063 ジャスパー・ジョーンズ スクリーン・ピース 1969年 黒鉛／紙 87.6×66.0cm inv. no. CR0114
032 ロバート・ラウシェンバーク ターニャ 1974年 リトグラフ、空押し 57.5×39.8cm inv. no. CR0728	042 ジャスパー・ジョーンズ 2つの旗 1972年 リトグラフ 69.5×82.5cm inv. no. CR0414	053 ジャスパー・ジョーンズ 数字 1974年 黒鉛、黒鉛による淡彩／紙 76.0×57.5cm inv. no. CR0104	064 ジャスパー・ジョーンズ スクリーン・ピース 1972年 シルクスクリーン 104.9×74.9cm inv. no. CR0401
033 ロバート・ラウシェンバーク キル・デヴィル・ヒル 1975年 リトグラフ 左：68.0×101.6cm、右：68.0×102.0cm inv. no. CR0729	043 ジャスパー・ジョーンズ 旗 I 1973年 シルクスクリーン 69.2×89.8cm inv. no. CR0128	054 ジャスパー・ジョーンズ 2個のボールのある絵 I 1962年 リトグラフ 67.3×53.0cm inv. no. CR0008	065 ジャスパー・ジョーンズ おとり 1971年 油彩、金属塗料、真鍮製座金／カンヴァス 104.1×74.9cm inv. no. CR0099
2. ジャスパー・ジョーンズ	044 ジャスパー・ジョーンズ 地図 1965年 木炭、油彩／カンヴァス 111.1×178.4cm inv. no. CR0101	055 ジャスパー・ジョーンズ 2個のボールのある絵 II 1962年 リトグラフ 77.5×57.2cm inv. no. CR0011	066 ジャスパー・ジョーンズ スーベニア (黒) 1972年 リトグラフ 86.4×67.6cm inv. no. CR0408
034 ジャスパー・ジョーンズ 標的 1958年 鉛筆、黒鉛による淡彩／紙 29.5×26.7cm inv. no. CR0110	045 ジャスパー・ジョーンズ 2つの地図 I 1966年 リトグラフ 84.5×67.5cm inv. no. CR0351	056 ジャスパー・ジョーンズ 出足の遅れ II 1962年 リトグラフ 73.5×55.8cm inv. no. CR0347	067 ジャスパー・ジョーンズ 道楽者 1972年 リトグラフ 111.8×73.7cm inv. no. CR0403
035 ジャスパー・ジョーンズ 標的 1960年 リトグラフ 57.3×45.0cm inv. no. CR0001	046 ジャスパー・ジョーンズ 2つの地図 II 1966年 リトグラフ 86.0×67.0cm inv. no. CR0354	057 ジャスパー・ジョーンズ エール缶 1964年 リトグラフ 57.0×45.2cm inv. no. CR0020	068 ジャスパー・ジョーンズ イギリスの電球 1974年 ペン、筆、ゴム印、黒インク／ペラム紙 34.9×55.9cm inv. no. CR0102
036 ジャスパー・ジョーンズ 4つの顔のある標的 1968年 シルクスクリーン 105.0×75.2cm inv. no. CR0055	047 ジャスパー・ジョーンズ 白いアルファベット 1968年 油彩、エンコースティック／カンヴァス 129.2×86.7cm inv. no. CR0100	058 ジャスパー・ジョーンズ 翼 1966年 リトグラフ 101.6×71.1cm inv. no. CR0355	069 ジャスパー・ジョーンズ 地の果て 1977年 インク／プラスチック 92.1×66.4cm inv. no. CR0112
037 ジャスパー・ジョーンズ 標的 1974年 シルクスクリーン 88.6×70.0cm inv. no. CR0426	048 ジャスパー・ジョーンズ 灰色のアルファベット 1968年 リトグラフ 160.0×106.0cm inv. no. CR0369	059 ジャスパー・ジョーンズ 声 1967年 リトグラフ 123.0×81.0cm inv. no. CR0359	070 ジャスパー・ジョーンズ 《無題》(1972年)より4つのパネル 1974年 リトグラフ、空押し、4点組 A：102.6×73.0cm、B：104.0×74.2cm、 C：103.5×73.5cm、D：102.7×72.7cm inv. no. CR0427
038 ジャスパー・ジョーンズ 石膏型のある標的 1980年 エッチング 75.5×56.5cm inv. no. CR0458	049 ジャスパー・ジョーンズ アルファベット (空押し) 1969年 空押し 75.5×94.0cm inv. no. CR0373	060 ジャスパー・ジョーンズ ウォッチマン 1967年 リトグラフ 92.0×61.5cm inv. no. CR0360	071 ジャスパー・ジョーンズ 死体と鏡 1976年 シルクスクリーン 108.3×135.0cm inv. no. CR0169
039 ジャスパー・ジョーンズ 旗 I 1960年 リトグラフ 55.9×76.2cm inv. no. CR0004	050 ジャスパー・ジョーンズ 0-9の重複 1960年 リトグラフ 76.2×55.9cm inv. no. CR0003	061 ジャスパー・ジョーンズ 《壁の作品》のための習作 1969年 黒鉛、筆、黒インク、グレーの淡彩、紙の コラージュ／紙 74.3×93.2cm inv. no. CR0111	072 ジャスパー・ジョーンズ タッチワイフ 1977年 シルクスクリーン 109.9×142.9cm inv. no. CR0443
040 ジャスパー・ジョーンズ 旗 1968年 リトグラフ、ゴム印 86.4×65.0cm inv. no. CR0365	051 ジャスパー・ジョーンズ 0-9 1963年 リトグラフ、10点組 各52.1×40.0cm inv. no. CR0348	062 ジャスパー・ジョーンズ 《エディングスヴィル》より 1969年 黒インク／プラスチック 46.6×68.9cm inv. no. CR0098	073 ジャスパー・ジョーンズ うす雪 1980年 シルクスクリーン 132.1×50.8cm inv. no. CR0464

074 ジャスパー・ジョーンズ うす雪 1980年 シルクスクリーン 133.4×51.4cm inv. no. CR0465	3. ラリー・リヴァーズ/ジム・ダイン 084 ラリー・リヴァーズ ジム・ダインの防風窓 1964年 油彩、紙、厚紙、防風窓 76.2×63.5×7.0cm inv. no. CR0207	093 クレス・オルデンバーグ ドラム・ペダルの習作(背面図) 1967年 鉛筆、筆、墨/紙、板 76.2×55.9cm inv. no. CR0185	100 クレス・オルデンバーグ ネイヴィー・ピア(シカゴ)の突端のための 巨大モニュメントのプラン「消火栓」(マ ケット) 1969年 厚紙、木、石膏、スプレー・エナメルで 彩色、セラックニス 68.5×59.8×29.8cm inv. no. CR0171
075 ジャスパー・ジョーンズ 無題(赤、黄、青のクロスハッチ) 1980年 カラーインク/ベラム紙 9.5×20.6cm inv. no. CR0107	085 ジム・ダイン デイヴィッド・ヘイズのための習作 1962年 水彩、コンテ・クレヨン、歯ブラシ、鉛筆、 紙のコラージュ/褐色の紙 74.9×101.6cm inv. no. CR0069	094 クレス・オルデンバーグ 《ジャイアント・ソフト・ドラム・セット》 のための習作 1967年 水彩、黒鉛/紙、板 76.2×55.9cm inv. no. CR0186	101 クレス・オルデンバーグ 柔らかい消火栓、倒立 1973年 リトグラフ 102.5×79.3cm inv. no. CR0628
076 ジャスパー・ジョーンズ セミ 1981年 シルクスクリーン、6点組 赤:55.8×46.1cm、橙:57.0×46.0cm、 黄:55.9×46.0cm、緑:55.8×46.0cm、 青:55.8×46.0cm、紫:55.7×46.1cm inv. no. CR0511	086 ジム・ダイン ロング・アイランドのスタジオ(大きな カラー・チャート) 1963年 油彩、彩色された木/カンヴァス、4枚組 243.8×505.7cm inv. no. CR0067	095 クレス・オルデンバーグ ソフト・ドラム・セット 1972年 リトグラフ 73.7×101.6cm inv. no. CR0608	102 クレス・オルデンバーグ グラント・パーク(シカゴ)のための実現 可能なモニュメント「ルイス・サリヴァ ン記念碑」(マケット) 1969年 厚紙、釘、スプレー塗装、セラックニス 68.5×59.5×43.0cm inv. no. CR0170
077 ジャスパー・ジョーンズ うす雪 1981年 シルクスクリーン 74.0×119.5cm inv. no. CR0470	4. クレス・オルデンバーグ 087 クレス・オルデンバーグ 女性用ブラウス 1961年 石膏を染み込ませた黄麻布、針金の骨組、 エナメルで彩色 94.0×66.0×24.1cm inv. no. CR0179	096 クレス・オルデンバーグ 「テムズ川のボール」のモデル #4 1967年 石膏、金属製のトイレ用浮球、彩色 41.7 x 12.7 x 10.2cm inv. no. CR0168	103 クレス・オルデンバーグ サワークリームとチャイブを添えたペイ クド・ポテト 1966年 彩色した石膏 12.0×20.0×10.0cm inv. no. CR0675D
078 ジャスパー・ジョーンズ うす雪 1982年 シルクスクリーン 74.9×120.0cm inv. no. CR0227	088 クレス・オルデンバーグ 1時15分に戻ります 1960年代 木、紙、鉛筆、紐 86.0×28.7×6.0cm inv. no. CR0181	097 クレス・オルデンバーグ ねじれた排水管(青) 1967-68年 コーティングした針金、リキテックスで 彩色、板に取り付け 59.7×53.3×5.1cm inv. no. CR0173	104 クレス・オルデンバーグ ペイクド・ポテトの習作 1972年 リトグラフ 37.2×45.1cm inv. no. CR0613
079 ジャスパー・ジョーンズ 無題 1983年 モノタイプ 96.0×246.0cm inv. no. CR0499	089 クレス・オルデンバーグ ソフト・ベースボール・バット 1967年 木、綿布、新聞紙の詰めもの 302.3cm inv. no. CR0167	098 クレス・オルデンバーグ ノート 1968年 ポートフォリオ 各57.6×40.0cm inv. no. CR0587	105 クレス・オルデンバーグ 風景の中の巨大なペイクド・ポテト 1972年 リトグラフ 38.1×44.5cm inv. no. CR0614
080 ジャスパー・ジョーンズ 時計とベッドの間 1988年 水彩/紙 57.7×76.8cm inv. no. CR0103	090 クレス・オルデンバーグ ジャイアント・ソフト・ドラム・セット 1967年 細かく裁断したフォーム・ラバーを詰め たビニールとカンヴァス、塗装した木、 金属、フォーマイカ張りの木製台座、ク ロム金属の手すり 125の部品からなる9個の楽器:213.4× 182.9×121.9cm inv. no. CR0180	098-1 ノート、無題(パンチバッグ) リトグラフ 098-2 ノート、無題(新バサデナ美術 館) リトグラフ 098-3 ノート、無題(アイスクリーム のコーン) リトグラフ、空押し 098-4 ノート、無題(消火栓) リトグラフ、空押し 098-5 ノート、無題(カッセル) リトグラフ、空押し 098-6 ノート、無題(幾何学的なネズ ミ) リトグラフ 098-7 ノート、無題(ひざをつく建 物) リトグラフ、空押し 098-8 ノート、無題(スニーカーの 紐) リトグラフ 098-9 ノート、無題(身体の建物) リトグラフ 098-10 ノート、無題(アルファベット の街) リトグラフ 098-11 ノート、無題(ドラム・セット) リトグラフ 098-12 ノート、無題(タール坑) リトグラフ	106 クレス・オルデンバーグ 片耳のミッキー・マウス=ティー・バッ グ(1965年) 1973年 リトグラフ 30.5×22.9cm inv. no. CR0627
081 ジャスパー・ジョーンズ サヴァリン 1982年 モノタイプ、リトグラフ 126.7×97.0cm inv. no. CR0498	091 クレス・オルデンバーグ ドラム・ペダルの習作(つぶれた様子の 表現) 1967年 黒鉛/紙、板 76.2×55.9cm inv. no. CR0183	099 クレス・オルデンバーグ 銀色のアイスクリームのミュール 1968年 銀色に彩色した石膏と金属 右:27.0×13.0×10.0cm、左:26.0×11.5 ×9.0cm inv. no. CR0169	107 クレス・オルデンバーグ ティー・バッグ 1966年 シルクスクリーン、ビニール、フェルト、 アクリル板、レイヨン紐、真空成型した ビニールの外装 99.1×71.1×8.9cm inv. no. PA087
082 ジャスパー・ジョーンズ 夏 1986年 インク、水彩、鉛筆/紙 64.8×44.5cm inv. no. CR0097	092 クレス・オルデンバーグ ドラム・ペダルの習作(スリンガーラン ド・ドラム・カタログより) 1967年 黒鉛/紙、板 76.2×55.9cm inv. no. CR0184		108 クレス・オルデンバーグ 幾何学的なネズミ、スケールB 1971年 彩色したアルミニウム 132.0×123.0cm inv. no. CR0603
083 ジャスパー・ジョーンズ 無題 1990年 鉛筆、水彩/紙 56.8×45.1cm inv. no. CR0105			

5. 友人としてのアーティストたち

109
アラン・ダーカンジェロ
「アスペン現代美術センター」のポスター
1967年
シルクスクリーン
81.3×61.0cm
inv. no. PA049

110
アラン・ダーカンジェロ
キミコとジョンのための蔵書票
1976年
黒鉛／紙
15.9×10.2cm
inv. no. PA006

111
ロバート・インディアナ
KIMIKOISOKKO
1968年
色鉛筆／紙
34.5×42.5cm
inv. no. CR0094

112
ジャスパー・ジョーンズ
2つのバレンタイン・エール缶
1975年
鉛筆、水彩／紙
21.2×15.4cm
inv. no. CR0108

113
ジャスパー・ジョーンズ
無題(6つのクロスハッチ)
1981年
カラーインク／ベラム紙
25.4×27.9cm
inv. no. CR0106

114
ジャスパー・ジョーンズ
0から9
1988年
グアッシュ、水彩／エッチングの試し刷り
23.5×34.9cm
inv. no. CR0109

115
ジャスパー・ジョーンズ
冬
1989年
リトグラフ
44.0×30.5cm
inv. no. CR0493

116
ジャスパー・ジョーンズ
無題
1995年
メジチント、ドライポイント
75.2×56.7cm
inv. no. CR0505

117
ジャスパー・ジョーンズ
数字 1
1996年
エッチング
45.2×31.6cm
inv. no. CR0503

118
ロイ・リキテンスタイン
「アスペン・ウィンター・ジャズ」のポスター
1967年
シルクスクリーン
101.6×66.0cm
inv. no. PA080

119
ロイ・リキテンスタイン
風景と静物
制作年不詳
色鉛筆、鉛筆／紙
24.1×30.5cm
inv. no. CR0148

120
クレス・オルデンバーグ
洗濯バサミ
1960年代
ペン、筆、黒インク／紙
20.3×15.2cm
inv. no. CR0191

121
クレス・オルデンバーグ
ほえるフォーク
1972年
黒ボールペン／紙
20.3×15.2cm
inv. no. CR0187

122
クレス・オルデンバーグ
蔵書票(クマ=消火栓)
1972年
鉛筆／紙
22.2×15.2cm
inv. no. CR0188

123
クレス・オルデンバーグ
無題(クマ)
制作年不詳
鉛筆／紙
10.2×7.0cm
inv. no. CR0190

124
クレス・オルデンバーグ
コート・ハンガー
制作年不詳
シルクスクリーン
41.9×35.6cm
inv. no. CR0670

125
クレス・オルデンバーグ
バレンタイン
制作年不詳
水彩、タイプ印字／紙
12.7×8.9cm
inv. no. CR0182

126
ジェイムズ・ローゼンクイスト
アスペン・イースター・ジャズ
1967年
オフセット・リトグラフ
63.5×66.0cm
inv. no. CR0757

127
アンディ・ウォーホル
キミコ・パワーズ
1981年
シルクスクリーン
88.9×63.5cm
inv. no. PA307

128
トム・ウェッセルマン
無題(2つの頭部)
1976年
黒鉛／紙
24.1×11.1cm
inv. no. CR0284

6. アンディ・ウォーホル

129
アンディ・ウォーホル
200個のキャンベル・スープ缶
1962年
カゼイン、スプレー・ペイント、鉛筆／綿布
182.9×254.3cm
inv. no. CR0263

130
アンディ・ウォーホル
ケロッグ・コーンフレークの箱
1964年
シルクスクリーン・インク、ペンキ／合板
63.5×43.2×53.3cm
inv. no. CR0245

131
アンディ・ウォーホル
キャンベル・スープ I
1968年
シルクスクリーン、10点組
各88.9×58.4cm
inv. no. CR0800

132
アンディ・ウォーホル
キャンベル・スープ II
1969年
シルクスクリーン、10点組
各88.9×58.4cm
inv. no. CR0801

133
アンディ・ウォーホル
ジャッキー III
1966年
シルクスクリーン
101.6×76.2cm
inv. no. CR0680I

134
アンディ・ウォーホル
キス
1966年
シルクスクリーン／アクリル板
31.0×21.3×12.6cm
inv. no. PA010

135
アンディ・ウォーホル
アーティストたちのポートレイト
1967年
シルクスクリーン／100個のポリスチレン
製の箱
50.8×50.8×1.9cm
inv. no. CR0787

136
アンディ・ウォーホル
マリリン
1967年
シルクスクリーン、10点組
各91.4×91.4cm
inv. no. CR0789

137
アンディ・ウォーホル
花
1970年
シルクスクリーン、10点組
各91.4×91.4cm
inv. no. CR0809

138
アンディ・ウォーホル
電気椅子
1971年
シルクスクリーン、10点組
各90.2×121.9cm
inv. no. CR0811

139
アンディ・ウォーホル
毛沢東
1972年
シルクスクリーン、10点組
各91.4×91.4cm
inv. no. CR0819

140
アンディ・ウォーホル
キミコ・パワーズ
1972年
アクリリック、シルクスクリーン・インク
／麻布、9枚組
304.8×304.8cm
inv. no. CR0244

141
アンディ・ウォーホル
キミコ・パワーズ
1972年
アクリリック、シルクスクリーン・インク
／麻布
101.6×101.6cm

142
アンディ・ウォーホル
キミコ・パワーズ
1972年
アクリリック、シルクスクリーン・インク
／麻布
101.6×101.6cm

143
アンディ・ウォーホル
キミコ・パワーズ
1972年
アクリリック、シルクスクリーン・インク
／麻布
101.6×101.6cm

144
アンディ・ウォーホル
キミコ・パワーズの6つのポートレイト
1973年
アクリリック、シルクスクリーン・インク
／麻布
各101.6×101.6cm
inv. no. CR0243

145
アンディ・ウォーホル
ジョン・パワーズ
1977年
アクリリック、シルクスクリーン・インク
／麻布
101.6×101.6cm
inv. no. CR0240

146
アンディ・ウォーホル
キミコ・パワーズ
1980年
アクリリック、シルクスクリーン・インク
／カンヴァス
101.6×101.6cm
inv. no. CR0241

147
アンディ・ウォーホル
キミコ・パワーズの4つのポートレイト
1983年
アクリリック、シルクスクリーン・インク
／カンヴァス
各101.6×101.6cm
inv. no. CR0242

148
アンディ・ウォーホル
キミコ・パワーズのポートレイト
1983年
黒鉛／紙
79.5×59.7cm
inv. no. CR0264

149 アンディ・ウォーホル 花(手彩色) 1974年 シルクスクリン、手彩色、10点組 各101.6×68.6cm inv. no. CR0822	159 アンディ・ウォーホル 金色の卵 1982年 合成ポリマー絵具、シルクスクリン・ インク／カンヴァス 35.6×27.9cm inv. no. CR0259	168 ロイ・リキテンスタイン 鏡の中の少女 1964年 エナメル／銅板 106.7×106.7cm inv. no. CR0142	178 ロイ・リキテンスタイン キネティック・シースケープ #3 1966年 ロウラックス・フィルム、ビニール、電気 装置 67.3×57.2cm inv. no. CR0144
150 アンディ・ウォーホル 影 1977年 合成ポリマー絵具、シルクスクリン・ インク／カンヴァス 28.5×35.6cm inv. no. CR0261	160 アンディ・ウォーホル 白い卵 1982年 合成ポリマー絵具、シルクスクリン・ インク／カンヴァス 35.6×27.9cm inv. no. CR0260	169 ロイ・リキテンスタイン バーン！ 1964年 オフセット・リトグラフ 48.9×70.2cm inv. no. CR0526	179 ロイ・リキテンスタイン 大聖堂シリーズ 1969年 リトグラフ、6点組 各123.0×82.0cm inv. no. CR0536 179-1 大聖堂 #1 179-2 大聖堂 #2 179-3 大聖堂 #3 179-4 大聖堂 #4 179-5 大聖堂 #5 179-6 大聖堂 #6
151 アンディ・ウォーホル 影 1977年 合成ポリマー絵具、シルクスクリン・ インク／カンヴァス 27.9×35.6cm inv. no. CR0255	161 アンディ・ウォーホル ポインセチア 1982年 合成ポリマー絵具、シルクスクリン・ インク／カンヴァス 27.9×35.6cm inv. no. CR0251	170 ロイ・リキテンスタイン 空想 1965年 シルクスクリン 76.5×60.9cm inv. no. PA005	180 ロイ・リキテンスタイン エキスポ67のための習作 1967年 油彩、マグナ／カンヴァス 274.3×91.4cm inv. no. CR0138
152 アンディ・ウォーホル 影 1978年 合成ポリマー絵具、シルクスクリン・ インク／カンヴァス 27.9×35.6cm inv. no. CR0266	162 アンディ・ウォーホル ポインセチア 1982年 合成ポリマー絵具、シルクスクリン・ インク／カンヴァス 27.9×35.6cm inv. no. CR0252	171 ロイ・リキテンスタイン 船上の少女 1965年 オフセット・リトグラフ 69.0×51.5cm inv. no. CR0528	181 ロイ・リキテンスタイン 静物 1968年 シルクスクリン／アルミ板 91.5×91.5cm inv. no. CR0535
153 アンディ・ウォーホル 影 1979年 合成ポリマー絵具、シルクスクリン・ インク、ダイヤモンド粉／カンヴァス 35.6×27.9cm inv. no. CR0253	163 アンディ・ウォーホル 機械仕掛けのテリア (おもちゃシリーズ) より 1984年 合成ポリマー絵具、シルクスクリン・ インク／カンヴァス 35.6×27.9cm inv. no. CR0257	172 ロイ・リキテンスタイン 食べ物のある静物 (版画のための習作) 1964年 墨／紙 59.7×68.6cm inv. no. CR0149	182 ロイ・リキテンスタイン 化学による平和 I (化学による平和) より 1970年 リトグラフ 95.5×161.5cm inv. no. CR0540
154 アンディ・ウォーホル 影 1979年 合成ポリマー絵具、シルクスクリン・ インク、ダイヤモンド粉／カンヴァス 35.6×27.9cm inv. no. CR0267	164 アンディ・ウォーホル 月面探査ロボット (おもちゃシリーズ) より 1984年 合成ポリマー絵具、シルクスクリン・ インク／カンヴァス 35.6×27.9cm inv. no. CR0256	173 ロイ・リキテンスタイン サンドイッチとソーダ 1964年 シルクスクリン／透明なマイラー・プ ラスチック 50.8×61.0cm inv. no. PA323	183 ロイ・リキテンスタイン 化学による平和 III (化学による平和) より 1970年 リトグラフ 95.0×161.0cm inv. no. CR0542
155 アンディ・ウォーホル スタジオ 54 VIP 1978年 合成ポリマー絵具、シルクスクリン・ インク／カンヴァス 66.0×35.2cm inv. no. CR0247	165 アンディ・ウォーホル 肉体美で変身しよう 1985年 合成ポリマー絵具、シルクスクリン・ インク／カンヴァス 40.6×50.8cm inv. no. CR0254	174 ロイ・リキテンスタイン セラミック・スカルプチャー #12 1965年 釉薬をかけた陶器 高さ：22.9cm inv. no. CR0137	184 ロイ・リキテンスタイン 化学による平和 IV (化学による平和) より 1970年 リトグラフ 76.0×127.0cm inv. no. CR0543
156 アンディ・ウォーホル ハート 1979年 合成ポリマー絵具、シルクスクリン・ インク／カンヴァス 33.0×40.6cm inv. no. CR0250	7. ロイ・リキテンスタイン 166 ロイ・リキテンスタイン ブルー！ 1963年 油彩、マグナ／カンヴァス 141.0×141.6cm inv. no. CR0147	175 ロイ・リキテンスタイン 日の出 1965年 エナメル／銅板 57.0×91.2cm inv. no. CR0141	185 ロイ・リキテンスタイン リト／リト 1970年 リトグラフ 89.1×121.9cm inv. no. CR0545
157 アンディ・ウォーホル ドル記号 1981年 合成ポリマー絵具、シルクスクリン・ インク／カンヴァス 51.3×40.6cm inv. no. CR0248	167 ロイ・リキテンスタイン ウォール・エクスプロージョン I 1965年 エナメル／銅板 203.2×213.4cm inv. no. CR0139	176 ロイ・リキテンスタイン 日の出 制作年不詳 エナメル／銅板 21.9×27.9cm inv. no. CR0675C	186 ロイ・リキテンスタイン 無題 (頭部) I 1970年 真鍮 高さ：65.1cm inv. no. CR0546
158 アンディ・ウォーホル ドル記号 1981年 合成ポリマー絵具、シルクスクリン・ インク／カンヴァス 50.8×40.6cm inv. no. CR0249		177 ロイ・リキテンスタイン ムーンスケープ 1965年 シルクスクリン／ロウラックス・フィ ルム (青) 51.3×61.0cm inv. no. CR0678E	187 ロイ・リキテンスタイン 無題 (頭部) II 1970年 クルミ材 高さ：76.2cm inv. no. CR0547

- 188
ロイ・リキテンスタイン
モダン・ヘッド・レリーフ
1970年
真鍮レリーフ
61.0×43.2×2.5cm
inv. no. CR0549
8. メル・ラモス／ジェイムズ・ローゼン
クイスト／トム・ウェッセルマン
- 189
メル・ラモス
ミス・コーンフレーク
1964年
油彩／カンヴァス
182.9×152.4cm
inv. no. CR0201
- 190
メル・ラモス
タバコ・ローズ
1965年
シルクスクリーン
76.5×61.5cm
inv. no. CR0679G
- 191
ジェイムズ・ローゼンクイスト
ラナイ
1964年
油彩／カンヴァス
157.5×472.4cm
inv. no. CR0208
- 192
トム・ウェッセルマン
グレート・アメリカン・ヌード #50
1963年
ミクスト・メディア、コラージュ、アッサン
ブラージュ(稼動するラジオを含む)／板
121.9×91.4×7.6cm
inv. no. CR0274
- 193
トム・ウェッセルマン
切り抜かれたヌード
1965年
シルクスクリーン／成型したビニール、
型抜きしたオーバーマット
50.5×61.0cm
inv. no. CR0678K
- 194
トム・ウェッセルマン
ヌード
1965年
シルクスクリーン
61.0×75.2cm
inv. no. CR0679K
- 195
トム・ウェッセルマン
マリリンの口の習作(口 #14)
1967年
油彩／カンヴァス
30.3×40.7cm
inv. no. CR0283
- 196
トム・ウェッセルマン
バラのあるヌード
1976年
リトグラフ
57.2×75.6cm
inv. no. CR0843
- 197
トム・ウェッセルマン
シースケープ・ドロップアウト
1982年
木版
54.9×64.1cm
inv. no. CR0857
- 198
トム・ウェッセルマン
横たわるエイミー
1985年
レーザー・カットしたスティールにエナメル
66.0×167.6cm
inv. no. PA191
- 199
トム・ウェッセルマン
野の花の花束
1987年
レーザー・カットしたスティール、彩色(黒)
97.0×63.0cm
inv. no. CR0853
- 200
トム・ウェッセルマン
誕生日の花束(帽子の花瓶)
1988-91年
レーザー・カットしたスティール、彩色
105.0×136.6cm
inv. no. CR0840
- 201
トム・ウェッセルマン
座るモニカとモンドリアン
1989年
シルクスクリーン
134.6×104.1cm
inv. no. CR0856
- 202
トム・ウェッセルマン
チューリップのあるモニカ
1989年
シルクスクリーン
113.0×137.1cm
inv. no. CR0846
- 203
トム・ウェッセルマン
ヌードと鏡
1990年
シルクスクリーン
147.3×167.6cm
inv. no. CR0848
- 204
トム・ウェッセルマン
習作「揺れる黄色いカーテンのある静物」
1998年
油彩／カンヴァス
67.0×82.6cm
inv. no. CR0285
- 205
トム・ウェッセルマン
静物
1998年
リキテックス／紙
25.4×19.7cm
inv. no. CR0275
- 206
トム・ウェッセルマン
2本のチューリップ
1999年
リキテックス／厚紙
24.1×26.0×7.0cm
inv. no. CR0270

印象派を超えて一点描の画家たち
ゴッホ、スーラからモンドリアンまで
クレラー＝ミュラー美術館所蔵
作品を中心に
出品リスト

I 印象派の筆触

1
クロード・モネ
《薔ぶき屋根の家》
1879年
油彩／カンヴァス
上原近代美術館

2
クロード・モネ
《サン＝ジェルマンの森の中で》
1882年
油彩／カンヴァス
吉野石膏株式会社（山形美術館に寄託）

5
アルフレッド・シスレー
《舟遊び》
1877年
油彩／カンヴァス
島根県立美術館

6
アルフレッド・シスレー
《森のはずれ、6月》
1884年
油彩／カンヴァス
サントリーコレクション

7
アルフレッド・シスレー
《モレのボブラ並木》
1888年
油彩／カンヴァス
吉野石膏株式会社（山形美術館に寄託）

9
カミーユ・ピサロ
《エラニーの教会と農園》
1884年
油彩／カンヴァス
群馬県立近代美術館

II スーラとシニャック
一分割主義の誕生と展開

12
ジョルジュ・スーラ
《入江の一角、オンフルール港》
1886年
油彩／カンヴァス
クレラー＝ミュラー美術館

13
ジョルジュ・スーラ
《ポール＝アン＝ベッサンの日曜日》
1888年
油彩／カンヴァス
クレラー＝ミュラー美術館

14
ジョルジュ・スーラ
《グラヴリーヌの水路、海を臨む》
1890年
油彩／カンヴァス
クレラー＝ミュラー美術館

15
ジョルジュ・スーラ
《マフをはめた婦人》
1884年頃
コンテ・クレヨン／紙
クレラー＝ミュラー美術館

16
ジョルジュ・スーラ
《若い女（「グランド・ジャット島の日曜日の午後」のための習作）》
1884-85年
コンテ・クレヨン／紙
クレラー＝ミュラー美術館

18
ポール・シニャック
《ダイニングルーム 作品152》
1886-87年
油彩／カンヴァス
クレラー＝ミュラー美術館

19
ポール・シニャック
《コリウール、鐘楼 作品164》
1887年
油彩／カンヴァス
クレラー＝ミュラー美術館

20
ポール・シニャック
《ポルトリュエの灯台 作品183》
1888年
油彩／カンヴァス
クレラー＝ミュラー美術館

21
ポール・シニャック
《マルセイユ港の入口》
1898年
油彩／カンヴァス
クレラー＝ミュラー美術館

22
ポール・シニャック
《アンティープ、朝》
1919年
油彩／カンヴァス
大阪市

23
ポール・シニャック
《オレンジを積んだ船、マルセイユ》
1923年
油彩／カンヴァス
松岡美術館

24
ポール・シニャック
《調和の時代に》のための習作
1893-95年
チョーク／紙
クレラー＝ミュラー美術館

25
カミーユ・ピサロ
《エラニーの牧場》
1885年
油彩／カンヴァス
上原近代美術館

26
カミーユ・ピサロ
《エラニーの農園》
1885年
油彩／カンヴァス
サントリーコレクション

27
アンリ＝エドモン・クロス
《人物たちがいる公園（「ラヌラグ公園」のための習作）》
1899年頃
油彩、チョーク／厚紙
クレラー＝ミュラー美術館

28
アンリ＝エドモン・クロス
《サン・トロヴァージ橋（ヴェニス）》
1903-05年
油彩／カンヴァス
クレラー＝ミュラー美術館

29
マクシミリアン・リュス
《モンマルトルのはずれ、シャンピオネ通り》
1887年
油彩／カンヴァス
クレラー＝ミュラー美術館

30
マクシミリアン・リュス
《パリ、モンマルトルからの眺め》
1887年頃
油彩／カンヴァス
クレラー＝ミュラー美術館

31
マクシミリアン・リュス
《鑄鉄工場》
1899年
油彩／カンヴァス
クレラー＝ミュラー美術館

32
マクシミリアン・リュス
《放浪者》
1901年
油彩／カンヴァス
クレラー＝ミュラー美術館

33
モーリス・ドニ
《病院での夕暮れの祈り》
1890年
油彩／カンヴァス
クレラー＝ミュラー美術館

34
モーリス・ドニ
《雌鶏と少女》
1890年
油彩／カンヴァス
国立西洋美術館

35
モーリス・ドニ
《カトリックの秘蹟》
1891年
油彩／カンヴァス
クレラー＝ミュラー美術館

36
シャルル・アングラン
《農家の庭》
1895年
木炭／紙
クレラー＝ミュラー美術館

III ゴッホと分割主義

37
フィンセント・ファン・ゴッホ
《自画像》
1887年
油彩／厚紙
クレラー＝ミュラー美術館

38
フィンセント・ファン・ゴッホ
《レストランの内部》
1887年
油彩／カンヴァス
クレラー＝ミュラー美術館

39
フィンセント・ファン・ゴッホ
《石膏像のある静物》
1887年
油彩／カンヴァス
クレラー＝ミュラー美術館

40
フィンセント・ファン・ゴッホ
《じゃがいものある静物》
1888年
油彩／カンヴァス
クレラー＝ミュラー美術館

41
フィンセント・ファン・ゴッホ
《種まく人》
1888年
油彩／カンヴァス
クレラー＝ミュラー美術館

【凡例】
作品番号
作家名
作品名
制作年
技法／材質
所蔵

*作品番号は、本展覧会巡回先に出品される
作品も含めた全作品リストの番号である。
本リストには、国立新美術館で展示された
作品のみ記載した。

- 42
フィンセント・ファン・ゴッホ
《麦束のある月の出の風景》
1889年
油彩／カンヴァス
クレラー＝ミュラー美術館
- 43
フィンセント・ファン・ゴッホ
《若い女の肖像》
1889年
油彩／カンヴァス
クレラー＝ミュラー美術館
- 44
フィンセント・ファン・ゴッホ
《ルビース・デュ・ロワ運河の洗濯場》
1888年
ペン、葦ペン、黒インク、黒チョーク／網
目紙
クレラー＝ミュラー美術館
- 45
フィンセント・ファン・ゴッホ
《太陽と雲のある囲われた麦畑》
1889年
黒チョーク、葦ペン、インク、白の不透明
水彩／賽の目紙
クレラー＝ミュラー美術館
- 46
ポール・ゴーギャン
《水飼い場》
1886年
油彩／カンヴァス
島根県立美術館
- 48
ポール・ゴーギャン
《海岸の岩》
1888年
油彩／カンヴァス
愛知県美術館
- 49
ポール・ゴーギャン
《木靴職人》
1888年
油彩／カンヴァス
愛知県美術館
- 50
モーリス・ド・ヴラマンク
《小麦畑と赤い屋根の家》
1905年
油彩／カンヴァス
静岡県立美術館
- 51
アンドレ・ドラク
《コリウール港の小舟》
1905年
油彩／カンヴァス
大阪新美術館建設準備室
- IV ベルギーとオランダの分割主義
- 52
テオ・ファン・レイセルベルヘ
《満潮のペール＝キリディ》
1889年
油彩／カンヴァス
クレラー＝ミュラー美術館
- 53
テオ・ファン・レイセルベルヘ
《7月の朝》あるいは《果樹園》あるいは
《庭園に集う家族》
1890年
油彩／カンヴァス
クレラー＝ミュラー美術館
- 54
テオ・ファン・レイセルベルヘ
《プロニユ＝シュル＝メール》
1899年
油彩／カンヴァス
クレラー＝ミュラー美術館
- 55
テオ・ファン・レイセルベルヘ
《読書する女》あるいは《青い帽子の女》
あるいは《青い帽子》
1900年
油彩／カンヴァス
クレラー＝ミュラー美術館
- 56
テオ・ファン・レイセルベルヘ
《ソニア》あるいは《眠る若い女》
1904年
油彩／カンヴァス
クレラー＝ミュラー美術館
- 57
テオ・ファン・レイセルベルヘ
《ギンシアとオダリスク》あるいは《陽光》
1906年
油彩／カンヴァス
クレラー＝ミュラー美術館
- 58
アンリ・ヴァン・ド・ヴェルド
《夕暮れ》
1889年頃
油彩／カンヴァス
クレラー＝ミュラー美術館
- 59
アンリ・ヴァン・ド・ヴェルド
《少女のいる農家の庭》
1891年
パステル、黒チョーク／紙
クレラー＝ミュラー美術館
- 60
アンリ・ヴァン・ド・ヴェルド
《裁縫する女》
1891年
パステル、チョーク、鉛筆／紙
クレラー＝ミュラー美術館
- 61
アンリ・ヴァン・ド・ヴェルド
《日なたで読書する女(ジャンヌ・ピアール)》
1892年
パステル／紙
クレラー＝ミュラー美術館
- 62
ジョルジュ・レメン
《テムズ河畔の工場》
1892年頃
油彩／カンヴァス
クレラー＝ミュラー美術館
- 63
ヤン・トーロップ
《ロンドンの橋》
1888 / 89年
油彩／カンヴァス
クレラー＝ミュラー美術館
- 64
ヤン・トーロップ
《夕暮れの光》あるいは《誘惑》
1888-89年頃
油彩／カンヴァス
クレラー＝ミュラー美術館
- 65
ヤン・トーロップ
《ストライキの後》
1888-90年頃
油彩／カンヴァス
クレラー＝ミュラー美術館
- 66
ヤン・トーロップ
《砂丘の端》あるいは《カトウエイク・
ピンネンとカトウエイク・アーン・ゼー
のあいだで網を干す》
1898年
油彩／厚紙に貼られたカンヴァス
クレラー＝ミュラー美術館
- 67
ヤン・トーロップ
《海》
1899年
油彩／カンヴァス
クレラー＝ミュラー美術館
- 68
ヤン・トーロップ
《版画愛好家(アーヒディウス・ティンメル
ルマン博士)》
1897-1900年
油彩／カンヴァス
クレラー＝ミュラー美術館
- 69
ヤン・トーロップ
《秋》
1908年
油彩／厚紙
クレラー＝ミュラー美術館
- 70
ヤン・トーロップ
《L. ラウレイセンの肖像》
1911年
油彩／カンヴァス
クレラー＝ミュラー美術館
- 71
ヤン・トーロップ
《オルガンの音色》
1889-90年
チョーク、鉛筆／厚紙
クレラー＝ミュラー美術館
- 72
ヤン・トーロップ
《憂愁》
1890-91年頃
鉛筆、水彩／厚紙
クレラー＝ミュラー美術館
- 73
ヤン・トーロップ
《豆を刈る人》
1905年
黒チョーク、鉛筆、パステル／紙
クレラー＝ミュラー美術館
- 74
ヤン・トーロップ
《豆の収穫》
1906年
チョーク／紙
クレラー＝ミュラー美術館
- 75
ヤン・トーロップ
《じゃがいもの収穫》
1907年
黒チョーク、鉛筆、パステル／紙
クレラー＝ミュラー美術館
- 76
ヨハン・トルン・ブリッカー
《磔刑のキリスト》
1891-92年
油彩／カンヴァス
クレラー＝ミュラー美術館
- 77
ヨハン・トルン・ブリッカー
《十字架の傍らで(チューリップの聖母)》
1892年
油彩／カンヴァス
クレラー＝ミュラー美術館
- 78
ヨハン・トルン・ブリッカー
《花嫁》
1892-93年
油彩／カンヴァス
クレラー＝ミュラー美術館
- 79
ヨハン・トルン・ブリッカー
《レ・ゾー》
1900-04年
パステル、チョーク／紙
クレラー＝ミュラー美術館
- 80
ヨハン・トルン・ブリッカー
《バス・エルマル、正午の太陽》
1904年
パステル、茶色のインク(アニリン)／紙
クレラー＝ミュラー美術館
- 81
ヨハン・トルン・ブリッカー
《夏の風景》
1904年
パステル、チョーク／紙
クレラー＝ミュラー美術館
- 82
ヘンドリクス・ベトルス・ブレマー
《ランタンのある静物》
1893年
油彩／カンヴァス
クレラー＝ミュラー美術館
- 83
ヘンドリクス・ベトルス・ブレマー
《石炭入のある食器洗い場の眺め》
1899年
油彩／カンヴァス
クレラー＝ミュラー美術館
- 84
ヤン・ファイルブリーフ
《積み藁のある風景》
1894年頃
油彩／カンヴァス
クレラー＝ミュラー美術館
- 85
ヨハン・アールツ
《砂丘の農家》
1895年
油彩／カンヴァス
クレラー＝ミュラー美術館
- 86
ヤン・スライテルス
《製材所》
1907年
油彩／カンヴァス
クレラー＝ミュラー美術館
- 87
ヤン・スライテルス
《変容》
1908年
油彩／カンヴァス
クレラー＝ミュラー美術館
- 88
ヤン・スライテルス
《物乞い》
1910年頃
油彩／厚紙
クレラー＝ミュラー美術館
- 89
レオ・ヘステル
《午後の太陽》
1908年
油彩／カンヴァス
クレラー＝ミュラー美術館

90
レオ・ヘステル
《陽光と灯火(ピアノの前の少女)》
1908-09年
油彩／カンヴァス
クレラー＝ミュラー美術館

91
レオ・ヘステル
《モントフォールト近くの風景》
1909年
油彩／カンヴァス
クレラー＝ミュラー美術館

92
レオ・ヘステル
《逆光の中の裸体》
1909年
油彩／カンヴァス
クレラー＝ミュラー美術館

V モンドリアン—究極の帰結

93
ピート・モンドリアン
《ヘイン河畔の樹》
1903年頃
油彩／カンヴァス
京都国立近代美術館

94
ピート・モンドリアン
《突堤の見えるドムブルフの浜辺》
1909年
油彩／カンヴァス
クレラー＝ミュラー美術館

95
ピート・モンドリアン
《砂丘》
1909年
油彩、鉛筆／厚紙
石橋財団ブリヂストン美術館

96
ピート・モンドリアン
《コンポジション No. II》
1913年
油彩／カンヴァス
クレラー＝ミュラー美術館

97
ピート・モンドリアン
《コンポジション(プラスとマイナスの
ための習作)》
1916年頃
油彩、鉛筆／カンヴァス
京都国立近代美術館

98
ピート・モンドリアン
《色彩のコンポジション B》
1917年
油彩／カンヴァス
クレラー＝ミュラー美術館

99
ピート・モンドリアン
《グリッドのあるコンポジション5:
菱形、色彩のコンポジション》
1919年
油彩／カンヴァス
クレラー＝ミュラー美術館

100
ピート・モンドリアン
《赤と黄と青のあるコンポジション》
1927年
油彩／カンヴァス
クレラー＝ミュラー美術館

未来を担う美術家たち
16th DOMANI・明日展
文化庁芸術家在外研修の成果
出品リスト

美術	大栗 恵 Megumi OHGURI	7-7 Schein / 光 2012 油彩、キャンバス GALERIE VERA MUNRO
榊原 澄人 Sumito SAKAKIBARA	5-1 Moment fugitif / 束の間の 2008 アーカイバルピグメントプリント 川田画廊	7-8 Dream / 夢 2012 油彩、キャンバス GALERIE VERA MUNRO
1-1 É in Motion No.2 2013 360° ヴィデオインスタレーション / デジ タルドローイング	5-2 Paysage d'une fenêtre / 窓景 2009 アーカイバルピグメントプリント	7-9 Nachwinter / 終冬 2013 油彩、キャンバス GALERIE VERA MUNRO
1-2 É in Motion No.7 -Native Dancer- 2013 É in Motion No.5 -Webomalogy- 2013 ヴィデオインスタレーション / デジタル ドローイング	5-3 Paysage d'une fenêtre / 窓景 2009 写真映像	7-10 Spiegelung / 鏡像 2013 油彩、キャンバス SCAI THE BATHHOUSE
徳丸 鏡子 Kyoko TOKUMARU	5-4 Le temps / 時 2009 アーカイバルピグメントプリント	土橋 素子 Motoko DOBASHI
2-1 四大エレメントより 火および水 2007 磁、鉄	5-5 Figurative / 形象 2011 アーカイバルピグメントプリント	8-1 Shells 2013 布、木材、アクリル絵具
2-2 鳳凰 I 2011 磁	5-6 Perpetual / 永続 2012 アーカイバルピグメントプリント	8-2 Fence 2014 紙、アクリル絵具
2-3 鳳凰 II 2011 磁	5-7 Perpetual / 永続 2012 写真映像	建築
2-4 鳳凰 III 2011 磁	大野 由美子 Yumiko ONO	1 栗生 明 式年遷宮記念「せんぐう館」
2-5 鳳凰 IV 2011 磁	6-1 home 2013 パズルピース	2 小川 晋一 建築×身体
2-6 原初の庭 2013 陶	小笠原 美環 Miwa OGASAWARA	3 古谷 誠章 “建築” 採集
川上 りえ Rie KAWAKAMI	7-1 Bildung / 学 2008 油彩、キャンバス 個人蔵	4 竹内 裕二 「イタリア中世の山岳都市」と「修道院の 回廊空間」
3-1 Zero Gravity 2013 金属線	7-2 Lookout / 眺望 2009 油彩、キャンバス 個人蔵	5 西森 陸雄 フォールディングハット
吉本 直子 Naoko YOSHIMOTO	7-3 Living / 生 2010 油彩、キャンバス GALERIE VERA MUNRO	6 山岡 嘉彌 木造回遊式円楼
4-1 白の棺 2005 2005 古着の白い衣類	7-4 Abandon 1 / 寂寥 2012 油彩、キャンバス 個人蔵	7 古暮 和歌子 Dust Projects
4-2 白の棺 2006 2006 古着の白い衣類	7-5 Hand / 手 2012 油彩、キャンバス SCAI THE BATHHOUSE	8 堀川 秀夫 100年後の未来の家
4-3 沈黙のことば 2012 古着の白い衣類、綿布、アクリル製本棚	7-6 Lichteinfall / 採光 2012 油彩、キャンバス SCAI THE BATHHOUSE	9 岡田 哲史 湖畔の邸宅
4-4 鼓動の庭 2013 古着の白い衣類、椅子		10 戸室 太一 あしたの子どもたちの(いえ)
		11 林 寛治 再構築 / 復活

[凡例] 美術
作品番号
作品名 / 原題
制作年
材質または技法
所蔵

[凡例] 建築
作品番号
作家名
作品名

- 12
松島 史朗
イナリズム
- 13
今永 和利
パートルレット改修計画(1997年)、SENSE
(2012年)
- 14
大松 俊紀
柱の建築
- 15
吉村 靖孝
ボルトレスジョイントによる木造ラメン
ン構造の研究
- 16
宮元 三恵
Section (s) : London (2002年)
- 17
白井 宏昌
?: 住まいへの問い
- 18
原田 真宏
「こわさない・こわされない」
- 19
秋吉 正雄
市川大野の家／倉庫
- 20
柄沢 祐輔
「複雑な階層状のネットワーク」
- 21
土井 一秀
風景を発掘する
- 22
長田 直之
ばらばらなものがいっしょにいるいっ
しょにいるのにばらばらだ
- 23
藤井 由理
‘セリー’の建築
- 24
松田 達
空間充填パズルの家
- 25
丸子 淳
囲み庭の家＋ステップテラスの家
- 26
山口 尚之
最後の次に
- 27
山添 奈織
ドールハウス
- 28
大津 若果
「荒地における陰陽画『千羽鶴』」
- 29
霜田 亮祐
東京の埋没谷に住まうための地面の在り
よう
- 30
山田 良
サイトスペシフィックルーム
- 31
郡 裕美
見える？
- 32
迫 慶一郎
東北スカイビレッジ
- 33
田中 宏明
継ぎ造ること
- 34
伊藤 廉
コルクの家
- 35
瀬下 淳子
円
- 36
田辺 雄之
アルマジロ
- 37
平瀬 有人
 $f(b, w) = g$
- 38
小嶋 芳秀
スペインの現場－スマラガ郷土資料館
- 39
鈴木 葉菜子
継－続
- 40
大野 暁彦
場と日常
- 41
松川 昌平
アルキテクトーム
- 42
石井 大五
Locality / Inter - Locality
- 43
細海 拓也
A day in the life of a man in 2084

平成25年度[第17回]
文化庁メディア美術祭
出品リスト

アート部門	CAR WASH INCIDENT Jack+Leigh RUBY 審査委員会推薦作品 米国 メディアインスタレーション 映像紹介	Race Code Timo WRIGHT 審査委員会推薦作品 フィンランド インタラクティブアート 映像紹介
crt mgn Carsten NICOLAI 大賞 ドイツ メディアインスタレーション 実作品展示	oscillating continuum 黒川 良一 審査委員会推薦作品 日本 メディアインスタレーション 映像紹介	sibi Roberto FASSONE 審査委員会推薦作品 イタリア インタラクティブアート 映像紹介
を超える為の余白 三原 聡一郎 優秀賞 日本 メディアインスタレーション 実作品展示	The Half : 半 KIM Unzi 審査委員会推薦作品 韓国 メディアインスタレーション 映像紹介	Billboard Neven PETROVIC 審査委員会推薦作品 クロアチア デジタルフォト 映像紹介
Dronestagram James BRIDLE 優秀賞 イギリス ウェブサイト 実作品展示	Untitled V Marianthi PAPALEXANDRI ALEXANDRI/ Pe LANG 審査委員会推薦作品 ギリシャ メディアインスタレーション 映像紹介	MONEY SERIES Jesus JIMENEZ 審査委員会推薦作品 メキシコ デジタルフォト 映像紹介
Situation Rooms Rimini Protokoll 優秀賞 ドイツ/スイス インタラクティブアート 実作品展示	ゾンビ音楽 安野 太郎 審査委員会推薦作品 日本 メディアパフォーマンス 映像紹介	Orpheline Geneviève THAUVETTE 審査委員会推薦作品 カナダ グラフィックアート 映像紹介
The Big Atlas of LA Pools Benedikt GROSS 優秀賞 ドイツ データアート 実作品展示	Reactor for Awareness in Motion (RAM) YCAM InterLab / 安藤 洋子 / 大西 義人 / 比嘉 了 / 清水 基 / Kyle MCDONALD 審査委員会推薦作品 日本 / 米国 メディアパフォーマンス 映像紹介	outsourced views / visual economies Yuri PATTISON 審査委員会推薦作品 アイルランド ウェブサイト PCでのweb展示
Learn to be a Machine DistantObject #1 LAU Hochi 新人賞 香港 インタラクティブアート 実作品展示	SKINSTRAP Thomas ISRAEL 審査委員会推薦作品 ベルギー メディアパフォーマンス 映像紹介	《変容の対象》 福島 諭 / 濱地 潤一 審査委員会推薦作品 日本 ウェブサイト PCでのweb展示
Maquila Region 4 Amor MUNOZ 新人賞 メキシコ メディアパフォーマンス 実作品展示	ハリバリーコーラスーまちなかの交 響、墨田と浅草 福永 敦 審査委員会推薦作品 日本 インタラクティブアート、サウンドイン スタレーション 映像紹介	ENACT Nanette YANNUZZI / Ann TORKE 審査委員会推薦作品 米国 ウェブサイト PCでのweb展示
The SKOR Codex La Societe Anonyme 新人賞 フランス グラフィックアート 実作品展示	ADB (after Deep Blue) Nicholas STEDMAN 審査委員会推薦作品 カナダ インタラクティブアート 映像紹介	WISTFUL AFFECTION FOR THE PAST Mani MEHRVARZ 審査委員会推薦作品 イラン 映像作品 上映
時折織成一落下する記録— 和田 永 審査委員会推薦作品 日本 メディアインスタレーション 実作品展示	Excavate Laurent MIGNONNEAU 審査委員会推薦作品 フランス インタラクティブアート 映像紹介	Archipelago Science Fiction [Archipelago Science Fiction]制作チー ム代表 Tellervo KALLEINEN 審査委員会推薦作品 フィンランド 映像作品 上映
Trades Mathieu BERNARD-REYMOND 審査委員会推薦作品 フランス グラフィックアート 実作品展示	Last Room / Dépli Thierry FOURNIER / Pierre CARNIAUX 審査委員会推薦作品 フランス インタラクティブアート 映像紹介	Majub's Journey Eva KNOPF 審査委員会推薦作品 ドイツ 映像作品 上映
ものみるうごくAR美術館 赤松 正行 審査委員会推薦作品 日本 メディアインスタレーション 映像紹介	bio effector 大野 茉莉 / 永田 康祐 審査委員会推薦作品 日本 メディアインスタレーション 映像紹介	unión de... 平川 典俊 審査委員会推薦作品 日本 映像作品 上映
[凡例] 作品名 作家名 賞名 国名 作品形態 展示形態	One Day Social Sculpture 林 欣傑 審査委員会推薦作品 香港 インタラクティブアート 映像紹介	

The Joycean Society Dora GARCIA 審査委員会推薦作品 スペイン 映像作品 上映	TorqueL prototype 2013.03 @ E3 なんも(柳原 隆幸) 新人賞 日本 ゲーム 実展示	仕込みiPhone 森 翔太 審査委員会推薦作品 日本 ガジェット 映像紹介	rain 池田 佑基／寺島 誠一／藤井 知晴／大木 友和／鈴木 健 審査委員会推薦作品 日本 ゲーム ゲーム展示
Warm Warm Spring Mouths Ed ATKINS 審査委員会推薦作品 英国 映像作品 上映	lapillus bug 河野 通就／星 貴之／笈 康明 審査委員会推薦作品 日本 ガジェット 実展示	RAPIRO 石渡 昌太 審査委員会推薦作品 日本 ガジェット 映像紹介	龍が如く5 夢、叶えし者 名越 稔洋 審査委員会推薦作品 日本 ゲーム ゲーム展示
Transcalar Investment Vehicles Hilary KOOB-SASSEN 審査委員会推薦作品 米国 映像作品 上映	スケルトニクス 白久 レイエス樹／阿嘉 倫大／中野 桂樹 審査委員会推薦作品 日本 ガジェット デモンストレーション	子どもたちが創造する屋外メディア公園 「コログルバビリオン」 YCAM + Assistant 審査委員会推薦作品 日本 アプリケーション 映像紹介	電気グルーヴ「Missing Beatz」 田中 秀幸 審査委員会推薦作品 日本 ミュージックビデオ 上映
88 from 14,000 Alice MICELI 審査委員会推薦作品 ブラジル 映像作品 上映	おくちの中の遊園地 川崎 鋼平／大泉 淳／中野 友彦／沖 智則 ／ソ ヨンボン／築地ROY良／佐藤 勇太 ／鳥居 長英 審査委員会推薦作品 日本／韓国／オーストラリア ウェブサイト PCでのweb展示	MAU M&L 博物図譜 武蔵野美術大学 造形研究センター「MAU M&L 博物図譜」制作チーム 審査委員会推薦作品 日本 アプリケーション 映像紹介	春振ILCハイスクール！ チームラボ 審査委員会推薦作品 日本 映像作品、ウェブサイト 上映
エンターテインメント部門	オアシスフォトファクトリー 尾上 永晃／相楽 賢太郎／大津 裕基／長 嶋 良和／木田 東吾／三澤 加奈／諏訪 徹／庄野 元／tyo id 審査委員会推薦作品 日本 ウェブサイト PCでのweb展示	Second Surface 笠原 俊一／Valentin HEUN／Austin S. LEE ／石井 裕 審査委員会推薦作品 日本／ドイツ／韓国 アプリケーション 映像紹介	環ROY「ワンダフル」 環ROY×古屋 蔵人 審査委員会推薦作品 日本 ミュージックビデオ 上映
Sound of Honda / Ayrton Senna 1989 菅野 薫／保持 壮太郎／大来 優／キリー ロバ ナージャ／米澤 香子／関根 光才／ 澤井 妙治／真鍋 大度 大賞 日本／ロシア 映像、ウェブサイト、メディアインスタ レーション、サウンド 実展示、上映	近所の情報から校歌を自動生成する 三土 たつお／小堀 友樹 審査委員会推薦作品 日本 ウェブサイト PCでのweb展示	VideoBomber エキソニモ／渋谷／Maltine Records 審査委員会推薦作品 日本 アプリケーション、メディアパフォーマンス ンス 映像紹介	1347smiles 新井 風輪 審査委員会推薦作品 日本 映像作品 上映
スポーツタイムマシン 犬飼 博士／安藤 僚子 優秀賞 日本 メディアインスタレーション 資料展示	ボケテ (bokete) 鎌田 武俊／和田 裕介／平山 剛／イセ オサム／新基 智志 審査委員会推薦作品 日本 ウェブサイト PCでのweb展示	AR Cube Puzzle Marko TODOROVIC / Jana RODIC 審査委員会推薦作品 セルビア インタラクティブメディアインスタレー ション 映像紹介	Z-MACHINES Z-MACHINES プロジェクト 審査委員会推薦作品 日本 ロボット、ライブパフォーマンス 上映
プラモデルによる空想具現化 池内 啓人 優秀賞 日本 ジオラマ、ガジェット 実展示	FONTA 本多 大和／泉 聡一／市川 葵／割石 裕 太／佐々木 晴也／矢吹 遼介 審査委員会推薦作品 日本 ウェブサイト PCでのweb展示	東北ITコンセプト 福島ゲームジャム 『東北ITコンセプト 福島ゲームジャム』 運営事務局 代表 中林 寿文 審査委員会推薦作品 日本 ゲーム 映像紹介	Full Control Tokyo Full Control Tokyo 制作チーム 審査委員会推薦作品 日本 映像作品 上映
燃える仏像人間 宇治茶 優秀賞 日本 劇メーション 資料展示	TOKYO CITY SYMPHONY 大八木 翼／馬場 鑑平／TAKCOM／三 浦 康嗣／渡邊 敬之／前田 定則／橋本 俊行／寺井 弘典／加島 貴彦 審査委員会推薦作品 日本 ウェブサイト、メディアインスタレー ション PCでのweb展示	Snake the Planet! MPU (Mobile Projection Unit) 代表 Lukasz KARLUK 審査委員会推薦作品 オーストラリア ゲーム 映像紹介	minicar music player. 柿本ケンサク 審査委員会推薦作品 日本 映像作品 上映
トラヴィス「ムーヴィング」 Tom WRIGGLESWORTH／ Matt ROBINSON 優秀賞 イギリス ミュージックビデオ 資料展示、上映	言葉の軌跡 衣斐 秀聡／星野 泰漢 審査委員会推薦作品 日本 メディアインスタレーション、ガジェット 映像紹介	STEAM RAGE 廣野 翔一 審査委員会推薦作品 日本 ゲーム 映像紹介	Perfume World Tour 2nd MIKIKO／Rhizomatiks／中田 ヤスタカ ／TAKCOM／三田 真一／櫻井 利彦／ evala 審査委員会推薦作品 日本 映像作品 上映
ゼゼヒヒ 津田 大介 新人賞 日本 ウェブサイト 実展示	さわれる検索 『さわれる検索』プロジェクトチーム 審査委員会推薦作品 日本 ガジェット 映像紹介	BADLAND 『BADLAND』制作チーム代表 Juhana MYLLYS 審査委員会推薦作品 フィンランド ゲーム ゲーム展示	DOCKYARD PROJECTION MAPPING / YOKOHAMA ODYSSEY 東 弘明／西田 淳／鈴木 康弘／浅井 宣 通／Bruce IKEDA／高幣 俊之／Paul LACROIX 審査委員会推薦作品 日本／フランス 映像作品 上映
やけのはら「RELAXIN」 最後の手段(有坂 亜由夢／おいた まい ／コハタ レン) 新人賞 日本 ミュージックビデオ 資料展示、上映			

TECHNE：映像の教室 テクネ映像の教室制作チーム 審査委員会推薦作品 日本 映像作品 上映	夜ごはんの時刻 村本 咲 審査委員会推薦作品 日本 短編アニメーション 上映	GrandFather 『GrandFather』制作チーム代表 KIM Minwoo 審査委員会推薦作品 韓国 短編アニメーション 上映	ちいさこべえ 望月 ミネタロウ／原作：山本 周五郎 優秀賞 日本 資料展示
WORLD ORDER in BUDOKAN WORLD ORDER 審査委員会推薦作品 日本 ライブパフォーマンス、映像作品 上映	Tears For Narcissus Laura HARRISON 審査委員会推薦作品 米国 短編アニメーション 上映	ONE AND THREE FOUR 平岡 政展 審査委員会推薦作品 日本 短編アニメーション 上映	ひきだしにテラリウム 九井 諒子 優秀賞 日本 資料展示
アニメーション部門	キックハート 湯浅 政明 審査委員会推薦作品 日本 短編アニメーション 上映	Anomalies 和田 淳 審査委員会推薦作品 日本 短編アニメーション 上映	アリスと蔵六 今井 哲也 新人賞 日本 資料展示
はちみつ色のユン ユン／ローラン・ボアロー 大賞 ベルギー／フランス ドキュメンタリー・アニメーション 資料展示	Bird Shit Caleb WOOD 審査委員会推薦作品 米国 短編アニメーション 上映	Professor Kliq - "Wire & Flashing Lights" Victor HAEGELIN 審査委員会推薦作品 フランス 短編アニメーション 上映	塩素の味 バステリアン・ヴィヴェス／訳：原 正人 新人賞 フランス／日本 資料展示
有頂天家族 吉原 正行 優秀賞 日本 テレビアニメーション 資料展示	WONDER 水江 未来 審査委員会推薦作品 日本 短編アニメーション 上映	古事記 日向篇 山村 浩二 審査委員会推薦作品 日本 短編アニメーション 上映	夏休みの町 町田 洋 新人賞 日本 資料展示
ゴールデンタイム 稲葉 卓也 優秀賞 日本 短編アニメーション 資料展示、上映	Mahjong CHEN Xi 審査委員会推薦作品 中国 短編アニメーション 上映	かまくら 水尻 自子 審査委員会推薦作品 日本 短編アニメーション 上映	功労賞
サカサマのバテマ 吉浦 康裕 優秀賞 日本 劇場アニメーション 資料展示	MAZE KING キム・ハケン 審査委員会推薦作品 韓国 短編アニメーション 上映	Communicating Vessels Andres TENUSSAAR 審査委員会推薦作品 エストニア 短編アニメーション 上映	阿部 修也 エンジニア／アーティスト 日本 資料展示
エヴァンゲリオン 新劇場版：Q 庵野 秀明 優秀賞 日本 劇場アニメーション 資料展示	陽なたのオアシグレ 石田 祐康 審査委員会推薦作品 日本 短編アニメーション 上映	ウィリー・ウィンキー 坂元 友介 審査委員会推薦作品 日本 短編アニメーション 上映	柏原 満 音響効果 日本 資料展示
ようこそぼくです選 姫田 真武 新人賞 日本 短編アニメーション 資料展示、上映	Ici, là et partout 冠木 佐和子 審査委員会推薦作品 日本 短編アニメーション 上映	写真館 なかむら たかし 審査委員会推薦作品 日本 短編アニメーション 上映	中村 公彦 コミティア実行委員会代表 日本 資料展示
Airy Me 久野 遥子 新人賞 日本 短編アニメーション 資料展示、上映	NUNUI HETAYOTHIN Chanya 審査委員会推薦作品 タイ 短編アニメーション 上映	マンガ部門	
WHILE THE CROW WEEPSーカラスの 涙ー 鋤柄 真希子／松村 康平 新人賞 日本 短編アニメーション 資料展示、上映	みやくみやく -Drops of Life- 今林 由佳 審査委員会推薦作品 日本 短編アニメーション 上映	ジョジョリオン ージョジョの奇妙な冒 険 Part8ー 荒木 飛呂彦 大賞 日本 資料展示	
やますき、やまざき しし やまざき 審査委員会推薦作品 日本 短編アニメーション 上映	Semáforo Simon WILCHES-CASTRO 審査委員会推薦作品 コロンビア 短編アニメーション 上映	昭和元禄落語心中 雲田 はるこ 優秀賞 日本 資料展示	
Premier Automne Carlos DE CARVALHO／Aude DANSET 審査委員会推薦作品 フランス 短編アニメーション 上映		それでも町は廻っている 石黒 正数 優秀賞 日本 資料展示	

イメージの力
一国立民族学博物館
コレクションにさぐる
出品リスト

001 神像つきの椅子「カワ・トゥギトゥ」 民族：イアトムル バプアニューギニア 1977年収集	015 ムーア人の仮面「モロ」 地域：ミチョアカン州 メキシコ 1985年収集	029 仮面「デアン・グレ」 民族：ダン リベリア 1978年収集
002 神像つきの椅子「カワ・トゥギトゥ」 民族：イアトムル バプアニューギニア 1988年収集	016 ヘビの仮面「セルピエンテス」 民族：プレベチャ メキシコ 1985年収集	030 サンデ結社のヘルメット型仮面「ソウエイ」 民族：パッサ リベリア 1978年収集
003 神像つきの椅子「カワ・トゥギトゥ」 民族：イアトムル バプアニューギニア 2003年収集	017 悪魔の仮面「ディアブロ」 民族：プレベチャ メキシコ 1985年収集	031 仮面「ワンカレ」 民族：プワ ブルキナファソ 1976年収集
プロローグ 視線のありか	018 タイガー・マスク(虎仮面) 民族：ミシュテコ メキシコ 1970年代制作	032 仮面「ドゥバ」(タカ) 民族：プワ ブルキナファソ 1976年収集
004 かぶりもの型仮面「アバン」 民族：イアトムル バプアニューギニア 1974年収集	019 悪魔の仮面「ディアブロ」 民族：メスティン メキシコ 1987年頃制作	033 戦士の仮面「ブ・グレ」 民族：ウェ コートジボワール 1978年収集
005 仮面「カラワラ」 民族：イアトムル バプアニューギニア 1988年制作	020 悪魔の仮面「ディアブロ」 地域：クエルナバカ メキシコ 1970年収集	034 仮面「グレ」 民族：ベテ コートジボワール 1978年収集
006 仮面「カブダマ」 民族：イアトムル バプアニューギニア 1988年制作	021 悪魔の仮面「ディアブロ」 民族：アイマラ ポリビア 1982年制作	035 仮面「グバ・グバ」 民族：パウレ コートジボワール 1978年収集
007 仮面「サアヴィ」 民族：イアトムル バプアニューギニア 1988年制作	022 黒い肌の王の仮面「レイ・モレーノ」 民族：アイマラ ポリビア 1982年制作	036 仮面「グ」 民族：グロ コートジボワール 1978年収集
008 かぶりもの型仮面「アバン」 民族：イアトムル バプアニューギニア 1969年原収集	023 女性成人儀礼用樹皮製仮面 民族：ティクナ コロンビア 1977年収集	037 仮面「クベリエ」 民族：セヌフォ コートジボワール 1980年収集
009 仮面「タブアヌ」(男) 地域：モートロック諸島 ミクロネシア連邦 1977年収集	024 仮面「トリ」 民族：タニムカ コロンビア 1977年収集	038 仮面「ムプロ」 民族：パウレ コートジボワール 1981年収集
010 仮面「タブアヌ」(女) 地域：モートロック諸島 ミクロネシア連邦 1977年収集	025 仮面「ワアンキルフクア」 民族：タニムカ コロンビア 1977年収集	039 王の仮面「アコム」 民族：バムン カメルーン 1977年収集
011 仮面「ホホク」(人食い鳥) 民族：クワクワカワクウ カナダ 1979年収集	026 女性成人儀礼用樹皮製仮面 民族：ティクナ(推定) コロンビア 1977年収集	040 サルスの仮面「マブ」 民族：コム カメルーン 1981年収集
012 シャチの背びれがついた仮面 民族：オウエキーノ(推定) カナダ 1902年以前原収集	027 仮面「マヘニョ」(伊達男) 地域：クスコ ペルー 1997年収集	041 仮面「キフェベ」 民族：ルバ コンゴ民主共和国 1975年収集
013 タイガー・マスク(虎仮面) 民族：ナワ メキシコ 1979年収集	028 サンデ結社のヘルメット型仮面「ソウエイ」 民族：メンデ シエラレオネ 1978年収集	042 ヘルメット型仮面「ブンブ」(殺し屋) 民族：ベンデ コンゴ民主共和国 1980年収集
014 征服劇の仮面(アステカの戦士) 地域：サコアルバン地方 メキシコ 1983年収集		

【凡例】
作品番号
作品名
民族名または地域名または作家名
国名
制作年または収集年

043 仮面「ムヨンボ」または「ギウォヨ」 民族：ベンデ コンゴ民主共和国 1980年収集	057 舞踊劇コーラムの仮面（ガラー魔神） 民族：シンハラ スリランカ 1980年収集	071 仮面「ジャウック」 民族：バリ インドネシア 1979年収集	085 獅子舞の仮面（南獅） 民族：漢族 中国 1981年収集
044 仮面「キノコロ」 民族：ヤカ コンゴ民主共和国 1988年収集	058 舞踊劇コーラムの仮面「ラトナ・クタ」 民族：シンハラ スリランカ 1980年収集	072 仮面舞踊劇トベン・ダレムの仮面 民族：バリ インドネシア 1979年収集	086 地劇用仮面 民族：ブイ 中国 1982年収集
045 仮面「プウォーム・イトク」 民族：クバ コンゴ民主共和国 1989年収集	059 病氣治療儀礼サンニ・ヤクマの仮面（嘔吐） 民族：シンハラ スリランカ 1980年収集	073 仮面舞踊劇ワヤン・トベンの仮面 民族：ジャワ インドネシア 1981年収集	087 壁掛け虎仮面 民族：漢族 中国 1995年収集
046 仮面「アキシ」 民族：サランパス コンゴ民主共和国 1989年収集	060 病氣治療儀礼サンニ・ヤクマの仮面（リューマチ） 民族：シンハラ スリランカ 1980年収集	074 仮面舞踊劇ワヤン・トベンの仮面 民族：ジャワ インドネシア 1981年収集	088 願ほどき仮面劇フェイタオの仮面 民族：マオナン 中国 2010年収集
047 かぶりもの型仮面「ニャマブンダ」 民族：ルヴァレ ザンビア 1969年原収集	061 舞踊劇コーラムの仮面（カーラクータ魔神） 民族：シンハラ スリランカ 1981年収集	075 聖獣バロンの仮面 民族：バリ インドネシア 1981年収集	089 舞踊劇ツァムの仮面 民族：ハルハ モンゴル 1978年収集
048 舞踊劇チョウの仮面 地域：ブルリア インド 1981年収集	062 舞踊劇コーラムの仮面（ナーガ魔神） 民族：シンハラ スリランカ 1991年収集	076 魔女ランダの仮面 民族：バリ インドネシア 1987年収集	090 ナマハゲの面（赤鬼） 地域：秋田県 男鹿市 日本 1984年制作
049 舞踊劇チョウの仮面「サラスワティ」 地域：ブルリア インド 1981年収集	063 仮面「バイラブ」 民族：ネワール ネパール 1981年制作	077 仮面「ウドック」 民族：カヤン インドネシア 1989年収集	091 ナマハゲの面（青鬼） 地域：秋田県 男鹿市 日本 1984年制作
050 舞踊劇チョウの仮面「ゴシンハ」 地域：ブルリア インド 1981年収集	064 仮面「クマリ」 民族：ネワール ネパール 1981年制作	078 仮面「ジャウック」 民族：バリ インドネシア 1990年収集	092 鹿頭 地域：岩手県 北上市 日本 1984年制作
051 舞踊劇チョウの仮面（シヴァ神） 地域：セライケラ インド 1981年収集	065 舞踊劇チャムの仮面「シンゲ・ダ・ドゥ」 地域：ティンブー ブータン 1991年収集	079 仮面舞踊劇ワヤン・トベンの仮面「プト・ブラガルボ」 民族：ジャワ インドネシア 1994年制作	093 おかめの面 地域：京都市 日本 1969年原収集
052 仮面「ジャガンナート」（クリシュナ神） 地域：プリー インド 1981年収集	066 舞踊劇チャムの仮面「ドルジ・ドルロ」 地域：ティンブー ブータン 1991年収集	080 仮面舞踊劇ワヤン・トベンの仮面「プト・テロン」 民族：ジャワ インドネシア 1994年制作	094 獅子頭 地域：神奈川県 横浜市 日本 1987年収集
053 舞踊劇コーラムの仮面「マハー・サンマタ・ラジャ」（王） 民族：シンハラ スリランカ 1980年収集	067 舞踊劇チャムの仮面「シンゲ」 地域：ティンブー ブータン 1991年収集	081 仮面舞踊劇ワヤン・トベンの仮面「パティ・ジョロ・スングロ」 民族：ジャワ インドネシア 1994年制作	095 メンドン 地域：鹿児島県 硫黄島 日本 1977年収集
054 舞踊劇コーラムの仮面「マハー・サンマタ・ピサヴァ」（王妃） 民族：シンハラ スリランカ 1980年収集	068 舞踊劇チャムの仮面「ジャ」 地域：ティンブー ブータン 1991年収集	082 鳳山タルチュムの獅子 地域：ソウル 韓国 1978年収集	096 神楽面「猿田彦」 地域：鳥取県 日南町 日本 1969年原収集
055 舞踊劇コーラムの仮面（ブルナカ魔神） 民族：シンハラ スリランカ 1980年収集	069 舞踊劇ザッ・チーの仮面 地域：ヤンゴン ミャンマー 1981年収集	083 楊州別山台ノリの仮面「センニム」 地域：京畿道 楊州市 韓国 1986年制作	097 神楽面「般若」 地域：島根県 浜田市 日本 1978年制作
056 舞踊劇コーラムの仮面（ナーガ魔神） 民族：シンハラ スリランカ 1980年収集	070 舞踊劇ラコン・コルの仮面 民族：クメール カンボジア 1999年制作	084 楊州別山台ノリの仮面「ミヤールハルミ」 地域：京畿道 楊州市 韓国 1986年制作	098 神楽面「天児屋根命」 地域：島根県 浜田市 日本 1978年制作

099 神楽面「大江山」 地域：鳥根県 浜田市 日本 1978年制作	113 ワニの彫像 地域：セビック川流域 バブアニューギニア 1969年原収集	127 神話的祖先「ノンモ」の像 民族：ドゴン マリ 1978年収集	141 ネワール仏教寺院装飾柱(ガネーシャ神) 民族：ネワール ネパール 1985年収集
100 神楽面「手力男命」 地域：宮崎県 高千穂町 日本 1984年制作	114 カヌー用船首飾り「ヌズヌズ」 地域：ソロモン諸島 ソロモン諸島 1860-1907年原収集	128 仮面の踊り手をかたどった像 民族：プワ ブルキナファソ 1976年収集	142 神像「カドクシャリ」 民族：ネワール ネパール 2001年収集
101 神楽面「手力男命」 地域：宮崎県 高千穂町 日本 1984年制作	115 魔除け用屋根の頂部飾り「ゴモア」 民族：カナク ニューカレドニア(フランス) 1978年収集	129 母子像 民族：アシャンティ ガーナ 1975年収集	143 携帯用仏龕「タシゴマン」 地域：ティンブー ブータン 2003年収集
102 仮面「ダー トゥーダー」 地域：沖縄県 小浜島 日本 1978年制作	116 木生シダ製精霊像「マゲ・ニ・ヒウィル」 地域：アンブリム島 バヌアツ 1984年収集	130 頭飾り型仮面 民族：セヌフォ コートジボワール 1968年原収集	144 狩猟神の像 民族：クニャー マレーシア 1968年原収集
103 鬼面 地域：収集地不明 日本 1969年原収集	117 加入儀礼用精霊像 地域：マレクラ島 バヌアツ 1984年収集	131 神像 民族：イボ ナイジェリア 1975年収集	145 彫像「ハンプトン」 民族：モダン インドネシア 1989年収集
第1章 みえないもののイメージ 1-1 ひとをかたどる、神がみをかたどる	118 祖先像 地域：アンブリム島 バヌアツ 1984年収集	132 精霊像「イアガランガナ」 民族：ムムイエ ナイジェリア 1988年収集	146 影絵人形「ワヤン・クリット」(グル神) 民族：ジャワ インドネシア 1979年収集
104 精霊「ミミ」の彫像 民族：アポリジニ オーストラリア 1980年収集	119 トコベイ人形 地域：トビ島 パラオ 1915年頃原収集	133 精霊像「イアガランガナ」 民族：ムムイエ ナイジェリア 1988年収集	147 影絵人形「ワヤン・クリット」(武将クレ スノ) 民族：ジャワ インドネシア 1979年収集
105 祖先像「ングワルンドウ」 民族：アベラム バブアニューギニア 1975年収集	120 祖先像 地域：カロリン諸島(推定) ミクロネシア連邦 1975年収集	134 精霊像「アンジェヌ」 民族：イドマ ナイジェリア 1988年収集	148 影絵人形「ワヤン・クリット」(インド口神) 民族：ジャワ インドネシア 1979年収集
106 祖先像「ングワルンドウ」 民族：アベラム バブアニューギニア 1975年収集	121 戦闘の神「ク・カ・イリモク」の像(再制作) 地域：ホノルル アメリカ合衆国 1988年制作	135 呪術用の像「ミンキシ」 民族：ヨンベ コンゴ共和国 1976年収集	149 影絵人形「ワヤン・クリット」(ナロド神) 民族：ジャワ インドネシア 1979年収集
107 割れ目太鼓 地域：セビック川流域 バブアニューギニア 1977年収集	122 フーダ人形 民族：メスティソ メキシコ 1985年制作	136 呪術用の像「ミンキシ」 民族：コンゴ コンゴ共和国 1984年収集	150 影絵人形「ワヤン・クリット」(道化スマル) 民族：ジャワ インドネシア 1979年収集
108 神像「マランガン」 地域：ニューアイルランド島 バブアニューギニア 1860-1907年原収集	123 フーダ人形 民族：メスティソ メキシコ 1985年制作	137 神像「ナタラージャ」 民族：タミル インド 1981年収集	151 彫像「ハンプトン」 民族：バハウ インドネシア 1989年収集
109 神像「クラブ」 地域：ニューアイルランド島 バブアニューギニア 1860-1907年原収集	124 首長人形(パチャママの処女) 作者：ファナ・メンディビル 地域：クスコ ペルー 1990年制作	138 神像「ガネーシャ」 地域：カルナータカ州 インド 1985年収集	152 彫像「ハンプトン」 民族：モダン インドネシア 1989年収集
110 精霊像「イブオン」 民族：アランプラック バブアニューギニア 1988年収集	125 十字架(鉄踊り) 作者：クラウディオ・ヒメネス 地域：リマ ペルー 2003年制作	139 神像(ジャガッタートリ女神) 地域：コルカタ インド 1990年制作	153 祖先像 民族：アスマット インドネシア 1990年収集
111 精霊像「タジャオ」 民族：カブリマン バブアニューギニア 1987年制作	126 十字架 ドイツ 1999年収集	140 ネワール仏教寺院装飾柱(インドラ神) 民族：ネワール ネパール 1985年収集	154 梁 民族：パイワン 台湾 1977年収集
112 精霊像付き机「シュイクンボン」 民族：カブリマン バブアニューギニア 1987年制作			

155 木彫板 民族：パイワン 台湾 1977年収集	168 「ミルキー・ウェイ・ドリーミング」 作者：ノラ・ナバイジャリ・ネルソン 民族：アボリジニ オーストラリア 1991年収集	181 プレセビオ 地域：リスボン ポルトガル 1987年収集	194 切り絵 作者：エンマ・キレ 民族：ナーナイ ロシア 2000年収集
156 柱 民族：ルカイ 台湾 1977年収集	169 ストーリー・ボード 民族：サウォス(推定) バブアニューギニア 1988年収集	182 ガラスアイコン「十二大祭」 作者：モラーレ・ゲオルゲ 地域：スンバタ・デ・スス ルーマニア 1998年収集	第2章 イメージの力学 2-1 光の力、色の力
157 家の守護霊の像「ジュリ」 作者：アナトリー・ドンカン 民族：ナーナイ ロシア 1993年収集	170 ストーリー・ボード 地域：コロール パラオ 1985年収集	183 ガラスアイコン「労働者」 作者：モラーレ・ゲオルゲ 地域：スンバタ・デ・スス ルーマニア 1998年収集	195 波切り板付船首 地域：トロブリアン諸島 バブアニューギニア 1984年収集
158 家の守護霊の像「ジュリ」 作者：アナトリー・ドンカン 民族：ナーナイ ロシア 1993年収集	171 儀礼用マント 民族：トリンギット(推定) アメリカ合衆国 1976年収集	184 首長用玉座 民族：コム カメルーン 1977年収集	196 装身具 地域：ビスマルク諸島 バブアニューギニア 1860-1907年原収集
159 オシラサマ 地域：岩手県 遠野市 日本 1975年収集	172 早変わり仮面 作者：リチャード・ハント 民族：クワクワカワクウ カナダ 1977年制作	185 壁掛け(ピチュワイ) 地域：メーワール地方 インド 1984年収集	197 胸飾り 地域：ニューブリテン島 バブアニューギニア 1894年原収集
160 オシラサマ 地域：岩手県 岩谷堂 日本 1938年原収集	173 早変わり仮面(エコー・マスク) 作者：トニー・ハント 民族：クワクワカワクウ カナダ 1977年制作	186 バド画幔幕 地域：ラージャスターン州 インド 1984年収集	198 頭飾り「カブカブ」 地域：ソロモン諸島 ソロモン諸島 1860-1907年原収集
161 オシラサマ 地域：岩手県 岩谷堂 日本 1938年原収集	174 柱(カエル) 作者：ゲリー・マークス、 フランシス・ウィリアムス 民族：ハイダ/トリンギット カナダ/アメリカ合衆国 1977年制作	187 絵解き用扇子「カヴァド」 地域：ラージャスターン州 インド 2010年収集	199 胸あて 民族：オジブワ アメリカ合衆国 1978年収集
162 田の神の像「タノカンサー」 地域：鹿児島県 薩摩地方 日本 1982年収集	175 飾り壁 作者：ゲリー・マークス、 フランシス・ウィリアムス 民族：ハイダ/トリンギット カナダ/アメリカ合衆国 1977年制作	188 仏伝図 作者：ガウタマ・ラトナ・ヴァジュラー チャーリヤ 民族：ネワール ネパール 1982年制作	200 揺りかご 民族：シャイアン アメリカ合衆国 1979年収集
第1章 みえないもののイメージ 1-2 時間をかたどる	176 生命の樹 民族：メスティン メキシコ 1987年収集	189 砂絵マンダラ 作者：ロブサン・バズラチャルヤ、テンジン・ ラマ、トゥブテン・ラマ、サムテン・ラマ 地域：カトマンドゥ ネパール 2004年5月13日-16日制作	201 ヤマアラシの針の装飾付き揺りかご 民族：スー アメリカ合衆国 1979年収集
163 樹皮画(虹へび) 民族：アボリジニ オーストラリア 1980年収集	177 毛糸絵「太鼓の儀礼」 作者：エリヒオ・カリジョ・ピセンテ 民族：ウィチョル メキシコ 1973年原収集	190 キンマ容器(ラーマーヤーナの図) 地域：バガン ミャンマー 1986年収集	202 ヤマアラシの針の装飾付き皮袋 アメリカ合衆国 1979年収集
164 樹皮画(カンガルーとへび) 民族：アボリジニ オーストラリア 1980年収集	178 飾りヒョウタン(出産) 地域：コチャス・チコ ペルー 1997年収集	191 絵巻物 民族：バリ インドネシア 1985年収集	203 羽根製頭飾り 民族：チュカハマイ ブラジル 1982年収集
165 樹皮画(首長亀になった女) 民族：アボリジニ オーストラリア 1980年収集	179 箱形祭壇(鉄蹄り) 地域：リマ ペルー 1997年収集	192 タペストリー(ストーリー・クロス) 民族：モン タイ 2009年収集	204 羽根製頭飾り 民族：チュカハマイ ブラジル 1982年収集
166 「ワラビー・ドリーミングの儀礼」 作者：ドン・チュンガライ 民族：アボリジニ オーストラリア 1980年収集	180 箱形祭壇(悪魔の仮面) 地域：リマ ペルー 1997年収集	193 釈迦如来図 民族：チベット 中国 1982年収集	205 羽根製頭飾り 民族：チュカハマイ ブラジル 1982年収集
167 樹皮画「マイ・カントリー」 作者：ジョニー・ブルンブルン 民族：アボリジニ オーストラリア 1982年制作			206 羽根製頭飾り 民族：チュカハマイ ブラジル 1982年収集
			207 羽根製仮面 民族：タピラバ ブラジル 1982年収集

208 羽根製頭飾り(青年用) 民族:カヤボ ブラジル 1983年収集	223 クバ王国の摂政の装束 民族:クバ コンゴ民主共和国 1991年収集	237 儀礼用男児上着 民族:アヒール インド 1984年収集	251 仏像(仏頂尊勝[母]) 民族:チベット 中国 1991年収集
209 羽根製頭飾り 地域:ロンドニア州 ブラジル 2001年収集	224 女性用婚礼肩掛け「イシコティ」 民族:ズールー 南アフリカ共和国 1996年収集	238 祭礼用ブランコ 地域:ブンディ インド 1985年収集	252 女性用上衣(盛装) 民族:ミャオ 中国 1993年収集
210 ギリシャ正教会の司祭の祭服 ギリシャ 2003年収集	225 女性用肩掛け「ンバロ」 民族:ンデベレ 南アフリカ共和国 1996年収集	239 飾り布 民族:バンジャラー インド 2007年収集	253 嬰兒用靴 民族:チワン 中国 1998年収集
211 狩人の衣装 民族:バマナ マリ 1988年収集	226 女性用肩掛け「ンバロ」 民族:ンデベレ 南アフリカ共和国 1996年収集	240 儀礼用女性上衣 民族:ラバーリー インド 2007年収集	254 女性用盛装 民族:ミャオ 中国 2001年収集
212 イベジの像 民族:ヨルバ ナイジェリア 1979年収集	227 手型のお守り 地域:カイロ エジプト 1983年収集	241 人形 地域:カッチ インド 2007年収集	255 女児用帽子 民族:ミャオ 中国 2001年収集
213 仮面「ムフォン・エクボ」 民族:イビビオ ナイジェリア 1983年収集	228 手型のお守り 地域:カイロ エジプト 1983年収集	242 女性用ヴェール 民族:ラバーリー インド 2007年収集	256 幼児用帽子 民族:ペー(推定) 中国 2007年収集
214 仮面「アボ・マウ」 民族:イボ ナイジェリア 1983年収集	229 お守り(「生命の鍵」型) 地域:カイロ エジプト 1983年収集	243 女性用ヴェール 地域:ラージャスターン州 インド 2007年収集	257 お守り入れ(胸飾り) 民族:ウスベク タジキスタン 1977年収集
215 頭飾り型仮面「オボド・エニイ」 民族:イボ ナイジェリア 1983年収集	230 お守り(「生命の鍵」型) 地域:カイロ エジプト 1983年収集	244 精霊像(ナツ神) 地域:マンダレー ミャンマー 1996年制作	258 熊送り用矢筒 作者:浦川太八 民族:アイヌ 日本 1987年収集
216 ビーズ製人像 民族:ヨルバ ナイジェリア 1998年収集	231 手型のお守り 地域:カイロ エジプト 1989年収集	245 かご 民族:イバン マレーシア 1987年収集	259 婚礼荷物運搬用背巾当て「祝いバンドリ」 地域:山形県 鶴岡市 日本 1978年収集
217 遺骨容器の守護像「ムブル・ングル」 民族:コタ ガボン 1977年収集	232 手型のお守り 地域:カイロ エジプト 1989年収集	246 乳児背負子 民族:カヤン マレーシア 1990年収集	第2章 イメージの力学 2-2 高みとつながる
218 祖先像 民族:バムン カメルーン 1976年収集	233 手型のお守り 地域:カイロ エジプト 1989年収集	247 神像(媽祖) 地域:ムラカ マレーシア 1994年収集	260 墓標「ブカマニ・ボール」 民族:ティウイ オーストラリア 1980年収集
219 頭飾り型仮面 民族:バミレケ カメルーン 1986年収集	234 お守り入れ 民族:ベルベル モロッコ 1989年収集	248 楯 民族:バハウ インドネシア 1989年収集	261 墓標「ブカマニ・ボール」 民族:ティウイ オーストラリア 1980年収集
220 ビーズ製腰掛「リュ・ンフォ」 民族:バミレケ カメルーン 1996年収集	235 男性用上着「カフタン」 地域:フェズ モロッコ 1979年収集	249 女性用上着 民族:タガカオロ フィリピン 1990年収集	262 柱状棺(遺骨の容器) 民族:アポリジニ オーストラリア 1980、1984年収集
221 ゾウの仮面「ムバップ・ムテン」 民族:バミレケ カメルーン 1996年収集	236 坐椅子 地域:スワート渓谷 パキスタン 1985年収集	250 子供用帽子 民族:ミャオ 中国 1985年収集	263 神像「マランガン」 地域:ニューアイルランド島 バブアニューギニア 1860-1907年原収集
222 腰巻布「ンドップ」 民族:バミレケ カメルーン 2000年収集			264 神像「マランガン」 地域:ニューアイルランド島 バブアニューギニア 1975年収集

265 トータム・ボール(集会所の正面柱) 作者:ゲリー・マークス、 フランシス・ウィリアムス 民族:ハイダ カナダ 1976年制作	279 扇神輿 地域:和歌山県 那智 日本 1978年収集	293 飾りヒョウタン(農村風景) 作者:アレハンドロ・ウルタド 地域:コチャス・チコ ペルー 1997年収集	307 子供用帽子 民族:トルクメン アフガニスタン 2009年収集
266 モスクの壁飾り 地域:カイロ(推定) エジプト 1979年収集	第3章 イメージとたわむれる	294 イースターエッグ 地域:モルドバ地方 ルーマニア 1998年収集	308 帽子 民族:トルクメン アフガニスタン 2009年収集
267 はしご 民族:バハウ インドネシア 1989年収集	280 襷 地域:ラム川流域 バプアニューギニア 1975年収集	295 天秤 地域:パウレ コートジボワール 1976年収集	309 帽子 民族:ウズベク アフガニスタン 2009年収集
268 葬送用の柱「ビス」 民族:アスマット インドネシア 1990年収集	281 襷 地域:ブーゲンビル島 バプアニューギニア 1860-1907年原収集	296 砂金はかりの分銅 地域:アシャンティほか ガーナ ほか 1978年収集	310 帽子 民族:タジク アフガニスタン 2009年収集
269 葬送用の柱「ビス」 民族:アスマット インドネシア 1990年収集	282 襷 地域:ブーゲンビル島 バプアニューギニア 1860-1907年原収集	297 女性用前掛け布 地域:クバ コンゴ民主共和国 1983年収集	311 帽子 民族:ウズベク アフガニスタン 2009年収集
270 葬送用の柱「ビス」 民族:アスマット インドネシア 1990年収集	283 襷 地域:ブーゲンビル島 バプアニューギニア 1860-1907年原収集	298 儀礼用裳布 地域:クバ コンゴ民主共和国 1988年収集	312 帽子 民族:ウズベク アフガニスタン 2009年収集
271 葬送用の柱「ビス」 民族:アスマット インドネシア 1990年収集	284 襷 地域:ブーゲンビル島 バプアニューギニア 1860-1907年原収集	299 儀礼用裳布 地域:クバ コンゴ民主共和国 2000年収集	313 帽子 民族:バルーチ アフガニスタン 2009年収集
272 葬送用の柱「ビス」 民族:アスマット インドネシア 1990年収集	285 襷 地域:ブーゲンビル島 バプアニューギニア 1860-1907年原収集	300 帽子 地域:バルーチ アフガニスタン 2009年収集	314 ピンロウジ割り 地域:ラージャスターン州ほか インド 1999年収集
273 標柱「チャンスン」 地域:京畿道 蔚尾里 韓国 1982年収集	286 樹皮画 民族:ナカナイ(推定) バプアニューギニア 1964年原収集	301 帽子 民族:ウズベク アフガニスタン 2009年収集	315 壁飾り 地域:サウラーシュトラ インド 2007年収集
274 標柱「ソッテ」 地域:京畿道 蔚尾里 韓国 1982年収集	287 樹皮画 民族:ナカナイ(推定) バプアニューギニア 1964年原収集	302 子供用帽子 地域:バシュトゥーン アフガニスタン 2009年収集	316 木彫 民族:アスマット インドネシア 1990年収集
275 花ゴザ 作者:計良智子 民族:アイヌ 日本 1995年収集	288 樹皮画 民族:ナカナイ(推定) バプアニューギニア 1964年原収集	303 子供用帽子 地域:バシュトゥーン アフガニスタン 2009年収集	317 煙管 民族:プユマ(推定) 台湾 1977年収集
276 祭壇「ヌサ」 作者:澤田一憲 民族:アイヌ 日本 2013年制作	289 トゥビラク像 民族:イヌイット(カラーリット) グリーンランド(デンマーク) 1977年収集	304 帽子 民族:ハザラ アフガニスタン 2009年収集	318 煙管 民族:バイワン 台湾 1988年収集
277 お山参詣の御幣 地域:青森県 岩木山 日本 1978年収集	290 ブラウス「モラ」 民族:クナ パナマ 1992年収集	305 帽子 民族:トルクメン アフガニスタン 2009年収集	319 煙管 民族:ブヌン 台湾 1991年収集
278 扇神輿 地域:和歌山県 那智 日本 1978年収集	291 飾りヒョウタン(箱形祭壇) 作者:アレハンドロ・ウルタド 地域:コチャス・チコ ペルー 1997年収集	306 子供用帽子 民族:トルクメン アフガニスタン 2009年収集	320 雁首 民族:バイワンほか 台湾 1991年収集ほか

321 樹皮製衣服 民族：アイヌ ロシア(樺太) 1938年原収集	335 掲示板(床屋) 地域：ダカール セネガル 2000年収集	349 棺桶(飛行機) 作者：パー・ジョー 地域：テシ ガーナ 2003年制作	第4章 イメージの翻訳 4-2 消費されるイメージ
322 酒箸「イクニシ」 民族：アイヌ ロシア(樺太) 19世紀末-20世紀初期制作	336 床屋用看板 地域：アクラ ガーナ 1996年収集	350 スタジオ写真の背景画(ニューヨーク) 作者：フィリップ・クワメ・アバギャ 地域：アクラ ガーナ 2005年収集	362 「紡錘車：サケをもたらすスワニシト」 作者：スーザン・ポイント(旧姓：スパロウ) 民族：コースト・セイリッシュ カナダ 1981年制作
323 酒箸「イクバスイ」 民族：アイヌ 日本 19世紀末-20世紀初期制作	337 床屋用看板 地域：アクラ ガーナ 2005年収集	351 仮面 民族：グロ コートジボワール 1978年収集	363 「サメ」 作者：ビル・リード 民族：ハイダ カナダ 1972年制作
324 木綿製衣服 民族：アイヌ 日本 1979年収集	338 アサフォ結社の軍旗 民族：ファンティ ガーナ 1940年代制作	352 ゲレデの仮面 民族：ヨルバ ナイジェリア 1978年収集	364 「貝の中にヒトを見つけるワタリガラス」 作者：フリーダ・ディーキング 民族：ハイダ カナダ 1980年制作
325 樹皮製前掛け 民族：アイヌ 日本(推定) 19世紀末-20世紀初頭原収集	339 アサフォ結社の軍旗 民族：ファンティ ガーナ 1940年代制作	353 白人の仮面 民族：イドマ ナイジェリア 1983年収集	365 「ムラサキガイ」 作者：ポー・ディック 民族：クワクワカワク カナダ 1986年制作
第4章 イメージの翻訳 4-1 ハイブリッドな造形	340 アサフォ結社の軍旗 民族：ファンティ ガーナ 1940年代制作	354 ヘルメット型仮面「アバクバ」 民族：ウケレ ナイジェリア 1981年収集	366 木彫(龍) 民族：メスティン メキシコ 2010年収集
326 カヌー用船首飾り 地域：ショートランド島 ソロモン諸島 1860-1907年原収集	341 アサフォ結社の軍旗 民族：ファンティ ガーナ 1940年代制作	355 「いのちの輪だち」 作者：フィエル・ドス・サントス、クリスト ヴァオ・カニャヴァート(ケスター) 地域：マプト モザンビーク 2012年制作	367 玩具(複葉機) 地域：ダカール セネガル 2000年収集
327 仮面 民族：ユピック(推定) アメリカ合衆国 20世紀初期制作(推定)	342 アサフォ結社の軍旗 民族：ファンティ ガーナ 1940年代制作	356 「肘掛椅子」 作者：クリストヴァオ・カニャヴァート (ケスター) 地域：マプト モザンビーク 2012年制作	368 玩具(自動車) 地域：ダカール セネガル 2000年収集
328 ブラウス用の布「モラ」 民族：クナ パナマ 1974年原収集	343 アサフォ結社の軍旗 民族：ファンティ ガーナ 1940年代制作	357 オランダ軍の図柄のバティック 地域：ジャワ インドネシア 1992年収集	369 ブリキ製かばん 地域：ダカール セネガル 2000年収集
329 聖母カルメン 地域：オアハカ メキシコ 1987年収集	344 棺桶(魚) 作者：エベネザ・テイ(ガボヌ工房) 地域：テシ ガーナ 1996年制作	358 オランダ軍の図柄のバティック 地域：ジャワ インドネシア 1992年収集	370 玩具(自動車) 地域：ダカール セネガル 2000年収集
330 楽器「マトラカ」 民族：アイマラ ボリビア 1983年収集	345 棺桶(メルセデス・ベンツ) 作者：アナン・クエイ(カネ・クエイ工房) 地域：テシ ガーナ 1996年制作	359 日本趣味の図柄のバティック (見返り美人と三番叟) 地域：ジャワ インドネシア 2005年収集	371 玩具(トラック) 地域：ダカール セネガル 2000年収集
331 板絵(例祭) 作者：ファン・キスベ 地域：リマ ペルー 2003年収集	346 棺桶(イカ) 作者：パー・ジョー 地域：テシ ガーナ 2003年制作	360 輪タク(ベチャ) 地域：ジャワ インドネシア 1994年収集	372 玩具(自動車) 地域：ダカール セネガル 2000年収集
332 屏風(コラージュ) 地域：ロンドン イギリス 19世紀後半制作	347 棺桶(ビール瓶) 作者：パー・ジョー 地域：テシ ガーナ 2003年制作	361 手桶 地域：京都市 日本 1983年収集	373 玩具(トラック) 地域：ダカール セネガル 2000年収集
333 掲示板(床屋) 地域：ダカール セネガル 2000年収集	348 棺桶(ライオン) 作者：パー・ジョー 地域：テシ ガーナ 2003年制作	374 玩具(バス) 地域：ダカール セネガル 2000年収集	
334 掲示板(髪結い) 地域：ダカール セネガル 2000年収集			

375 玩具(バス) 地域:ダカール セネガル 2000年収集	388 バッグ 作者:グエン・テーホン 地域:ホーチミン市 ベトナム 2000年収集	エビローグ 見出されたイメージ 400 枕 地域:トンガ トンガ王国 1985年収集	414 はしご 民族:ザフィマニリ マダガスカル 2009年収集
376 彫像「ウジャマー」 作者:バジュメ・アラレ 民族:マコンデ タンザニア 1976年収集	389 玩具「シクロ」(輪タク) 作者:グエン・テーホン 地域:ホーチミン市 ベトナム 2000年収集	401 平石臼「メタテ」 地域:バレット・トゥリー ベリーズ 1987年収集	415 脱穀具 地域:ブルドゥル トルコ 1976年収集
377 彫像「ウジャマー」 作者:バジュメ・アラレ 民族:マコンデ タンザニア 1976年収集	390 玩具(F-15戦闘機) 作者:グエン・テーホン 地域:ホーチミン市 ベトナム 2000年収集	402 捏ね棒「モノ」 地域:バレット・トゥリー ベリーズ 1987年収集	416 漁網 地域:オリッサ州 インド 1989年収集
378 彫像「シェタニ」 作者:バジュメ・アラレ 民族:マコンデ タンザニア 1976年収集	391 玩具(複葉機) 作者:グエン・テーホン 地域:ホーチミン市 ベトナム 2000年収集	403 ロープ 地域:マブチェ チリ 1986年収集	417 竹製釜 地域:ウボンラーチャターニー タイ 1996年収集
379 彫像「ウジャマー」 作者:バジュメ・アラレ 民族:マコンデ タンザニア 1976年収集	392 玩具(海老) 作者:グエン・テーホン 地域:ホーチミン市 ベトナム 2000年収集	404 牧草用熊手 地域:シャートルー フランス 1975年収集	418 打穀用箒 民族:コン・ムアン タイ 1985年収集
380 彫像「ウジャマー」 民族:マコンデ タンザニア 2001年収集	393 玩具(スペースシャトル) 作者:グエン・テーホン 地域:ホーチミン市 ベトナム 2000年収集	405 投擲用ナイフ(貨幣) 民族:カプシキ ナイジェリアまたはカメルーン 1993年収集	
381 玩具(オートバイ) 作者:グエン・テーホン 地域:ホーチミン市 ベトナム 2000年収集	394 玩具(エッフェル塔) 作者:グエン・テーホン 地域:ホーチミン市 ベトナム 2000年収集	406 投擲用ナイフ(貨幣) 民族:カプシキ ナイジェリアまたはカメルーン 1993年収集	
382 玩具(警察用オートバイ) 作者:グエン・テーホン 地域:ホーチミン市 ベトナム 2000年収集	395 玩具(乳母車) 作者:グエン・テーホン 地域:ホーチミン市 ベトナム 2000年収集	407 投擲用ナイフ(貨幣) 民族:ングワカ コンゴ民主共和国 1984年収集	
383 玩具(クラシックカー) 作者:グエン・テーホン 地域:ホーチミン市 ベトナム 2000年収集	396 扇子 作者:グエン・テーホン 地域:ホーチミン市 ベトナム 2000年収集	408 投擲用ナイフ(貨幣) 民族:ングワカ コンゴ民主共和国 1984年収集	
384 玩具(戦車) 作者:グエン・テーホン 地域:ホーチミン市 ベトナム 2000年収集	397 玩具(プロペラ飛行機) 作者:グエン・テーホン 地域:ホーチミン市 ベトナム 2000年収集	409 投擲用ナイフ(貨幣) 民族:パンザ コンゴ民主共和国 1984年収集	
385 玩具(タンクローリー) 作者:グエン・テーホン 地域:ホーチミン市 ベトナム 2000年収集	398 玩具(クモ) 作者:グエン・テーホン 地域:ホーチミン市 ベトナム 2000年収集	410 儀礼用剣(貨幣) 民族:ロケレ コンゴ民主共和国 1993年収集	
386 帽子 作者:グエン・テーホン 地域:ホーチミン市 ベトナム 2000年収集	399 玩具(カマキリ) 作者:グエン・テーホン 地域:ホーチミン市 ベトナム 2000年収集	411 投擲用ナイフ(貨幣) 民族:ザンデ コンゴ民主共和国 1993年収集	
387 サンバイザー 作者:グエン・テーホン 地域:ホーチミン市 ベトナム 2000年収集		412 投擲用ナイフ(貨幣) 民族:ングワカ コンゴ民主共和国 1987年収集	
		413 投擲用ナイフ(貨幣) 民族:ングワカ コンゴ民主共和国 1987年収集	

9-7 名簿 The NACT Advisory Board , The NACT Council and Staff List

顧問会名簿 The NACT Advisory Board

高階秀爾	大原美術館長、西洋美術振興財団理事長
福原義春	株式会社資生堂名誉会長、東京都写真美術館長
ブルース・ミラー	駐日オーストラリア大使
森 佳子	森美術館理事長、森ビル株式会社取締役
若尾文子	女優
堤 清二	セゾン文化財団理事長(平成25(2013)年11月御逝去)

平成26(2014)年3月末現在 5名

評議員名簿 The NACT Council

足羽與志子	一橋大学大学院社会学研究科教授
新井光風	日展理事、大東文化大学名誉教授、書家
後小路雅弘	九州大学大学院人文科学研究院教授
梅原幸雄	東京藝術大学美術学部絵画科日本画専攻教授、日本画家
大田弘子	政策研究大学院大学教授
奥田小由女	日展副理事長、工芸美術・人形作家
勝田哲司	サントリー美術館支配人、サントリー芸術財団専務理事
北郷 悟	東京藝術大学理事・副学長、東京藝術大学美術学部教授、彫刻家
葛岡利明	株式会社日立製作所執行役専務
酒井忠康	世田谷美術館長
坂村 健	東京大学大学院情報学環教授、YRPユビキタス・ネットワーク研究所長
高橋信也	森美術館顧問
團 紀彦	建築家、株式会社團紀彦建築設計事務所代表取締役
ドラ・トーザン	国際ジャーナリスト、エッセイスト
土生修一	読売新聞東京本社事務局総務
福岡伸一	青山学院大学総合文化政策学部教授
黛まどか	俳人
山本 貞	二紀会理事長、日本美術家連盟理事長、洋画家
吉見俊哉	東京大学副学長、東京大学大学院情報学環教授
王 敏	法政大学国際日本学研究所教授

平成26(2014)年3月末現在 20名

職員名簿 Staff

館長	青木 保
副館長	南 雄介
館長補佐	小松弥生
参与	角田 博

[庶務課]	[学芸課]		
庶務課長/室長(管理)	水野元洋	学芸課長	(兼)南 雄介
室長(運営)	矢板橋進一	企画室	情報資料室
庶務担当		企画室長(主任研究員)	情報資料室長(主任研究員) 室屋泰三
係長	中川健太郎	主任研究員	アソシエイトフェロー 谷口英理
一般職員	羽田野愛	主任研究員	研究補佐員 窪内美緒
事務補佐員	豊田登世	研究員	研究補佐員 望月麻実子
事務補佐員	白石顕子	研究員	研究補佐員 小幡朋子
事務補佐員	千葉美和	アソシエイトフェロー	研究補佐員 伊村靖子
事務補佐員	服部晃子	アソシエイトフェロー	研究補佐員 長名大地
会計担当		研究補佐員	研究補佐員 阿部陽子
係長	東谷 憲	研究補佐員	情報研究補佐員 数原 潔
係主任	中井加奈	研究補佐員	事務補佐員 藤井糸子
事務補佐員	山本紗也香	研究補佐員	[広報室]
事務補佐員	秋山幸子	教育普及室	広報室長
事業担当		教育普及室長(主任研究員)	広報室長補佐
係長	神長宏幸	アソシエイトフェロー	事務補佐員
事務補佐員	渡部 恵	研究補佐員	事務補佐員
事務補佐員	倉持尚子	研究補佐員	事務補佐員
事務補佐員	波多野真由美	研究補佐員	事務補佐員
		西野華子	(兼)西野華子
		吉澤菜摘	(兼)中川健太郎
		井上絵美子	石松慧子
		木内祐子	桐生智恵子
			菊池彩乃

平成26(2014)年3月末現在 48名

平成25年度 国立新美術館 活動報告

発行：国立新美術館
東京都港区六本木7-22-2
電話03-6812-9900

編集：国立新美術館 教育普及室
印刷：能登印刷株式会社
発行日：平成26年7月1日（非売品）

NACT REPORT
April 2013 - March 2014
The National Art Center, Tokyo

Published by: The National Art Center, Tokyo
7-22-2 Roppongi, Minato-ku, Tokyo, 106-8558, Japan
Edited by: Section of Education & Public Programs
Printed by: Noto Printing Corporation

新 国立新美術館
THE NATIONAL ART CENTER, TOKYO